

添付資料

目 次

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第26保全サイクル）

添付資料－2 高浜発電所 3号機 設計の経年化評価（内的事象）

添付資料－1 高浜発電所 第3号機 保全計画（第26保全サイクル）

「1.3 構築物、系統及び機器」に示された発電用原子炉施設に係る点検の実施状況等について、「高浜発電所 第3号機 保全計画（第26保全サイクル）」をもとに、点検及び試験の項目、点検頻度等を示す。

高浜発電所 第3号機
保全計画
(第26保全サイクル)

施設管理の実施に関する計画

目 次

| | |
|--|---|
| 1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。） 及び期間 | 1 |
| 2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期 | 1 |
| 3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期 | 2 |
| 4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための 措置 | 2 |

別紙：点検計画（第26保全サイクル）

別図：定期事業者検査時の安全管理の計画

別表：長期施設管理方針実施状況総括表

1. 施設管理実施計画の始期（定期事業者検査の開始する日をいう。）及び期間

本保全計画の適用期間は、第26回定期事業者検査開始日から次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列する日の前日までの期間（第26回定期事業者検査終了以降13ヶ月までの間※）とし、以降、この期間を第26保全サイクルという。

ただし、この期間内に次回の定期事業者検査を実施するために発電機を解列した場合には、その前日までの期間とする。

※：この間を『実運転期間』という。

2. 発電用原子炉施設の工事の方法及び時期

（1）工事の計画

a. 蒸気発生器伝熱管補修工事：設計及び工事の計画の届出

○ 工事概要

蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査の結果、有意な信号指示が認められた伝熱管について、蒸気発生器の健全性を確保するため、メカニカルプラグにて施栓を行う。

○ 予定期間

第26回定期事業者検査期間中

b. 火災報知器設置工事：設計及び工事の計画の認可申請

○ 工事概要

新火災防護基準バックフィット対応として、火災区域に対し、異なる種類の火災感知器を消防法に準じた箇所に設置する。

○ 予定期間

第26回定期事業者検査期間中（完了予定：2024年1月）

3. 発電用原子炉施設の点検、検査の方法、実施頻度及び時期

(1) 点検計画

定期事業者検査中及びプラント運転中の点検について、あらかじめ保全方式を設定し、点検の方法並びにそれらの実施頻度及び時期を定めた点検計画を「高浜発電所 保修業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」に従い策定した。また、土木建築に関する設備の点検計画については、「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に従い策定した。

点検計画のうち、定期事業者検査対象機器等に係る主要な点検の計画に基づく点検計画を別紙に記載する。

附帯設備も含めた各機器の詳細な点検計画は、「保全指針」に規定している。

点検計画を策定又は変更するにあたっては、保全活動から得られた情報等から、保全の有効性を評価し、保全が有効に機能していることを確認するとともに、継続的な改善につなげている。なお、保全の有効性評価は、以下の情報を適切に組み合わせて行った。

- ・保全活動管理指標の監視結果
- ・保全データの推移及び経年劣化の長期的な傾向監視の実績
- ・トラブルなど運転経験
- ・高経年化技術評価および定期安全レビュー結果
- ・他プラントのトラブル及び経年劣化傾向に係るデータ
- ・リスク情報、科学的知見

4. 発電用原子炉施設の工事及び点検を実施する際に行う保安の確保のための措置

定期事業者検査停止時における保安規定の運転上の制限を遵守するための計画は、別図のとおりである。

また、定期事業者検査以外の安全上重要な保守点検活動並びに留意事項等については、特になし。

別紙

点 檢 計 画
(第26保全サイクル)

点検計画の記載について

1. 点検計画については以下の方針に従い記載している。

(1) 記載している設備について

点検計画には発電所設備の主要機器として、以下設備を対象に記載している。

①核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の14に規定する技術基準が適用される設備

a.定期事業者検査の対象となる設備

b.実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則別表第2において、設計及び工事の計画に記載が要求されている設備

なお、設計及び工事の計画において仕様が記載されていない設備については、日常の管理の中で健全性が確認でき、かつ、取替が可能な下記のものについて除外する。

(a)防護具、現地操作時に用いる工具類

(b)一般消耗品（電池類他）

(c)一般産業品（可搬型照明、電話・ファクシミリ他）

②保全の重要度が高い設備

保全重要度が高い設備とは、以下の設備を指す。

a.安全機能の重要度が高い設備

b.供給信頼性重要度が高い設備

c.リスク重要度が高い設備

なお、アクシデントマネジメント（AM）対応設備であることにより、保全の重要度を「高」とした設備については、点検計画において「AM（対応するアクシデントマネジメント名）機器」として明示している。

(2) 記載している点検について

点検計画には上記設備の主要な点検として、以下を記載している。

- ・定期事業者検査に係る点検
- ・定期事業者検査の都度性能維持のための措置を伴う点検
- ・定期事業者検査に係る点検の実施頻度より短い実施頻度で行う性能維持のための措置を伴う点検
- ・記載対象設備において、上記に該当する点検が無い設備については主要な点検

上記以外の点検（主要機器の上記条件以外の点検や附帯設備^{※1}の点検等）については、「高浜発電所 保修業務所則（平成5高原保所則 第2号）」に基づき策定した「保全指針」及び「高浜発電所 土木建築業務所則（平成19高原土所則 第1号）」に定めている。

※1：附帯設備の例

〔潤滑油、潤滑水、シール水、冷却設備、電源、制御回路、オリフィス、レデューサ、フローグラス 等〕

(3) 保全の重要度について

「グレード分け通達(平成18原品証通達第2号)」等の考え方従い、「高」又は「低」のいずれかで表記している。

なお、重要度「高」及び定期事業者検査対象の設備については、保全方式として予防保全(時間基準保全、状態基準保全)を選定し、事後保全は選定していない。

(4) 保全方式について

保全方式について以下のとおり記載している。

- ・ 時間基準保全を採用しているもの：点検頻度
- ・ 状態基準保全を採用しているもの：CBM
- ・ 事後保全を採用しているもの：BM

(5) 点検頻度について

次の整理により「F」：保全サイクル、「M」：月、「Y」：年で表記している。

- ・ 性能維持のための措置を伴う点検及びそれに伴い実施する点検については、「M」又は「Y」により表記している。なお、記載した頻度のうち「M」は、運転期間(総合負荷性能検査～解列)に対応した値を示している。
また、複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、その点検頻度の最短及び最長のものを記載している。
 - ・ 供用期間中検査のように年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ 機器の分解点検時期に合わせて実施する機能・性能試験については、「B」により表記している。また、その他、性能維持のための措置を伴わない点検のうち、分解・開放点検等の性能維持のための措置を伴う点検と合わせて実施するものについても「B」※2と表記している。なお、回転機器(ポンプ、ファン等)等、本体と駆動部で構成される機器は、一方が分解点検を実施した場合においても、その後の機能・性能試験で本体と駆動部の機能・性能を確認する。
 - ・ これ以外で、性能維持のための措置を伴わない点検については、「F」※2により表記している。また、性能維持のための措置を伴わない点検であっても、当該点検が、プラント運転期間中の発電用原子炉施設の保安の確保に支障がなく、年度管理するものについては、「Y」により表記している。
 - ・ このほか肉厚管理指針に従い管理する肉厚測定は、検査箇所ごとの管理となるため、本表では“肉厚管理指針による”と表記している。
 - ・ 定期的な頻度をもたずに実施する点検については、「X」により表記している。
- ※2：「B」「F」により表記しているものは、基本的に性能維持のための措置を予定していない点検であり、劣化進展がごく軽微なため、分解・開放点検やプラント定期事業者検査停止時期に合わせた実施管理が適しているものを対象にしている。

(6) 点検時期について

- ・時間基準保全の点検については、“定期事業者検査起動後”、“プラント運転中”の表現により、備考欄に実施時期を記載している。なお、これらの記載のないものについては、定期事業者検査停止中に実施することとしている。
- ・プラント停止（定期事業者検査）に先立ち、プラント運転中に実施する定期的な点検を「先行実施」とし、その対象設備を備考欄に明記し、区別する。

(7) 状態監視方法の記載について

- ・保全方式として状態基準保全を用いる機器については、経年劣化事象等による劣化の有無・劣化の傾向を監視する方法（状態監視技術、定例試験、巡視点検等）及びその頻度を備考欄に記載している。
- ・保全方式として時間基準保全を採用している機器については、保全をより充実する観点で採用している状態監視技術について方法・頻度を備考欄に記載している。

なお、第26保全サイクル中に点検を実施するものについては「点検計画」に「○」※3を記載している。

また「点検計画」には、当該点検の前回実績（実施時期）※4も記載している。

※3：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目については、本保全サイクルの中に一つでも点検の計画があれば「○」としている。

※4：複数の機器や複数の点検タスクをまとめて記載した項目にあっては、最新実績を記載している。

目 次

| 機器又は系統名 | ページ |
|---|-------|
| 原子炉本体 | 1/45 |
| [炉心] | |
| [原子炉容器] | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 | 1/45 |
| [燃料取扱設備] | |
| [使用済燃料貯蔵設備] | |
| [使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備] | |
| [燃料取替用水設備] | |
| 原子炉冷却系統施設 | 3/45 |
| [一次冷却材の循環設備] | |
| [主蒸気・主給水設備] | |
| [余熱除去設備] | |
| [非常用炉心冷却設備] | |
| [化学体積制御設備] | |
| [蒸気タービンの附属設備] | |
| [原子炉補機冷却水設備] | |
| [原子炉補機冷却海水設備] | |
| [原子炉格納容器内的一次冷却材の漏えいを監視する装置] | |
| 計測制御系統施設 | 14/45 |
| [制御材] | |
| [制御棒駆動装置] | |
| [工学的安全施設等の作動信号] | |
| [ほう酸注入機能を有する設備] | |
| [ほう素再生設備] | |
| [制御用空気設備] | |
| [その他設備] | |
| 放射性廃棄物の廃棄施設 | 19/45 |
| [気体、液体又は固体廃棄物処理設備] | |
| [原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置] | |
| 放射線管理施設 | 23/45 |
| [放射線管理用計測装置] | |
| [生体遮蔽装置] | |
| [換気設備] | |
| [その他設備] | |
| 原子炉格納施設 | 32/45 |
| [原子炉格納容器] | |
| [圧力低減設備その他の安全設備] | |
| 原子力設備 | 36/45 |
| [その他設備] | |

| 機器又は系統名 | ページ |
|-----------------------------------|-------|
| 原子力設備・タービン設備 | 37/45 |
| [その他設備] | |
| [蒸気タービン] | 37/45 |
| [車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸] | |
| [調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁] | |
| [復水器] | |
| [蒸気タービンに附属する熱交換器] | |
| [蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備] | |
| [蒸気タービンに附属する管等] | |
| [その他設備] | |
| [補助ボイラー] | 42/45 |
| [その他発電用原子炉の附属施設] | 42/36 |
| [浸水防護施設] | |
| [常用電源設備] | |
| [火災防護施設] | |
| [非常用発電装置] | |
| [その他の電源装置] | |
| [土木建築設備] | 45/45 |
| [敷地内土木構造物] | 45/45 |
| [プラント総合] | 45/45 |
| [非常用取水設備] | 45/45 |
| [取水設備] | |

別表－1：クラス1機器供用期間中検査7年計画
 別表－2：クラス2機器供用期間中検査10年計画
 別表－3：クラス3機器供用期間中検査10年計画
 別表－4：クラス1機器N_i基合金使用部位特別検査7年計画
 別表－5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画
 別表－6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画
 別表－7：重大事故等クラス1機器供用期間中検査10年計画
 別表－8：重大事故等クラス2機器供用期間中検査10年計画
 別表－9：重大事故等クラス3機器供用期間中検査10年計画
 別表－10：クラス1配管特別検査 4年計画

1. 点検計画

| 機器又は系統名 〔炉心〕 | 実働数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期 (回) | 検査名 | 備考 (○内は適用する 設備診断技術) |
|---|---------------------------------|--|-------------------------------------|--|--|------------|---------------------------|
| 照射源燃料集合体 | 照射源燃料集合体 | ※ 1式 1.外観点検 | IF ○ | 25回 | 燃料集合体外観検査 | ※：炉心設計による | |
| 照射源燃料集合体 (取出燃料) | ※ 1式 1.外観点検 | 高 IF ○ | 25回 | 燃料集合体外観検査 | ※：炉心設計による | | |
| 燃料集合体 | ※157体 1.外観点検 (炉内配置) | 高 IF ○ | 25回 | 燃料集合体炉内配置検査 | ※：炉心設計による | | |
| 内用物 (1) 制御棒クリスタ (2) ベンチブルボインズ (3) ブランケットデバイス (4) 2次中性子源 | ※ 1式 1.外観点検 (炉内配置) | 高 IF ○ | 25回 | 燃料集合体炉内配置検査 | ※：炉心設計による | | |
| 原子炉本体 〔原子炉容器〕 | 原子炉本体 制御棒クリスタ案内容支持ビン 104本 | 1.機能・性能試験 1.開放点検 1.外観点検 | 高 IF ○ 高 13M ○ | 25回 25回 | 原子炉停止余裕検査 炉物理検査 | 定期事業者検査起動後 | |
| 核燃料品質の取扱施設及び貯蔵 施設 〔燃料取扱設備〕 | 燃料移送装置 燃料取扱装置 [燃料取扱設備] | 1式 1.機能・性能試験 (リティッシュワ レーム) 1.機能・性能試験 2.分解点検他 | IF ○ IF ○ 39H～195M ○ | 25回 25回 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | 一部先行実施 | |
| 燃料取替クリーン | 1.機能・性能試験 2.分解点検他 | 高 IF ○ 39H～195M ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | | | |
| 使用済燃料ヒットクリーン | 1.機能・性能試験 2.分解点検他 | 高 IF ○ 39H～195M ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | | | |
| 新燃料エレベーター | 1.機能・性能試験 2.分解点検他 | 高 IF ○ 39H～195M ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | | | |
| 燃料取扱建屋クリーン | 1.機能・性能試験 2.簡易点検 (年次点検) | 高 IF ○ 12M ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | | | |
| 燃料取扱工具 | 1式 1.外観点検 2.外観点検 | 高 ※※ ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 (動作・インターロック試験等) | | | |
| ヴァラン・ブルトニウム混合化物新燃料取扱設置 1台 | 1.機能・性能試験 2.外観点検 | 高 IF ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | ※MOX新燃料受入時の炉心施 アラン・ト運転中又は定期事業者検査停止中 | | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵設置 「燃料取扱設 備」その他機器 | 1.分解点検他 1.特性試験 2個 2個 | 高・低 13M～91M ○ | 25回 | 燃料取扱装置機能検査 燃料取扱設備検査 (動作・インターロック試験等) | 一部BMあり 一部プラント運転中 | | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵 施設 〔使用済燃料設備〕 | 1次系計測制御装置 1式 | 1.特性試験 高・低 13M ○ | 25回 | プラント炉心施設機能検査 | | | |
| 使用済燃料ヒット監視カメラ空冷装置 | 1式 1.機能・性能試験 | 高 13M ○ | 25回 | 計測制御系監視機能検査 | | | |
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵設置 「使用済燃料 設備」その他機器 | 1式 1.特性試験他 | 高 13M ○ | 25回 | 可燃型重大事故等対応設備機能検査 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数 | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|--|------------------------|--|----------|----------|-------------------|--|-----------------------------|
| 核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備】 | 可搬式化音低圧注水ポンプ・電動機 3台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 高 IV | ○ 25回 | 可搬型重大事故等対応設備機能検査 | プラント運転中又は定期事業者検査時[中 21回施設定期検査より追加] | |
| 送水車 | 3台 | 2. 分解点検(電動機) | 7SM | — | — | — | |
| 大容量ポンプ(放水駆用) | 3台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高 IV | ○ 25回 | 可搬型重大事故等対応設備機能検査 | プラント運転中又は施設定期検査時[中 2021.3より設置 21回施設定期検査より追加] | |
| 使用済燃料ピット浄化冷却設備 | 1台 | 1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機含む) | 高 IV | ○ 25回 | 使用済燃料貯蔵槽冷却净化系機能検査 | — | |
| A 使用済燃料ピットポンプ・電動機 | 1台 | 1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 CBM | — 12回 | — 23回 | 先行実施 (振動診断 : 3W) | |
| B 使用済燃料ピットポンプ・電動機 | 1台 | 1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 CBM | — 13回 | — 24回 | 先行実施 (振動診断 : 3W) | |
| A 使用済燃料ピットフィルタ | 1台 | 1. 分解点検 2. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 CBM | — 13M | — 25回 | 先行実施 (振動診断 : 3W) | |
| B 使用済燃料ピットフィルタ | 1台 | 1. 分解点検 1. 分解点検(管側) | 低 CBM | — 13M | — 18回 | 先行実施 | |
| A 使用済燃料ピット冷却器 | 1台 | 1. 分解点検 1. 分解点検(管側) | 高 CBM | — 19M | — 25回 | 先行実施 | |
| B 使用済燃料ピット冷却器 | 1台 | 2. 非破壊試験 | 高 CBM | — 19M | — 21回 | 先行実施 | |
| C 使用済燃料ピット冷却器 | 1台 | 1. 分解点検(管側) 1. 分解点検(管側) | 高 CBM | — 19M | — 25回 | 1次系熱交換器検査 | |
| 核燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備】その他の弁 | 1台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 B | ○ 24回 | 1次系熱交換器検査 | 先行実施 | |
| 核燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備】その他の弁駆動部 | 1台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(耐性試験) | 高・低 B | ○ 24回 | 1次系熱交換器検査 | 一部先行実施 | |
| 核燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備】その他の機器 | 1台 | 1. 分解点検 | 6SM~20SM | ○ 25回 | 1次系熱交換器検査 | 一部先行実施 | |
| 核燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設【使用済燃料貯蔵槽冷却净化設備】その他の弁 | 1台 | 1. 分解点検 | 7SM~13M | ○ 25回 | 1次系逆止弁検査 | 一部先行実施 | |
| | | 1. 分解点検 | 13M~130M | ○ 25回 | — | 一部BMより 一部先行実施 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 査定名 | | | 備考 (○は適用する) ※ボンブまたは電動機の分解点検に含む |
|------------------------------|------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|--------------------------------------|
| | | | 保全方式 又は頻度 重要度 | 今回実施時 期(定期検 査) | 前回実施時 期(定期検 査) | |
| A 燃料取替用ボンブ・電動機 | 1 機能・性能試験 | B※ | — | 23回 | 1 次系ボンブ機能検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に含む |
| | 2. 分解点検(ボンブ) | 13M | — | 21回 | | |
| | 2. 分解点検(電動機) | 5M | — | 23回 | | |
| | 3. 簡易点検(潤滑油注入部他) | 13M~26M | ○ | 25回 | | |
| B 燃料取替用ボンブ・電動機 | 1 機能・性能試験 | 高 | — | 25回 | 1 次系ボンブ機能検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に含む |
| | 2.2 簡易点検(ボンブ) | 13M | — | 25回 | | |
| | 2. 分解点検(電動機) | 5M | — | 24回 | | |
| | 3. 簡易点検(潤滑油注入部他) | 13M~26M | ○ | 25回 | | |
| C 燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設用[燃料取替用]水設備 | 1 機能・性能試験 | 高 | B | — | 22回 | 1 次系弁検査 1 次系安全弁検査 |
| | 2. 分解点検 | 13M | — | 25回 | 1 次系弁検査 | |
| D 燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設用[燃料取替用]水設備 | 1 機能・性能試験 | 高 | B | — | 23回 | 1 次系弁検査 |
| | 2. 分解点検 | 15M | — | 23回 | | |
| E 燃料物質の貯蔵施設及び貯蔵施設用[燃料取替用]水設備 | 1. 分解点検他 | 高 | 10M~13M | ○ | 25回 | 一部先行実施 |
| | 1. 分解点検他 | 低 | 10M~13M | ○ | 25回 | 一部先行実施 一部BMより |
| F 燃氣発生器 | 伝熱管3,269本 | 1. 非破壊試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 |
| | | 2. 開放点検 | — | 13M | ○ | 25回 |
| | | 3. 簡易点検(スラッシュランシング) | — | 13M | ○ | 25回 |
| | | 4. 簡易点検(ガスケット取替他) | — | 13M | ○ | 25回 |
| G 蒸気発生器給水入口管台 | 1箇所 | 1. 非破壊試験 | 高 | 10Y | — | 23回 |
| H 蒸気発生器 | 伝熱管3,246本 | 1. 非破壊試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 |
| | | 2. 開放点検 | — | 13M | ○ | 25回 |
| | | 3. 簡易点検(スラッシュランシング) | — | 13M | ○ | 25回 |
| | | 4. 簡易点検(ガスケット取替他) | — | 13M | ○ | 25回 |
| I 蒸気発生器給水入口管台 | 1箇所 | 1. 非破壊試験 | 高 | 10Y | — | 23回 |
| J 蒸気発生器 | 伝熱管3,261本 | 1. 非破壊試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 |
| | | 2. 開放点検 | — | 13M | ○ | 25回 |
| | | 3. 簡易点検(スラッシュランシング) | — | 13M | ○ | 25回 |
| | | 4. 簡易点検(ガスケット取替他) | — | 13M | ○ | 25回 |
| K 蒸気発生器給水入口管台 | 1箇所 | 1. 非破壊試験 | 高 | 10Y | — | 23回 |

| 機器又は系部名 原子炉冷却系施設設備 〔一次冷却材の循環設備〕 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 前回実施時 期(定期検査回数) | | 検査名 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|--------|--------------------|--------------------|---------------|
| | | | | 今回実施計画 又は頻度 | 前回実施時 期(定期検査回数) | |
| 加圧器安全弁 | 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057 | 1. 機能・性能試験 2. 編えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器安全弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁 | 3-PCV-454C | 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 編えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器安全弁分解検査 |
| 加圧器逃がし弁駆動部 | 3-PCV-454C | 1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験) | 高 | 13M ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁 | 3-PCV-455A | 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 編えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁駆動部 | 3-PCV-455A | 1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験) | 高 | 13M ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁分解検査 |
| 加圧器逃がし弁 | 3-PCV-455B | 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 編えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁駆動部 | 3-PCV-455B | 1. 分解点検 2. 簡易点検 (特性試験) | 高 | 13M ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁分解検査 |
| 加圧器逃がし弁元弁 | 3V-RC-054A | 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハッキング取替) | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁元弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁元弁駆動部 | 3V-RC-054A | 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハッキング取替) | 高 | 150M ○ | 21回 | 加圧器逃がし弁元弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁元弁 | 3V-RC-054B | 1. 分解点検 2. 簡易点検 (グランドハッキング取替) | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁元弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁元弁駆動部 | 3V-RC-054B | 1. 分解点検 2. 簡易点検 (グランドハッキング取替) | 高 | 150M ○ | 21回 | 加圧器逃がし弁元弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁元弁 | 3V-RC-054C | 1. 機能・性能試験 (駆動部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検 (グランドハッキング取替) | 高 | IF ○ | 25回 | 加圧器逃がし弁元弁機能検査 |
| 加圧器逃がし弁元弁駆動部 | 3V-RC-054C | 1. 分解点検 | 高 | 150M ○ | 21回 | 加圧器逃がし弁元弁機能検査 |

| 機器又は系統名 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 重要度 | 今回の実 施計画 | 前回実施時 期 (定期 検査) | 検査名 | () 内は適用する 備考 設備監修技術) |
|-----------------------------|----------------------------|------------|---------------------|---------------|-----------------------|----------------------|-----------------------------|
| A 1 次冷却材ポンプ・電動機 | | 1. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ | 25回 | 1 次冷却材ポンプ機能検査 | 一部定期事業者検査起動後 |
| | 2. 分解点検 (ポンプ) | | 高 | 130M - | 23回 | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 高 | 104M - | 23回 | | |
| | 2. 分解点検 (マニカルシール) | | 中 | 13M ○ | 25回 | 1 次冷却材ポンプマニカルシール分解検査 | 一部先行実施 |
| | 2. 分解点検 (フライホイール) | | 高 | 104M - | 23回 | | |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | 中 | 26M - | 25回 | | |
| B 1 次冷却材ポンプ・電動機 | | 1. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ | 25回 | 1 次冷却材ポンプ機能検査 | 一部定期事業者検査起動後 |
| | 2. 分解点検 (ポンプ) | | 高 | 130M - | 24回 | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 高 | 104M - | 22回 | | |
| | 2. 分解点検 (マニカルシール) | | 中 | 13M ○ | 25回 | 1 次冷却材ポンプマニカルシール分解検査 | 一部先行実施 |
| | 2. 分解点検 (フライホイール) | | 高 | 104M - | 22回 | | |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | 中 | 26M ○ | 24回 | | |
| C 1 次冷却材ポンプ・電動機 | | 1. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ | 25回 | 1 次冷却材ポンプ機能検査 | 一部定期事業者検査起動後 |
| | 2. 分解点検 (ポンプ) | | 高 | 130M - | 21回 | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 高 | 104M - | 25回 | | |
| | 2. 分解点検 (マニカルシール) | | 中 | 13M ○ | 25回 | 1 次冷却材ポンプマニカルシール分解検査 | 一部先行実施 |
| | 2. 分解点検 (フライホイール) | | 高 | 104M - | 25回 | | |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | 中 | 26M - | 25回 | | |
| 加工器 | | 1. 開放点検 | 高 | 39M ○ | 23回 | | |
| | 2. 簡易点検 (マンホールガスケット取 替) | | 中 | 13M ○ | 25回 | | |
| 原子炉冷却系統施設 「一次冷却材の循環設備」その他 | 1式 | 1. 機能・性能試験 | 高 | B ○ | 24回 | 1 次系統検査 | |
| | 2. 分解点検 | | 高 | 26M ○ | 24回 | 1 次系統検査 | |
| | 2. 簡易点検 (特性試験他) | | 高 | B ○ | 25回 | 1 次系統逆止弁検査 | |
| 原子炉冷却系統施設 「一次冷却材の循環設備」その他 | 1式 | 1. 分解点検 | 高 | 13M ○ | 25回 | 1 次系統検査 | |
| | 2. 分解点検 | | 低 | 65M~266M ○ | 25回 | | |
| 原子炉冷却系統施設 「一次冷却材の循環設備」その他機器 | 1式 | 1. 分解点検 | 高 | 52M~266M ○ | 25回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数(定期検査回数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------|--|--|---------------|---------------|---------|---------------------------------|-----------|-----------------------------|
| 原子炉冷却系給水設備 〔主蒸気・主給水設備〕 | 主蒸気安全弁 3V-MS-526A 3V-MS-527A 3V-MS-528A 3V-MS-529A 3V-MS-530A 3V-MS-531A 3V-MS-532A 3V-MS-532C 3V-MS-527C 3V-MS-528C 3V-MS-529C 3V-MS-526B 3V-MS-527B 3V-MS-528B 3V-MS-529B 3V-MS-530B 3V-MS-531B 3V-MS-532B 3V-MS-530C 3V-MS-531C 3V-MS-532C | 1. 機能・性能試験 2. 疎えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | | B | ○ | 24回 | 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |
| | | | 26M | ○ | 24回 | | | |
| | | 1. 機能・性能試験 2. 疎えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 主蒸気安全弁機能検査 | | |
| | | | B | — | 25回 | 主蒸気安全弁漏えい検査 | | |
| | | | 26M | — | 25回 | | | |
| 主蒸気逃がし弁 | 3-FCV-3610 3-FCV-3620 3-FCV-3630 | 1. 機能・性能試験(駆動部含む) 2. 疎えい試験 3. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 主蒸気逃がし弁機能検査 最終ヒートシグ熱輸送設備動作検査 | | |
| | | | B | ○ | 25回 | 主蒸気逃がし弁漏えい検査 | | |
| | | | 13M | ○ | 25回 | | | |
| 主蒸気逃がし弁駆動部 | 3-FCV-3610 3-FCV-3620 3-FCV-3630 | 1. 分解点検 2. 簡易点検(特性試験) | 高 | 13M ○ | 25回 | | | |
| | | | 13M | ○ | 25回 | | | |
| 主蒸気隔離弁 | 3V-MS-523A 3V-MS-523B 3V-MS-523C 3V-MS-533A 3V-MS-533B 3V-MS-533C | 1. 機能・性能試験(駆動部含む) 2. 分解点検 2. 分解点検 | 高 | IF ○ | 25回 | 主蒸気隔離弁機能検査 | | |
| | | | 高 | 39M ○ | 23回 | 2次糸井検査 | | |
| | | | — | — | 25回 | 2次糸井検査 | | |
| | | 2. 分解点検 | 高 | 39M ○ | 23回 | 2次糸井検査 | | |
| 原子炉冷却系給水設備「主蒸気・主給水設備」その他の弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グランドハシキン取替) | 高 | B ○ | 25回 | 2次糸井検査 | | |
| | | | 52M~130M — | — | 25回 | 2次糸井検査 | | |
| 原子炉冷却系給水設備「主蒸気・主給水設備」その他の弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(手作業試験) | 高 | B — | 25回 | 2次糸井検査 | | |
| | | | 52M~130M — | — | 25回 | | | |
| 原子炉冷却系給水設備「主蒸気・主給水設備」その他の機器 | 1式 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 | 高 低 | 13M~260M ○ | 25回 | | | |
| | | | 13M~130M ○ | — | 25回 | | | |
| | | | | | | | 一部 BM(5)9 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | | 保全の重要度 | 保全方式又は頻度 | 今回の実施計画 | 前回実施時期(定期検査) | 検査名 | 備考 (○ 内は適用する 設備診断技術) |
|--------------------------------------|-----------------|------------|--------------|--------|-----------------|------------------------|------------------------|------------------------|----------------------------|
| | | 1. 機器・性能試験 | 2. 分解点検(ボンブ) | | | | | | |
| A 余熱除去ポンプ・電動機 〔原子炉冷却系施設 「余熱除去設備」〕 | 1. 機器・性能試験 | 高 | B※ | — | 22回 | 1次系ポンプ機能検査 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | |
| | 2. 分解点検(ボンブ) | 75M | — | 22回 | 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | | その他の原子炉水系ポンプ分解検査 | |
| | 2. 分解点検(電動機) | 130M | — | 21回 | | | | | |
| | 3. 簡易点検(潤滑油入替他) | 13M~26M | ○ | 25回 | | | | | |
| | 1. 機器・性能試験 | 高 | B※ | — | 22回 | 1次系ポンプ機能検査 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | |
| | 2. 分解点検(ボンブ) | 75M | — | 22回 | 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | | その他の原子炉水系ポンプ分解検査 | |
| | 2. 分解点検(電動機) | 130M | — | 21回 | | | | | |
| | 3. 簡易点検(潤滑油入替他) | 13M~26M | ○ | 25回 | | | | | |
| | 1. 開放点検 | 高 | 130M | — | 18回 | | | | |
| | 2. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 18回 | 1次系熱交換器検査 | | | |
| A 余熱除去ポンプ・電動機 〔余熱除去装置〕 | 1. 開放点検 | 高 | 130M | — | 17回 | | | | |
| | 2. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 17回 | 1次系熱交換器検査 | | | |
| | 1. 開放点検 | 高 | 130M | — | 17回 | | | | |
| | 2. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 17回 | 1次系熱交換器検査 | | | |
| B 余熱除去冷却器 〔余熱除去系主要弁 弁圧注入系主要弁〕 | 3V-4RH-041A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 24回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-4RH-041B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 24回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3-PCV-601 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | ○ | 25回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3-PCV-611 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-193A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 22回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-193B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 23回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-292A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | ○ | 19回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-292B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 21回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-292C | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 25回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-293A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | ○ | 19回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| C 重圧注入系主要弁 〔重圧注入系主要弁〕 | 3V-SI-293B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 23回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-293C | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 25回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-298A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 23回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-298B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 22回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-298A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | ○ | 19回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| D 重圧注入系主要弁 〔重圧注入系主要弁〕 | 3V-SI-298B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 22回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-299A | 1. 分解点検 | 高 | 130M | ○ | 22回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 3V-SI-299B | 1. 分解点検 | 高 | 130M | ○ | 19回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉水系主要弁分解検査 | |
| | 1式 | 1. 分解点検 | 高 | 156M | — | 22回 | | | |

| 機器又は系統名 原子炉冷却系設施 〔余熱除去設備〕 | 実施数 原子炉冷却系設施 〔余熱除去設備〕その他の中 1式 | 点検及び試験の項目 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(ランドバッキン取替) | 保全方式 又は頻度 高 | 今回の実 施試験 B | 前回実施時 期(定期回 次) | 検査名 1. 次系弁検査 2. 次系弁検査 | 備考 (○) 内は適用する 設備診断技術) |
|---|--|--|-------------------|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|
| 原子炉冷却系設施「余熱除去設備」その他の中 馬動部 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験) | 高 | 52M~130M ○ | 25回 | 1. 次系弁検査 | |
| 原子炉冷却系設施「余熱除去設備」その他の中 原子炉冷却系機器 | 1式 | 1. 分解点検他 | 高 | 52M~150M ○ | 25回 | 1. 次系弁検査 | |
| その他ANM(代青筋鋼)機器 | 1式 | 1. 分解点検他 | 高 | 130M~260M ○ | 25回 | 1. 次系弁検査 | |
| 原子炉冷却系設施 〔余熱除去設備〕 〔余圧及DPS圧注入系 〔余熱除去設備〕を含む〕 | 1式 | 1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機、 弁、弁駆動部等含む) 1. 機能・性能試験(ポンプ、電動機、 弁、弁駆動部等含む) | 高 | 130M~150M ○ | 21回 | 1. 次系弁検査 | |
| 高圧注入系主要弁 〔非常用炉心冷却設備〕 | 3-1CV-121D | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 25回 | 非常用炉心冷却系水系機能検査 その他原子炉注入水系 | 【対象設備】 ・高圧注入系自己冷却 ・高圧注入系海水による電動機冷却 ・低圧注入系(海水による電動機冷却) |
| 高圧注入系主要弁 〔非常用炉心冷却設備〕 | 3-1CV-121E | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 23回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | |
| 3V-SI-023A | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 21回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-023B | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 21回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-042A | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-042B | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-099A | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 18回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-099B | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 18回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-099C | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 18回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-098A | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-098B | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-098C | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-106A | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | - | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-106B | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | - | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-106C | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | - | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-087A | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-087B | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-087C | 1. 分解点検 | 高 | 260M - | 20回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注入水系主要弁分解検査 | | |
| 3V-SI-088 | 1. 分解点検 | 高 | 130M - | 23回 | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | | |
| 高圧注入系主要弁駆動部 | 1式 | 1. 分解点検 | 高 | 156M - | 21回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施時期(定検回数) | 前回実施時(定検回数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|--|----------|------------------------------|--------|---------------|-------------|-----------------|--------------------------------|
| | | | | | | | |
| 原子炉冷却系給水装置 [非常用炉心冷却設備] [非常用炉心冷却設備] | 普圧注入系 | 1.機能・性能試験(弁、弁駆動部含む) | IF | ○ | 25回 | 非常用炉心冷却系機能検査 | その他の原子炉注水系機能検査は21回施設定期検査より追加 |
| | | 3V-SI-132A | 高 | 130M | — | その他の原子炉注水系機能検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-132B | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-132C | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-134A | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-134B | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-134C | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-136A | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-136B | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| | | 3V-SI-136C | 高 | 130M | — | 非常用炉心冷却系主要弁分解検査 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| 普圧注入系主要弁駆動部 | 式 | 1.分解点検 | 高 | 156M | — | 24回 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| A蓄圧タンク | | 1.開放点検 | 高 | 130M | — | 25回 | その他の原子炉注水系主要弁分解検査 |
| B蓄圧タンク | | 1.開放点検 | 高 | 130M | — | 21回 | |
| C蓄圧タンク | | 1.開放点検 | 高 | 130M | ○ | 21回 | |
| ほう酸注入タンク | | 1.開放点検 | 高 | 130M | — | 21回 | |
| 燃料取替用水タンク | | 1.開放点検 | 高 | 130M | — | 17回 | |
| 格納容器再循環サンプル | | 1.外観点検 | 高 | IF | ○ | 25回 | |
| 格納容器再循環サンプルリーン | | 1.外観点検 | 高 | 10Y | — | 23回 | 原子炉格納容器再循環サンプルリーン検査 |
| 燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ・電動機 | | 1.機能・性能試験 | 高 | IF | ○ | 25回 | その他の原子炉注水系機能検査 |
| | | 2.分解点検(ポンプ) | | 130M | — | — | 21回施設定期検査時に設置 21回施設定期検査より追加 |
| | | 2.分解点検(電動機) | | 7SM | — | — | |
| | | 3.簡易点検(潤滑油入替他) | | 26M | — | 25回 | |
| 恒温化海水圧注水系 | | 1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動部等含む) | 高 | IF | ○ | 25回 | 原子炉格納容器安全系機能検査 |
| 恒温化海水圧注水ポンプ・電動機 | | 1.機能・性能試験 | 高 | B | — | — | その他の原子炉注水系機能検査 |
| | | 2.分解点検(ポンプ) | | 130M | — | — | 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 |
| | | 2.分解点検(電動機) | | 7SM | — | — | 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 |
| | | 3.簡易点検(潤滑油入替他) | | 26M | — | 25回 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施時 期(定検回 次) | 前回実施時 期(定検回 次) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------------|--|---|----------------|-------------------------------|--------------------------|--|---|
| 原子炉冷却系施設 【非常用炉心冷却設備】 他の弁 | 原子炉冷却系施設【非常用炉心冷却設備】その 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | B ○ | 25回 | 1次系安全検査 1次系安全弁検査 | |
| 原子炉冷却系施設 【非常用炉心冷却設備】 他の弁駆動部 | 原子炉冷却系施設【非常用炉心冷却設備】その 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験他) | 高 | B ○ | 25回 | 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 | |
| 原子炉冷却系施設 【非常用炉心冷却設備】 他の機器 | 原子炉冷却系施設【非常用炉心冷却設備】その 1式 | 1. 分解点検他 | 高 | 13M~18M ○ | 25回 | | |
| 原子炉冷却系施設 【化学体積制御装置】 | 化学体積制御系 A充てん／高压注入ポンプ・電動機 | 1. 分解点検 1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(電動機) | 高 | 1F ○ | 25回 | 化学体積制御系機能検査 | 一部先行実施 |
| B充てん／高压注入ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(調滑油入替他) | 高 | 1.17M ○ | 20回 | 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 | 定期事業者検査記述後 |
| C充てん／高压注入ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(調滑油入替他) | 高 | 1.17M 10M ○ | 22回 24回 | 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 | (振動診断 : 3M) (振動診断 : 3M) |
| 体積制御ダンク | | 1. 分解点検 1. 分解点検(電動機) 2. 簡易点検(調滑油入替他) | 高 | 1.17M 10M ○ | 21回 23回 | 非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査 | (振動診断 : 3M) (振動診断 : 3M) |
| 冷却材フィルタ | | 1. 分解点検 1. 分解点検(電動機) | 高 | 13M ○ | 20回 21回 | | |
| A冷却材流量入口フィルタ | | 1. 分解点検 1. 分解点検(管側) | 高 | 13M ○ | 21回 21回 | | 先行実施 |
| B冷却材流量入口フィルタ | | 1. 分解点検 1. 分解点検(管側) 2. 非破壊試験 | 高 | 13M ○ | 20回 19回 | | 先行実施 |
| 非再生冷却器 | | 1. 分解点検 2. 非破壊試験 | 高 | 13M ○ | 19回 | 1次系熱交換器検査 | |
| その他原子炉注水系主要弁 | 3V-CS-218 3V-CS-219 3V-CS-233 3V-CS-234 | 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 | 高 | 13M 13M 13M 13M ○ | 24回 25回 25回 24回 | その他原子炉注水系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 | 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 21回施設定期検査より追加 |

| 機器又は系統名 | 実施数（機器名） | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施時 期(定期検査回 数) | 前回実施時 期(定期検査回 数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|------------------------------------|----------------------------|--|----------------|-------------------------|------------------------|--------------------|-----------------------------|
| 原子炉冷却系系統施設 【化学液体制御設備】 の弁 | 原子炉冷却系系統施設【化学液体制御設備】その他 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | B ○ | 25回 | 1次系弁検査 1次系安全弁検査 | |
| 原子炉冷却系系統施設【化学液体制御設備】 の弁駆動部 | 原子炉冷却系系統施設【化学液体制御設備】その他 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験他) | 高 | B ○ | 25回 | 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 | 一部先行実施 |
| 原子炉冷却系系統施設【化学液体制御設備】 機器 | 原子炉冷却系系統施設【化学液体制御設備】その他 1式 | 1. 分解点検他 | 高・低 | 13M～15M ○ | 25回 | | |
| 原子炉冷却系系統施設 【蒸気タービンの附属設備】 | 補助給水系 A電動補助給水泵シップ・電動機 | 1. 分解点検 1. 機能・性能試験(ポンプ・電動機、 弁・弁駆動部等含む) 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 1F ○ | 25回 | 補助給水系機能検査 | 一部先行実施 |
| B電動補助給水泵シップ・電動機 | | 1. 分解点検(電動機) | 高 | 13M ○ | 25回 | 補助給水系シップ分解検査 | (振動診断 : 1W) |
| | | 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 | 10M ○ | — | 21回 | |
| | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 13M ○ | 25回 | | |
| タービン動輪補助給水泵シップ | | 1. 分解点検(電動機) | 高 | 10M ○ | — | 22回 | (振動診断 : 1W) |
| | | 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 | 13M ○ | 25回 | | |
| | | 1. 機能・性能試験 | 高 | B ○ | — | 25回 | |
| 原子炉冷却系系統施設【蒸気タービンの附属設備】 の他の弁 | | 2. 分解点検 | 高 | 52M ○ | — | 25回 | 製動部のタービン含む |
| | | 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 高 | 13M ○ | 25回 | | |
| | | 1. 機能・性能試験 | 高 | B ○ | — | 25回 | |
| 原子炉冷却系系統施設【蒸気タービンの附属設備】 の他の弁駆動部 | | 2. 分解点検 | 高 | 52M～13M ○ | — | 25回 | 2次系弁検査 |
| | | 3. 簡易点検(グランド入替) | 高 | 52M ○ | — | 25回 | |
| | | 1. 機能・性能試験 | 高 | B ○ | — | 25回 | |
| 原子炉冷却系系統施設【蒸気タービンの附属設備】 の他の機器 | | 2. 分解点検 | 高 | 52M～15M ○ | — | 25回 | 2次系弁検査 |
| | | 3. 簡易点検(特性試験) | 高 | 13M～52M ○ | — | 25回 | |
| | | 1. 分解点検他 | 高 | 26M～260M ○ | — | 25回 | |
| | | 1. 分解点検他 | 低 | 65M～130M ○ | — | 21回 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | | | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実 施計画 | 前回実施時 期(定期検 査) | 検査名 | (○:実施する △:実施しない ×:実施しない) |
|-------------------|-------------|----------------------------|----------------------------|-------------------------------|----------------|-----------------|----------------------|-------------------|--|
| | | 点検 | 試験 | 点検 | | | | | |
| A 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機 | 原子炉補機冷却水ポンプ | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 1F B※ — | ○ — — | 25回 24回 24回 | 原子炉補機冷却系機能検査 ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |
| B 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機 | 原子炉補機冷却水ポンプ | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 104M B※ — | ○ ○ — | 25回 25回 24回 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |
| C 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機 | 原子炉補機冷却水ポンプ | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 130M B※ — | ○ — — | 21回 24回 24回 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |
| D 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機 | 原子炉補機冷却水ポンプ | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 104M B※ — | ○ — — | 25回 25回 22回 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |
| E 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機 | 原子炉補機冷却水ポンプ | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 130M B※ — | ○ — — | 25回 25回 25回 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |
| F 原子炉補機冷却水ポンプ・電動機 | 原子炉補機冷却水ポンプ | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電動機) | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 104M B※ — | ○ — — | 25回 25回 23回 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |
| G 大容量ポンプ | 3台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(電油注入替他) | 高 | 1Y — — | ○ — — | 25回 25回 — | 可搬型重大事故等対応設備機器検査 ※ポンプまたは電動機の分解点検に含わせて実施 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施時期(定期・定検回数) | 前回実施時(定期・定検回数) | 検査名 | () 内は適用する 設備診断技術 |
|---------------------------|-----------|---------------|--------|------------------|----------------------------------|-----------------------------------|----------------------|
| A原子炉補機冷却水冷却器 | | 1.開放点検 | 高 | 13M ○ | ○ | 25回 | |
| | 2.非破壊試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | 1次系熱交換器検査 | |
| | 3.漏えい試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | | |
| | 4.機能・性能試験 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| | 5.開放点検 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| B原子炉補機冷却水冷却器 | | 1.開放点検 | 高 | 13M ○ | ○ | 25回 | |
| | 2.非破壊試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | 1次系熱交換器検査 | |
| | 3.漏えい試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | | |
| | 4.機能・性能試験 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| | 5.開放点検 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| C原子炉補機冷却水冷却器 | | 1.開放点検 | 高 | 13M ○ | ○ | 25回 | |
| | 2.非破壊試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | 1次系熱交換器検査 | |
| | 3.漏えい試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | | |
| | 4.機能・性能試験 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| | 5.開放点検 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| D原子炉補機冷却水冷却器 | | 1.開放点検 | 高 | 13M ○ | ○ | 25回 | |
| | 2.非破壊試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | 1次系熱交換器検査 | |
| | 3.漏えい試験 | | 13M ○ | ○ | 25回 | | |
| | 4.機能・性能試験 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事機能・性能 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| | 5.開放点検 | ※ | — | 24回 | 原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事構造・強度 事業者検査 | ※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施 | |
| 原子炉補機冷却水サージタンク | | 1.開放点検 | 高 | 130M — | — | 21回 | |
| 原子炉補機冷却水サージタンクバキュームリーパー | | 1.分解点検 | 高 | 130M — | — | 17回 | 1次系真空吸排弁検査 |
| 可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ | 2台 | 1.機能・性能試験 | 高 | 1F ○ | ○ | 25回 | 可搬型重大事故等対処設備機能検査 |
| 原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他 | 13式 | 2.分解点検 | 10F — | — | — | — | 21回施設点検時に設置 |
| 原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他 | 13式 | 1.機能・性能試験 | 高・低 | B ○ | ○ | 25回 | 1次系空気疏水弁検査 |
| | | 2.分解点検 | | | | 1次系弁検査 | 一部先行実施 |
| 原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他 | 13式 | 1.機能・性能試験 | 高 | B — | — | 22回 | 1次系弁検査 |
| | | 2.分解点検 | | | | 1次系弁検査 | 一部先行実施 |
| | | 3.簡易点検(特性試験他) | | | | 13M～150M ○ | 24回 |
| 原子炉冷却却系統施設「原子炉補機冷却水設備」その他 | 13式 | 1.分解点検他 | 高 | 13M～260M ○ | ○ | 25回 | 一部先行実施 |
| | | 1.分解点検他 | 低 | 65M～208M — | — | 24回 | 一部BMb,9 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数 | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------|--|---------------------------|----------|---------------|--------|---|--|
| 原子炉冷却系給水設備 【原子炉補機冷却海水設備】 | 原子炉補機冷却海水系 A 海水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験(弁、弁駆動部合 2.) | 高 | 1F ○ | 25回 | 原子炉補機冷却系機能検査 | |
| | | 1. 機能・性能試験 | 高 | 0※ — | 24回 | 2次系シングル機能検査 | 先行実施 (振動診断 : 3M (対象: 電動機) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 2. 分解点検(ボンブ) | 5M — | — | 24回 | 2次系シングル分解検査 | |
| | | 2. 分解点検(電動機) | 10M — | — | 24回 | | |
| | | 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 26M — | — | 24回 | | |
| | B 海水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 | 0※ ○ | 23回 | 2次系シングル機能検査 | 先行実施 (振動診断 : 3M (対象: 電動機) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 2. 分解点検(ボンブ) | 5M — | — | 23回 | 2次系シングル分解検査 | |
| | | 2. 分解点検(電動機) | 10M — | — | 23回 | | |
| | | 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 26M — | — | 25回 | | |
| | C 海水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 | 0※ — | 24回 | 2次系シングル機能検査 | 振動診断 : 3M (対象: 電動機) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 2. 分解点検(ボンブ) | 5M — | — | 24回 | 2次系シングル分解検査 | |
| | | 2. 分解点検(電動機) | 10M — | — | 22回 | | |
| | | 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 26M — | — | 24回 | | |
| | 原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 その他の弁 | 1. 分解点検 | 高 | 117M — | — | 2次系弁検査 | |
| | 原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 その他の弁駆動部 | 1. 機能・性能試験 | 高 | B ○ | 25回 | | |
| | 原子炉冷却系統施設 【原子炉補機冷却海水設備】 その他の機器 | 2. 分解点検 | — | — | 25回 | | |
| | | 1. 分解点検他 | 高 | 13M～195M ○ | — | 25回 | |
| | | 1. 分解点検他 | 低 | 13M～195M ○ | — | 一部 BMあり | |
| | | 1. 分解点検他 | 高 | 13M ○ | 25回 | 格納容器サンプル水位上昇率測定装置及び格納容器内 格納容器置換定装置漏えい検出器機能検査 | |
| | | 2. 特性試験 | — | — | 25回 | 格納容器サンプル水位上昇率測定装置漏えい検出器機能検査 | |
| | | 1. 外観点検 | 高 | 1F ○ | 25回 | 制御格ラススタ検査 | ※ : 衝撃設計による |
| | 照射液制御格ラス | 1. 外観点検 | 高 | 1F ○ | 25回 | 制御格ラススタ検査 | ※ : 衝撃設計による |
| 計測制御系統施設 【制御材】 | 照射液ハーナブルホイズン | 1. 外観点検 | 高 | 1F ○ | 25回 | 制御格ラススタ検査 | ※ : 衝撃設計による |
| | 照射液フランクティングデバイス | 1. 外観点検 | 高 | 1F ○ | 25回 | 制御格ラススタ検査 | ※ : 衝撃設計による |
| | 照射液2次中性子源 | 1. 外観点検 | 高 | 1F ○ | 25回 | 制御格ラススタ検査 | ※ : 衝撃設計による |
| | 制御格ラス | 1. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ | 25回 | 制御格ラススタ動作検査 | |
| | A 制御駆動装置MG-sett (参考機・電動機) | 1. 機能・性能試験 | 高 | 0※ — | 24回 | | 振動診断 : 3M ※参考電機または電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 2. 分解点検(参考機) | 7M — | — | 24回 | | |
| | | 2. 分解点検(電動機) | CBM — | — | 25回 | | |
| | | 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 13M ○ | — | 25回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施計画 | 前回実施時定期(回数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する設備診断技術) |
|----------------------------------|--|---|----------------------------|--------------------|-----------------------------|--|--|
| 計制御系施設 [制御駆動装置] | B制御駆動装置MGセット(発電機・電動機) | 1. 機能・性能試験 | 高 | B※ | — | 24回 | |
| | B制御駆動装置MGセット(発電機・電動機) | 2. 分解点検(発電機) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 CBM 13M | 7SM — ○ | — — 25回 24回 25回 | | (振動診断: 3M) ※発電機または電動機の分解点検に合わせて実施 |
| 計制御系施設 [工学的安全装置等の作動信号] | ATWS緩衝設備 | 式 | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 高 13M | ○ ○ | 25回 25回 | 重大事故時安全停止回路機能検査 重大事故時安全停止回路機能検査 |
| 計制御系施設 [はう酸ポンプ・電動機 を有する設備] | Aはう酸ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 7SM 7SM 13M～39M | 9SM — — ○ | — — — 22回 | 22回 22回 22回 25回 | (振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | Bはう酸ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 7SM 7SM 13M～39M | 9SM — — ○ | — — — 25回 | 23回 25回 25回 25回 | (振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | Cはう酸ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 7SM 7SM 13M～39M | 9SM — — ○ | — — — 21回 | 23回 25回 25回 21回 | (振動診断: 1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| A1次系補給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 CBM 7SM 26M | B※ — — — | — — — 25回 | — — — 25回 | 1次系ポンプ機能検査 1次系ポンプ機能検査 24回 25回 | (振動診断: 5M(対象:ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| B1次系補給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 CBM 7SM 26M | B※ — — — | — — — 23回 | — — — 23回 | 1次系ポンプ機能検査 1次系ポンプ機能検査 24回 25回 | (振動診断: 5M(対象:ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| A1はう酸タンク | | 1. 開放点検 | 高 19SM | — | — <td>23回</td> <td></td> | 23回 | |
| B1はう酸タンク | | 1. 開放点検 | 高 19SM | — | — <td>24回</td> <td></td> | 24回 | |

| 機器又は部品名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 前回実施時(定期)定査回数) | 今回の実施計画 | 検査名 | 備考 ()内は適用する 設備診断技術) | |
|----------------------------------|--|--|----------------------------|---|----------------------------|--|---|--------------------------|
| | | | | | | | 保全方式 または頻度 | 実施回数 |
| 計測制御系統施設 【「ほう」液注入機能を有する設備】 | A「ほう」液タンクアトモス弁 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 21回 | 1次系異空隙機弁検査 | |
| | B「ほう」液タンクバキュームリリーフ弁 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 21回 | 1次系異空隙機弁検査 | |
| | B「ほう」液タンクアトモス弁 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 19回 | 1次系異空隙機弁検査 | |
| | B「ほう」液タンクバキュームリリーフ弁 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | 19回 | 1次系異空隙機弁検査 | |
| 1次系純水タンク | 1. 開放点検 | 低 | 195M | — | 14回 | | | |
| 1次系純水タンクアトモス弁 | 1. 分解点検 | 低 | 130M | — | 21回 | 1次系異空隙機弁検査 | | |
| 1次系純水タンクバキュームリリーフ弁 | 1. 分解点検 | 低 | 130M | — | 21回 | 1次系異空隙機弁検査 | | |
| 1次系フイルタ | 1. 開放点検 | 高 | 130M | — | 20回 | | | |
| 計測制御系統施設【「ほう」液注入機能を有する設備】その他の弁 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | B | — | 23回 | 1次系安全弁検査 | | |
| 計測制御系統施設【「ほう」液注入機能を有する設備】その他の弁動部 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高 | B | — | 19回 | 1次系弁検査 | | |
| 計測制御系統施設【「ほう」液注入機能を有する設備】その他の機器 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 1. 分解点検他 1. 分解点検(管側) 1. 分解点検(側面) 2. 非破壊試験 | 高 91M~221M 104M~234M 130M 195M 130M | — ○ ○ — — — | 156M 91M~221M 104M~234M 130M 195M 130M | — — — — — — | 19回 25回 25回 19回 22回 18回 | 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系熱交換器検査 | 一部BMあり 一部先行実施 先行実施 |
| 計測制御系統施設 【「ほう」素熱再生抽出水冷却器 | 1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(側面) 2. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 18回 | | | |
| 【「ほう」素熱再生抽出熱盤器 | 1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(側面) 2. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 18回 | 1次系熱交換器検査 | | 先行実施 |
| 【「ほう」素熱再生前體熱交換器 | 1. 開放点検(管側) 1. 開放点検(側面) 2. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 18回 | | | |
| 計測制御系統施設【「ほう」素再生設備】その他の弁 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | B | — | 21回 | 1次系安全弁検査 | | 一部先行実施 |
| 計測制御系統施設【「ほう」素再生設備】その他機器 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 | 高 104M~130M | — ○ | 130M 104M~130M | — ○ | 24回 25回 | 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 | 一部先行実施 |
| | 1. 分解点検他 | 低 | 156M | ○ | 23回 | | | 一部BMあり 一部先行実施 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施計画 | 前回実施時(定検回数) | 検査名 | 備考 (○内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------|----------------------------|--|----------------------|----------------|-------------|--------------|---------------------------|
| 計制御系施設 【制御用空気設備】 | 格納容器外制御用空気圧縮機 電動機 2台 | 1.機能・性能試験(圧縮機、電動機合 2台) | 高 | IF ○ | 25回 | 制御用空気圧縮系機能検査 | |
| A格納容器外制御用空気圧縮機・電動機 | | 1.分解点検(圧縮機) 2.分解点検(電動機) | 高 CBM | 26M — | ○ 13回 | | (振動診断: 3M(対象: 電動機)) |
| B格納容器外制御用空気圧縮機・電動機 | | 2.簡易点検(Vベルト調整) 2.簡易点検(潤滑油入替) | 26M ○ | — | 25回 | | |
| 格納容器内制御用空気圧縮機 2台 | | 1.分解点検(圧縮機) 2.簡易点検(Vベルト調整) 2.簡易点検(潤滑油入替) | 高 CBM 26M ○ | 26M — — | ○ 24回 | 25回 | (振動診断: 3M(対象: 電動機)) |
| 格納容器内制御用空気圧縮機・電動機 2台 | | 1.機能・性能試験(圧縮機、電動機合 2台) | 高 | IF ○ | 25回 | 制御用空気圧縮系機能検査 | |
| A格納容器内制御用空気圧縮機・電動機 | | 1.分解点検(圧縮機) 1.分解点検(電動機) | 高 7SM | 26M — | — | 25回 | (振動診断: 3M(対象: 電動機)) |
| B格納容器内制御用空気圧縮機・電動機 | | 2.簡易点検(Vベルト調整他) 2.簡易点検(潤滑油入替他) | 26M ○ | 13M~26M ○ | ○ | 24回 | |
| 計制御系部施設【制御用空気設備】その他の弁 1式 | | 1.分解点検(圧縮機) 2.簡易点検(Vベルト調整他) | 高 26M ○ | — | 25回 | | (振動診断: 3M(対象: 電動機)) |
| 計制御系部施設【制御用空気設備】その他の弁 1式 | | 1.機能・性能試験 | 高 B | 130M~195M — | — | 23回 | 1次系安全弁検査 |
| 計制御系部施設【制御用空気設備】その他の弁 1式 | | 2.分解点検 | 130M~195M — | — | 25回 | 1次系遮止弁検査 | |
| 計制御系部施設【制御用空気設備】その他の弁 1式 | | 1.分解点検 | 高 156M~182M | — | — | 24回 | |
| 計制御系部施設【制御用空気設備】その他機器 1式 | | 1.分解点検他 | 高 13M~260M ○ | — | 25回 | | |
| | | 1.分解点検他 | 低 13M~260M ○ | — | 25回 | 一部 BM/b9 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施時期(定期) | 前回実施時期(定期) | 検査名 | 備考 (○は適用する 設備診断技術) |
|--|--|----------------------------------|-----------|-------------|------------|------------------------|---|
| 計制御系施設 【その他の設備】 | 1.原子炉保護系ロジック回路 2.安全防護系ロジック回路 | 3回路 26回路 | 1.機能・性能試験 | 高 | IF ○ | 25回 | 安全保護系機械検査 |
| 1. 原子炉保護用に定まる原子炉トリップ等の安全施設の始動、原子炉格納容器隔壁等を行ったものすべての伝送器、設定器及び保護器 (1) 1次冷却材等計測装置 伝送器 設定器 保護继电器 (2)核計測装置 設定器 2. 重要な指示計器 (1) 1次冷却材等計測装置 (2)核計測装置 | 75個 144個 42個 20個 31個 8個 | 1.特性試験 | 高・低 | 13M ○ | ○ | 25回 | 安全保護系設備検査 |
| 事故時試験設備 格納容器ガス・試料採取系設備 計制御系施設 破裂板 | 1台 | 1.機能・性能試験 | 高 | IF ○ | 25回 | プラント状態監視設備機械検査 | |
| 1.制御棒制御系 2.加圧器水位制御系 3.加圧器压力制御系 4.蒸気発生器水位制御系 | 7台 | 1.分解点検 | 高 | 13M - | - | 21回 | 1次系統破裂板検査 |
| 1次系及び2次系計制御装置 炉外計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置 | 1式 2台 2台 8台 | 1.特性試験 2.機能・性能試験 | 高 | 13M ○ | 25回 | 計制御系機械検査 | 一部定期事業者検査記録後 |
| 炉内核計測装置 | 1式 | 1.特性試験 | 高・低 | 13M ○ | 25回 | 計制御系監視機械検査 | 一部定期事業者検査記録後 |
| 炉外計測装置 中間領域計測装置 出力領域計測装置 | 2台 2台 8台 | 1.特性試験 2.分解点検 3.簡易点検(特性試験) | 高 | 13M ○ | 25回 | 移計測設備検査 | 一部定期事業者検査記録後 |
| 炉内計測装置 内計装用シンプルチューブ | 50本 | 1.非破壊試験 | 高 | 52M - | - | 24回 | 炉内計装用シンプルチューブ体積検査 |
| 制御棒位置表示装置 | 1式 | 1.特性試験 | 高 | 13M ○ | 25回 | 制御棒位置表示装置機械検査 | |
| 1. ハニミッシュロジック回路 2. ハニミッシュロジック回路 安全防護系 | 5回路 3回路 | 1.機能・性能試験 | 高 | IF ○ | ○ | 25回 | 安全保護系機械検査 |
| 総合インターロック 1. タービントリップによる原子炉、発電機ト リップ回路 2. 発電機トリップによる原子炉、タービント リップ回路 3. 原子炉トリップによるタービン、発電機ト リップ回路 原子炉の停止制御回路 | 1式 1式 | 1.機能・性能試験 | 高 | IF ○ | ○ | 25回 | 総合インターロック検査 |
| 可搬型格納容器ガス・試料圧縮装置 計制御系施設[その他設備]その他の弁 | 2台 1式 | 1.機能・性能試験 2.分解点検 | 高 | B ○ | ○ | 24回 750~2600 25回 | 原子炉の停止制御回路健全性確認検査 可搬型重大事故等対応設備機械検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査 1次系逆止弁検査 |

| 機器又は系統名 | 実施数（機器名） | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施時 期回実施時 定期検査回 数） | 前回実施時 期回定期検 査回数） | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------------|-------------------------|--|----------------|--------------------------------|------------------------|-----|---|
| 計測制御系装置 【その他設備】 | 計測制御系装置「その他」の弁駆動部 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験) | 高・低 | B | — | 25回 | 1次系弁検査 |
| 計測制御系装置「その他」の他機器 | 1式 | 1. 分解点検他 | 高 | 65M~156M | — | 25回 | |
| 放射性廃棄物の処理施設 「气体、液体又は固体廃棄物処理設備」 | ガス圧縮機 ガス圧縮機・電動機 | 1. 分解点検他 2. 分解点検 | 低 | 65M~208M | ○ | 25回 | |
| 水素再結合装置 | 2台 | 1. 機能・性能試験(圧縮機、電動機合 計) | 高 | 13M~260M | ○ | 25回 | プラント運転中又は定期事業者検査序上:中 気体廃棄物処理系機能検査 |
| A水素再結合装置 | 1台 | 1. 分解点検 | 低 | IF | ○ | 25回 | (振動診断: 4M (対象: 圧縮機)) |
| B水素再結合装置 | 1台 | 1. 分解点検 | 低 | IF | ○ | 24回 | (振動診断: 4M (対象: 圧縮機)) |
| 1次系壁板 | 12台 | 1. 分解点検他 | 低 | 13M | ○ | 25回 | |
| 〔う〕機回収装置 | 基 | 1. 機能・性能試験 | 高 | 13M | ○ | 24回 | 1次系壁板検査 |
| 〔う〕機回収装置 (弁、機器) | 1式 | 1. 分解点検他 2. 簡易点検(アスクットハシキン取替) | 低 | IF | ○ | 25回 | 液体廃棄物処理系機能検査 |
| 除油蒸発装置 | 3基 | 1. 機能・性能試験 2. 簡易点検(アスクットハシキン取替) | 低 | 65M~130M | ○ | 25回 | 先行実施 |
| 除油蒸発装置 (弁、機器) | 1式 | 1. 分解点検他 2. 簡易点検(アスクットハシキン取替) | 低 | 13M | — | 24回 | 液体廃棄物処理系機能検査 |
| A補助屋外冷却材ドレンポンプ・電動機 | 1台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) | 低 | 65M~156M | ○ | 25回 | 先行実施 |
| B補助屋外冷却材ドレンポンプ・電動機 | 1台 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 | CBM | — | 7回 | (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | | | 91M | ○ | 21回 | |
| | | | | 39M | — | 24回 | |
| | | | | 39M | — | 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 |
| | | | | CBM | — | 8回 | 先行実施 (振動診断: 4M (対象: ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | | | 7SM | — | 25回 | |
| | | | | 39M | — | 25回 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施回数 前回実施回数(定検回数) | 検査名 | 備考 (○内は適用する 設備診断技術) |
|------------------------------------|----------------------|--|-------------------------------|---|--------------|---|
| A付生産廃棄物の処理施設 【液体、液体又は固体廃棄物処理設備】 | A1#う酸回収装置給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 7SM 39M | ○ 21回 6回 21回 — 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (電動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| B#う酸回収装置給水ポンプ・電動機 | B1#う酸回収装置給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 7SM 39M | — 23回 — 7回 — 23回 ○ 24回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (電動診断：4M(対象：ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| △補助建屋サンプポンプ・電動機 | △補助建屋サンプポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) | 低 B※ 260M 169M | ○ 23回 — 16回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| B補助建屋サンプポンプ・電動機 | B補助建屋サンプポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) | 低 B※ 260M 169M | — 24回 — 21回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| △補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機 | △補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) | 低 B※ 260M 143M | — 21回 — 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| B補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機 | B補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) | 低 B※ 260M 156M | — 21回 — 24回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| △各容器冷却材ドレンポンプ・電動機 | △各容器冷却材ドレンポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ 130M 7SM 13M | ○ 24回 — 24回 ○ 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.1の反映 |
| B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機 | B格納容器冷却材ドレンポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ 130M 7SM 13M | — 25回 — 25回 ○ 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No.2の反映 |

| 機器又は系統名 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数(定検回数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------------|---------|--------------|------------------------------|-----------------------------|
| 放射性廃棄物の蔵置施設 〔液体、固体又は固体廃棄物処理設備〕 | A格納容器サンプルポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | | 2. 分解点検 (電動機) | 52M — | — | 25回 | | |
| | | | 52M — | — | 25回 | | |
| B格納容器サンプルポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | ○ | 23回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | 52M — | ○ | 23回 | | | |
| | | 52M — | ○ | 23回 | | | |
| C薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | 8回 | — | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 7SM — | — | 25回 | | | |
| D薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 23回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 5回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 7SM — | — | 23回 | | | |
| E薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 5回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 26M — | — | 25回 | | | |
| F薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 23回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 5回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 7SM — | — | 23回 | | | |
| G薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 24回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 6回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 26M — | — | 24回 | | | |
| H薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 6回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 26M — | — | 24回 | | | |
| I薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 25回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 6回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 150M — | — | 25回 | | | |
| J薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 24回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | 39M — | — | 24回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 39M — | — | 24回 | | | |
| K薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 23回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | CBM — | — | 7回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | 150M — | — | 23回 | | | |
| L薬液給水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ポンプ) | 低 B※ | — | 24回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | 39M — | — | 24回 | | | ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | | | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数(定検回数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------------|------------------------|--|-------------------------------|---|---|-----------------------|--|
| 放射性廃棄物の処理施設 【液体、固体又は固体廃棄物処理設備】 | 34A 洗浄排水モニタリング・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 156M 39M | — 8回 — 23回 — 23回 — 24回 | 23回 8回 — — — — — — | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 34B 洗浄排水モニタリング・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 182M | ○ — ○ ○ | 15回 4回 15回 24回 | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 34A 廉波蒸留水セニタタンクポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 208M | — — — — | 7回 15回 — — | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 34B 廉波蒸留水セニタタンクポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 182M | — — — — | 16回 8回 16回 — | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 34A 廉波蒸留水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 182M | — — — — | 18回 7回 — — | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 34B 廉波蒸留水ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 208M | ○ ○ — — | 18回 3回 — — | 液体廃棄物処理系設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4M (対象:ポンプ)) ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| | 34A 廉波貯槽タンク循環ポンプ・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(潤滑油入替) | 低 B※ CBM 91M | ○ ○ — — | 24回 24回 — — | 液体廃棄物処理系設備検査 | ※ボンブまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| 液体廃棄物貯槽設備及び処理設備の漏えい防止に 係る警報機能 | 1台 | 1. 特性試験 2. 機能・性能試験 | 低 13M 1F | — — — — | 24回 24回 21回 25回 | 液体廃棄物貯槽設備・処理設備の警報機能検査 | |
| 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置 | 1台 | 1. 特性検査 | 低 13M | ○ ○ | 25回 25回 | 液体廃棄物貯槽設備・処理設備の警報機能検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数 | 検査名 | 備考 (〇は適用する 設備診断技術) |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-----------|--|---------|----------------------------------|------------------|--|
| 放射性廃棄物の処理施設 【液体、固体又は固体廃棄物処理設備】 | アスファルト固化設備 アスファルト固化設備(手、機器) | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グラントバッキン取扱) | 低 | IF B 195M~260M 13M~260M | ○ — — ○ | 25回 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 25回 1次系逆止弁検査 |
| 使用溶剤貯罐・ポンプ・電動機 | 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動機) 3. 簡易点検(润滑油入替) | 低 | B※ CBM 7SM 39M | — — — — | 24回 固体廃棄物処理系設備検査 先行実施 (駆動診断：6M(対象：ポンプ)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 |
| 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | B 13M~260M | ○ | 25回 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系空疎溝井検査 |
| 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 1式 | 1. 分解点検 1. 分解点検(他) | 高 | 13M~130M | ○ | 25回 一部先行実施 |
| 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 放射性廃棄物の蒸発施設「気体、液体又は固体廃棄物処理設備」その他の弁 | 1式 | 1. 分解点検 1. 分解点検(他) | 低 | 12M~260M | ○ | 25回 一部先行実施 |
| 放射性廃棄物の蒸発施設「原子炉格納容器本体外の液体物質設備」その他の弁 | 放射性廃棄物の蒸発施設「原子炉格納容器本体外の液体物質設備」その他の弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 1. 性能試験 | 低 | IF 13M | ○ ○ | 25回 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置及び警報装置機能検査 (最終の流入サンプル) |
| 放射性廃棄物の蒸発施設「原子炉格納容器本体外の液体物質設備」その他の弁 | 放射性廃棄物内蔵レンジエアモニタ | 4個 | 1. 性能試験 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 高 | IF 13M 13M | ○ ○ ○ | 25回 ニアモニタ機能検査 21回施設定期検査より追加 |
| 放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】 | 格納容器排気筒ガスマニホールド(3R-21) | 1 | 2. 特性試験 | 高 | IF 13M | ○ | 25回 放射線監視装置機能検査 |
| 補助建屋排気筒ガスマニホールド(3R-26) | 放射性廃棄物处理設備排水モニタ(3R-35) | 1 | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 高 | IF 13M | ○ | 25回 放射線監視装置機能検査 |
| 放射性廃棄物处理設備排水モニタ(3R-40) | 格納容器しましんモニタ(3R-40) | 1 | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | IF 13M | ○ | 25回 放射線監視装置機能検査 |
| 格納容器ガスマニホールド(3R-41) | 復水器空気抽出器ガスマニホールド(3R-43) | 1 | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 高 | IF 13M 13M | ○ ○ | 25回 放射線監視装置機能検査 |
| 安全細胞室排気ガスマニホールド(3R-46) | 安全細胞室排気ガスマニホールド(3R-46) | 1 | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | IF 13M | ○ | 25回 放射線監視装置機能検査 |
| | | | | | | | 一部定期手業者検査起動後 |

| 機器又は系統名 | 実施数（機器名） | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回実施回数 | 前回実施回数（定検回数） | 検査名 | 備考 （〇内は適用する 設備診断技術） |
|---------------------------------|-----------------------|-----------|--------|--------|--------------|-------------|---------------------------|
| 放射線管理用計測装置 【放射線管理用計測装置】 | 一般補機室排気ガスモニタ (3R-48A) | 1. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 放射線監視装置機能検査 | |
| 一般補機室排気ガスモニタ (3R-48B) | 1. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 使用済燃料ピット排気ガスモニタ (3R-49) | 1. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 建屋内漏洩検知ガスモニタB (3R-50 A) | 1. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 蒸気発生器プローブアンバウトモニタ (3R-55) | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 高 | 1F | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | 一部定期事業者検査記動後 |
| 原子炉補機冷却水モニタ (3R-56) | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 補助蒸気復水モニタ (3R-57) | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| タービンサンプル水モニタ (3R-58) | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 1次系建屋基盤湧水モニタ (3R-59) | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| A高濃度型主蒸気管モニタ (3R-65) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | 一部定期事業者検査記動後 |
| B高濃度型主蒸気管モニタ (3R-66) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | 一部定期事業者検査記動後 |
| C高濃度型主蒸気管モニタ (3R-67) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | 一部定期事業者検査記動後 |
| 1次冷却材連続モニタ (3R-70) | 1. 特性試験 2. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| ほう酸蒸留水モニタ (3R-71) | 1. 機能・性能試験 2. 特性試験 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 格納容器排気管高レンジガスモニタ(低レンジ) (3R-80A) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 格納容器排気管高レンジガスモニタ(高レンジ) (3R-80B) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 補助建屋排気管高レンジガスモニタ(低レンジ) (3R-81A) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 補助建屋排気管高レンジガスモニタ(高レンジ) (3R-81B) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| A主蒸気管モニタ (3R-87) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| B主蒸気管モニタ (3R-88) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| C主蒸気管モニタ (3R-89) | 1. 特性試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |
| 放水口水モニタ (34R-99) | 1. 特性試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | |

| 機器又は部品名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回実施回数 | 前回実施回数(定検回数) | 検査名 | 備考 ()内は適用する 設備診断技術) | |
|-------------------------------------|-----------------------|-----------------------|--------|--------|--------------|----------------|----------------------------|---------|
| | | | | | | | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施計画 |
| 放射線管理施設 【放射線管理用計測装置】 | 中央制御室エリニアモニタ (34R-1) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 放射線監視装置機能検査 | 25回 | |
| 格納容器内エアロング区域エリニアモニタ (3R-2) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 放射化学室エリニアモニタ (34R-3) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| △充てんポンプ室エリニアモニタ (3R-4A) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| B充てんポンプ室エリニアモニタ (3R-4B) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| C充てんポンプ室エリニアモニタ (3R-4C) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 専用溶燃料ピット区域エリニアモニタ (3R-5) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| サンプリング室エリニアモニタ (34R-6) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 炉内計装区域エリニアモニタ (3R-7) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| アスファルト化装置ドーム丸でん監視区域エリニアモニタ (34R-9A) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 丸でんドーム貯藏室クレーン操作区域エリニアモニタ (34R-9B) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 格納容器内オベレーティングフロアエリニアモニタ (3R-10) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 1次系補機操作室エリニアモニタ (34R-11) | 1. 性能試験 | 低 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 可燃式燃料用溶燃料ピット区域周辺エリニアモニタ 2台 | 1. 性能試験 | 高 | 13M | ○ | 25回 | 放射線監視装置機能検査 | | |
| 放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他 1式 | 1. 分解点検 | 高 | 13M | — | 21回 | 1次点検 | | |
| 放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他 1式 | 1. 分解点検他 | 高 | 13M | ○ | 25回 | | | |
| 放射線管理施設「放射線管理用計測装置」その他 1式 | 1. 分解点検他 | 低 | 1Y~2Y | ○ | 26回 | | | |
| 中央制御室監視 | 1. 編成点検 | 高 | 6Y | — | 25回 | 中央制御室の居住性確認検査 | | |
| 緊急時対策室遮蔽 | 1. 編成点検 | 高 | 1F | ○ | 25回 | 緊急時対策室の居住性確認検査 | | |
| 放射線管理施設「生体遮蔽装置」その他機器 | 1. 外観点検 | 高 | 3M~1F | ○ | 25回 | | | |
| 放射線管理施設 【換気設備】 | A格納容器排気フィルタユニット | 1. 機能・性能試験 2. 開放点検 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | B格納容器排気フィルタユニット | 1. 機能・性能試験 2. 開放点検 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | |
| A格納容器空気浄化フィルタユニット | 1. 機能・性能試験 2. 開放点検 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | | |
| B格納容器空気浄化フィルタユニット | 1. 機能・性能試験 2. 開放点検 | 低 | 1F | ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施計画 又は頻度 | 前回実施時 期(定期検査回 次) | 検査名 | 備考 (〇内は適用する 設備診断技術) |
|-------------------|---|---|--------|-----------------|------------------------|---------------------|---------------------------|
| 放射線管理施設 [換気設備] | 中央制御室非常用循環系(△系列) | 1.機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含 む) | 高 | IF ○ | 25回 | 中央制御室非常用循環系機能検査 | |
| | 中央制御室非常用循環系(Β系列) | 1.機能・性能試験 (ファン、電動機、弁、弁駆動部等含 む) | 高 | IF ○ | 24回※ | 中央制御室非常用循環系機能検査 | 4号設備 ※4号での実績 |
| | 中央制御室非常用循環フィルタユニット(△系列) | 1.よう素フィルタ性能検査(よう素除 去効率検査) 1.よう素フィルタ性能検査(漏えい率 検査) | 高 | IF ○ | 25回 | 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査 | |
| | | 2.機能・性能試験 | | IF ○ | 25回 | 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査 | |
| | | 3.開放点検(フィルタ取替) | | V※ ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | |
| | | 3.開放点検 | | 4F ○ | 22回 | | ※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 |
| | 中央制御室非常用循環フィルタユニット(Β系列) | 1.よう素フィルタ性能検査(よう素除 去効率検査) | 高 | IF ○ | 24回※ | 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査 | 4号設備 ※4号での実績 |
| | | 2.機能・性能試験 | | IF ○ | 24回※ | 中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査 | |
| | | 3.開放点検(フィルタ取替) | | V※1 ○ | 24回※2 | | |
| | | 3.開放点検 | | 4F ○ | 24回※ | 1次系換気空調設備検査 | 4号設備 ※2号での実績 |
| | 34A放射線管理室排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 4号設備 ※2号での実績 |
| | | 2.開放点検 | | 4F ○ | 22回 | | |
| | 34B放射線管理室排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | | 2.開放点検 | | 4F ○ | 22回 | | |
| | 緊急時対策所可搬型空気淨化フィルタユニット (3台機一部使用用空気淨化フィルタユニット) | 1.機能・性能試験(よう素フィルタ性 能検査) | 高 | IV ○ | 25回 | | 先行実施 |
| | A補助廻り排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 可搬型換気空調設備検査 | プラント運転中又は定期事業者検査時1回 |
| | | 2.開放点検 | | 4F ○ | 22回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | B補助廻り排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | | 2.開放点検 | | 4F ○ | 22回 | | |
| | 燃料取扱室排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 2.開放点検 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | 34ペイロード排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 2.開放点検 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | 34ホットワーク室排気フィルタユニット | 1.機能・性能試験 2.開放点検 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |

| 機器又は系統名 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 は頻度 | 今回の実施時 期(定期回 次) | 前回実施時 期(定期回 次) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|------------------|-----------------|-----------|---------------|-----------------------|---------------------------------------|-----|-----------------------------|
| | | | | | | | |
| 放射線管理設 〔換気設備〕 | 34A 中央制御室空調ユニット | 1. 開放点検 | 高 | 52M ○ | 22回 | | |
| 34B 中央制御室空調ユニット | 1. 開放点検 | 高 | 52M ○ | 22回 | | | |
| 34C 中央制御室空調ユニット | 1. 開放点検 | 高 | 52M — | 21回※ | | | 4号設備 ※4号での実績 |
| 34D 中央制御室空調ユニット | 1. 開放点検 | 高 | 52M — | 21回※ | | | 4号設備 ※4号での実績 |
| A格納容器絶気ユニット | 1. 開放点検 | 低 | 52M — | 25回 | | | 先行実施 |
| B格納容器絶気ユニット | 1. 開放点検 | 低 | 52M — | 25回 | | | 先行実施 |
| △補助遮断絶気ユニット | 1. 開放点検 | 低 | 52M ○ | 22回 | | | 先行実施 |
| B補助遮断絶気ユニット | 1. 開放点検 | 低 | 52M — | 25回 | | | 先行実施 |
| 3・4 放射線管理室絶気ユニット | 1. 開放点検 | 低 | 52M ○ | 22回 | | | 先行実施 |
| A格納容器絶気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 (振動診断 : 2M (対象: 電動機)) | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 26M — | 21回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | CBM ○ | 25回 | | | |
| B格納容器絶気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 (振動診断 : 2M (対象: 電動機)) | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 26M — | 21回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | CBM ○ | 25回 | | | |
| A格納容器排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 (振動診断 : 2M (対象: 電動機)) | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 26M — | 21回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | CBM — | 25回 | | | |
| B格納容器排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 (振動診断 : 2M (対象: 電動機)) | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 26M — | 21回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | CBM — | 3回 | | | |
| A格納容器再循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 (振動診断 : 2M (対象: 電動機)) | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 26M — | 22回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 10M — | 24回 | | | |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | 26M ○ | 24回 | | | |
| B格納容器再循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 (振動診断 : 2M (対象: 電動機)) | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 26M — | 19回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 10M — | 24回 | | | |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | 26M ○ | 24回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数 | 機器名 | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 保全の重要度 | 今回の実 施計画 | 前回実施時 期(定期回 次) | 検査名 | (○ 内は適用する 備考 設備診断技術) |
|-----------------------|------------------|------------|-----------|------------------------|-------------|----------------------|-----|-----------------------------|
| 放射線施設 【換気設備】 | C 構造容器再循環ファン・電動機 | | | | | | | |
| 丁) 構造容器再循環ファン・電動機 | 2 分解点検 (ファン) | 1. 機能・性能試験 | IF | ○ | 25回 | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 260W | — | 20回 | | | |
| | 3. 簡易点検 (潤滑油入替) | | 104W | — | 23回 | | | |
| △) 構造容器再循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | 26W | — | 25回 | | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | IF | ○ | 25回 | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 260W | — | 21回 | | | |
| | 3. 簡易点検 (電動機) | | 104W | — | 23回 | | | |
| ▲) 構造容器空気淨化ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | 26W | — | 25回 | | | |
| | 2. 分解点検 (潤滑油入替) | | IF | ○ | 25回 | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 260W | — | 21回 | | | |
| | 1. 機能・性能試験 | | 91W | ○ | 21回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | IF | ○ | 25回 | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| △) 構造容器空気淨化ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | 260W | — | 18回 | | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 91W | — | 22回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | IF | ○ | 25回 | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| △△) 中央制御室空調ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | 260W | — | 20回 | | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 78W | — | 22回 | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | IF | ○ | 25回 | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| △△△) 中央制御室空調ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | 高 | — | 24回※ | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 260W | — | 16回※ | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 78W | — | 21回※ | | | |
| △△△) 中央制御室空調ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | IF | — | 24回※ | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 260W | — | 17回※ | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 78W | — | 24回 | | | |
| △△△△) 中央制御室空調ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | 高 | — | 24回※ | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 260W | — | 16回※ | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 78W | — | 21回※ | | | |
| △△△△△) 中央制御室空調ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | | IF | — | 24回※ | 1 次系換気空調設備検査 | | |
| | 2. 分解点検 (ファン) | | 260W | — | 17回※ | | | |
| | 2. 分解点検 (電動機) | | 78W | — | 20回※ | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施時 期回実施時 定期定査回 次) | 検査名 | | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------|-----------------------------|---|---------------------------------------|--------------------------------|----------------------|-----|--------------------------------|
| | | | | | 前回実施時 定期定査回 次) | 25回 | |
| 放射線防護施設 [換気設備] | 34A 中央制御室循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) | 高 IF ○ 260M — 7SM — | 19回 — 22回 | 1次系換気空調設備検査 | | (振動診断 : 4M (対象: 電動機)) |
| 34B 中央制御室循環ファン・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 34C 中央制御室循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) | 高 IF ○ 260M — 7SM — | 25回 — 15回 — 24回 | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 4M (対象: 電動機)) |
| 34D 中央制御室循環ファン・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 34A 中央制御室非常用循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) | 高 IF ○ 260M — 7SM — | 24回※ — 20回※ — 20回※ | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 4M (対象: 電動機)) |
| 34B 中央制御室非常用循環ファン・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 34C 中央制御室非常用循環ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) | 高 IF ○ 260M — 117W — | 24回※ — 16回 — 21回 | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 4M (対象: 電動機)) |
| 34D 中央制御室非常用循環ファン・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) | 高 IF ○ 260M — 117W — | 24回※ — 16回※ — 19回※ | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 1M) 4号設備 ※4号での実績 |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 IF ○ 260M — 117W — ○ | 25回 — 17回 — 24回 | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 1M) 4号設備 ※4号での実績 |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン) | 高 IF ○ 260M — 117W — | 24回※ — 16回※ — 21回 | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 1M) 4号設備 ※4号での実績 |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 IF ○ 260M — 117W — ○ | 24回※ — 16回※ — 25回 | 1次系換気空調設備検査 | | | (振動診断 : 1M) 4号設備 ※4号での実績 |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 高 IF ○ 1Y ○ | 25回 | 先行実施 | | | |
| 緊急時対策所用換気扇・電動機 | 2. 分解点検 (電動機) | | | | | | |

| 機器又は系系統名 | 実施数（機器名） | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回実施回数 | 前回実施回数 | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|---------------------------|---------------------|--------------|--------|--------|--------|-------------|--------------------------------|
| | | | | | | | |
| 放射線管理室排気ファン・電動機 【換気設備】 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 7回 | | |
| | 34B 放射線管理室排気ファン・電動機 | 2. 分解点検（電動機） | | 10M — | 21回 | | |
| 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 16回 | | |
| | 34B 放射線管理室排気ファン・電動機 | 2. 分解点検（電動機） | | 10M — | 21回 | | |
| 34B 放射線管理室排気ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : ファン)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 20回 | | |
| | 34B 放射線管理室排気ファン・電動機 | 2. 分解点検（電動機） | | 7M — | 25回 | | |
| 34B 放射線管理室排気ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : ファン)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 17回 | | |
| | 34B 放射線管理室排気ファン・電動機 | 2. 分解点検（電動機） | | 7M — | 23回 | | |
| A補助送風機ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : 電動機)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 21回 | | |
| | 3. 簡易点検（モータ内部清掃） | | | CBM — | 14回 | | |
| B補助送風機ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : 電動機)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 21回 | | |
| | 3. 簡易点検（モータ内部清掃） | | | CBM — | 15回 | | |
| A補助送風機ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : 電動機)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 15回 | | |
| | 3. 簡易点検（モータ内部清掃） | | | CBM — | 21回 | | |
| B補助送風機ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : 電動機)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 16回 | | |
| | 3. 簡易点検（モータ内部清掃） | | | CBM — | 21回 | | |
| C補助送風機ファン・電動機 | 34A 放射線管理室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 | 低 | IF ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | 先行実施 (振動診断 : 4W (対象 : 電動機)) |
| | | 2. 分解点検（ファン） | | 260M — | 17回 | | |
| | 3. 簡易点検（モータ内部清掃） | | | CBM — | 24回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施計画 又は頻度 | 前回実施時 定施回数 | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) | |
|--------------------|----------------------------|----------------------------|--------|-----------------|---------------|-----|-----------------------------|----------|
| | | | | | | | ○ | 25回 |
| 放射線管理施設 【換気設備】 | A燃料取扱室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 21回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 7回 |
| B燃料取扱室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 25回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 8回 |
| △燃料取扱室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 26回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 21回 |
| B燃料取扱室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 26回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 21回 |
| 34ペイント排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 26回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 21回 |
| 34ホット工作室排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 26回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 18回 |
| 34床処理壁屋内排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 25回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 16回 |
| 34床処理壁屋内排気ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 25回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 21回 |
| 自動ダンパー | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | IF | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | | 2. 分解点検(電動機) | | CBM | — | ○ | — | 26回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 21回 |
| 放射線管理施設【換気設備】その他弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高 | B | — | ○ | ○ | ○ |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 20回 |
| 放射線管理施設【換気設備】その他機器 | 1台 | 1. 分解点検 | | CBM | — | ○ | — | ○ |
| | | 1. 分解点検 | | CBM | — | ○ | — | 13M~260M |
| | | 1. 分解点検 | | CBM | — | ○ | — | 25回 |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 13M~260M |
| | | | | CBM | — | ○ | — | 25回 |

| 機器又は系部名 放熱管管理設施 【その他設備】 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実 施時 期(定期実施回 数) | 検査名 | | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-------------------------------|------------|---|---|-----------------------------|------------------------|---|--|
| | | | | | 前回実施時 期(定期実施回 数) | 検査名 | |
| 原子炉格納容器 【原子炉格納容器】 | 可搬型気象録測装置 | 1式 | 1. 特性試験 | IV | ○ | 25回 | |
| エアロソグ | 原子炉格納容器 | 通常用 1個 | 1. 編えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (バッキン貯替他) | 高 2回/3F 52M | - ○ | 24回 25回 | 原子炉格納容器全体漏えい率検査 原子炉格納容器局部漏えい率検査 10年(今回は設計圧力にて実施予定) (第27回定期検査において設計圧力にて実施予定) |
| 非常用 1個 | | 1. 編えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (バッキン貯替他) | 高 2回/3F 52M | - ○ | 25回 25回 | 原子炉格納容器局部漏えい率検査 23回 | |
| 機器搬入口 | 1箇 | 1. 編えい率試験 2. 非破壊試験 3. 開放点検 | 高 25%/10Y 13M | - ○ | 25回 22回 ○ | 原子炉格納容器局部漏えい率検査 原子炉格納容器供用期間中検査 [別表-6] | [別表-6] |
| 配管貫通部 | 1式 | 1. 編えい率試験 2. 開放点検 | 高 2回/3F | - ○ | 25回 21回 | 原子炉格納容器局部漏えい率検査 開放時※ | *但し、最長回/10回 |
| 電動貫通部 | 1式 | 1. 編えい率試験 | 高 2回/3P | ○ | 25回 | 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | |
| 原子炉格納容器隔壁弁 | 1式 | 1. 編えい率試験 | 高 2回/3P | ○ | 25回 | 原子炉格納容器局部漏えい率検査 | |
| 格納容器隔壁信号 (CT・V信号) により隔壁される弁 | 70箇 | 1. 機能・性能試験 (弁、弁駆動部等含む) | IP | ○ | 25回 | 原子炉格納容器隔壁弁機能検査 | |
| 原子炉格納容器隔壁弁 | 3V-CS-004A | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 22回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | |
| 3V-CS-004B | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 22回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-CS-004C | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 22回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BP-001A | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 22回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BP-001B | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 21回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BP-003A | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 22回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BP-003B | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 22回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BI-355 | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 21回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BI-019 | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 25回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-CS-007 | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 25回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BI-354 | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 21回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BI-018 | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 25回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BR-001A | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 25回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BR-001B | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 19回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BR-002A | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 23回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-BR-002B | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 25回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |
| 3V-IA-508A | 1. 分解点検 | 高 IP | ○ | 24回 | 原子炉格納容器隔壁弁分解検査 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実 施時 期(定期回 次) | 前回実施時 期(定期回 次) | 検査名 | (○内は適用する 備考 設備診断技術) |
|-----------------------|---------------------------------|---|----------------------|------------------|---------------------------|----------------------|--|---|
| | | 1. 分解点検 | 2. 分解点検 | | | | | |
| 原子炉格納施設「原子炉格納容器」 | 原子炉格納容器並 | 3V-CS-308 3V-CS-310 | 1. 分解点検 1. 分解点検 | 高 高 | 130M 130M | — — | 21回 22回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 原子炉格納容器隔離弁分解検査 |
| 3V-CC-489 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | — | 25回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 3V-CC-482 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | — | 25回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 3V-CC-523 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | — | 22回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 3V-CC-521 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | — | 21回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 3V-CC-546 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | — | 20回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 3V-CC-544 | 1. 分解点検 | 高 | 130M | — | — | 21回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 3V-IA-508B | 1. 分解点検 2. 簡易点検(グランドバッキン取替) | 高 高 | 130M 65M | ○ ○ | — — | 19回 25回 | 原子炉格納容器隔離弁分解検査 原子炉格納容器隔離弁分解検査 | |
| 1式 | 1. 分解点検 2. 簡易点検(特性試験地) | 高 高 | 52M~156M 13M~130M | ○ ○ | — — | 25回 | | |
| 原子炉格納容器隔離弁取扱部 | 4個 | 1. 機能・性能試験 2. 簡易点検(漏えい試験) | 高 IF | — ○ | — — | 25回 | 原子炉格納容器真空遮がし弁機能検査 | |
| 原子炉格納容器真空遮がし弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高 B | — — | — — | 25回 | 1次系弁検査 | |
| 原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他の中 | 1式 | 3. 簡易点検(グランドバッキン取替) | 52M~130M | ○ | — — | 25回 | 1次系弁検査 2次系弁検査 | |
| 原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他の中 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 52M~130M 52M~65M | ○ ○ | — — | 25回 | 1次系弁検査 | |
| 原子炉格納施設「原子炉格納容器」その他の中 | 1式 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 | 高 低 | 13M~130M 130M | ○ ○ | 25回 25回 | 25回 | 一部 BM 9 |
| 原子炉格納容器スプレイボンブ・電動機 | 原子炉格納容器スプレイ系 | 1. 機能・性能試験ボンブ・電動機、 2. 機能・性能試験ボンブ・電動機、 3. 分解点検 | 高 IF IF | — ○ ○ | — — — | 25回 25回 25回 | 原子炉格納容器安全系機能検査 原子炉格納容器安全系ボンブ分解検査 原子炉格納容器安全系ボンブ分解検査 | ・対象設備 A 原子炉格納容器スプレイボンブによる代替手段 注入系 搬動診断 : 1M その他の原子炉注水系ボンブ分解検査 |
| 原子炉格納容器スプレイボンブ・電動機 | 【圧力低減設備】その他の中 | 1. 分解点検(ボンブ) 2. 簡易点検(潤滑油注入等) | 130M 26M | — ○ | — — | 21回 25回 | 原子炉格納容器安全系ボンブ分解検査 原子炉格納容器安全系ボンブ分解検査 | 追加 |
| 日原子炉格納容器スプレイボンブ・電動機 | 1. 分解点検(ボンブ) 2. 簡易点検(潤滑油注入等) | 130M 26M | — ○ | — — | — — | 23回 19回 | 原子炉格納容器安全系ボンブ分解検査 原子炉格納容器安全系ボンブ分解検査 | (振動診断 : 1M) |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の方針 又は頻度 | | 今回の実施時期 (定期実施回数) | 前回実施時 期(定期実施回数) | 検査名 | (〇内は適用する 設備診断技術) |
|---------------------------|--|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--|--|--|
| | | | 重要度 | 回数 | | | | |
| 原子炉格納容器設備「圧力低減設備その他の安全設備」 | A格納容器スプレイ冷却器 | 1.開放点検(管側) 1.開放点検(脇側) | 高 | 130回 | — | 19回 | | |
| | 2.非破壊試験 | — | 195回 | — | — | 19回 | | |
| | 1.開放点検(管側) 1.開放点検(脇側) | 高 | 130回 | — | 20回 | — | | |
| | 2.非破壊試験 | — | 195回 | — | 20回 | — | | |
| 原子炉格納容器スプレイ冷却器系主要弁 | 3V-CP-024A 3V-CP-024B 3V-CP-054A 3V-CP-054B 3V-CP-001A 3V-CP-001B 3V-CP-003A 3V-CP-003B | 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 | 高 高 高 高 高 高 高 高 | 130回 130回 130回 130回 130回 130回 130回 130回 | — — — — — — — — | 22回 22回 22回 23回 22回 23回 21回 22回 | 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 原子炉格納容器安全系主要弁分解検査 | |
| 原子炉格納容器スプレイ系主要弁運動部 | 1式 | 1.分解点検 | 高 | 130回 | — | 23回 | | |
| 可燃性ガス濃度制御系主要弁 | 3V-FS-101A 3V-FS-101B 3V-FS-102A 3V-FS-102B 3V-FS-103A 3V-FS-103B 3-P-CV-2465 3-P-CV-2485 | 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 | 高 高 高 高 高 高 高 高 | 65回 65回 65回 65回 65回 65回 65回 65回 | — — ○ — — ○ ○ — | 25回 22回 21回 22回 25回 21回 21回 23回 | 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査 | 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 2回目施設定期検査より追加 |
| 止水素除去装置グレーバークハキュームリリーフ弁 | 2台 | 1.分解点検 | 高 | 130回 | — | 20回 | 1次系耳空破壊弁検査 | |
| アニヨラス空気淨化系 | | 1.機能・性能試験(ファン、電動機、 弁、弁駆動部等含む) | 高 | IF | ○ | 25回 | アニュラス循環排気系フィルター性能検査 | A系、B系交換に実施 |
| A、Bアニヨラス空気淨化フィルタユニット | | 1.よう素フィルタ性能検査(よう素除 去効率検査) 1.よう素フィルタ性能検査(漏えい量 検査) | 高 | IF | ○ | 25回 | アニュラス循環排気系フィルター性能検査 | ※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 |
| | 2.開放点検(フィルタ取替) | X※ | — | 24回 | | | | |
| A、Bアニヨラス空気淨化フィルタユニット | A系 | 1.機能・性能試験 2.開放点検 | 高 | IF | ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | |
| | B系 | 1.機能・性能試験 2.開放点検 | 高 | IF | ○ | 25回 | 1次系換気空調設備検査 | |
| | | — | 4F | ○ | 22回 | | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施時期(定期検査回数) | 前回実施時期(定期検査回数) | 検査名 | 備考 (○内は適用する 設備診断技術) |
|-----------------------------|------------------------|----------------------------|---------|----------------------|----------------|---------------------|---------------------------|
| 原子炉格納設備 【圧力低減設備その他の安全設備】 | Aアニコラス空気淨化ファン・電動機 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 高 | 1F ○ 260M — | 25回 20回 | 1次系換気空調設備検査 | (振動診断: 1M) |
| | Bアニコラス空気淨化ファン・電動機 | 2. 分解点検(電動機) | 高 | 7SM — | 22回 | | |
| | A安全制機室空気淨化ユニット | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検(ファン) | 高 | 1F ○ 260M — | 25回 21回 | 1次系換気空調設備検査 | (振動診断: 1M) |
| | B安全制機室空気淨化ユニット | 2. 分解点検(電動機) | 高 | 7SM — | 22回 | | |
| | 静的触媒式水素再結合装置 MH-045 | 1. 外観点検 2. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ 260M — | 25回 20回 | 1次系換気空調設備検査 | (振動診断: 1M) |
| | MH-046 | 2. 機能・性能試験 | 5F ○ | — | 25回 | 原子炉格納容器部水素再結合装置機能検査 | 21回施設設定検査より追加 |
| | MH-047 | 1. 外観点検 2. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ 260M — | 25回 21回 | 原子炉格納容器部水素再結合装置機能検査 | 21回施設設定検査より追加 |
| | MH-048 | 1. 外観点検 2. 機能・性能試験 | 5F ○ | — | 25回 | 原子炉格納容器部水素再結合装置機能検査 | 21回施設設定検査より追加 |
| | MH-049 | 1. 外観点検 2. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ 260M — | 25回 21回 | 原子炉格納容器部水素再結合装置機能検査 | 21回施設設定検査より追加 |
| 原子炉格納容器水素燃焼装置 | 13個 | 1. 機能・性能試験 | 高 | 1F ○ 13M — | 25回 | 原子炉格納容器部水素再結合装置機能検査 | 21回施設設定検査より追加 |
| 1次系計測制御装置 | 1式 | 1. 特性試験 | 高 | 13M ○ | 25回 | 計測制御系監視機能検査 | 21回施設設定検査より追加 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施時 期(定期検査回 次) | 前回実施時 期(定期検査回 次) | | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|--|---|--|----------------|-------------------------|------------------------|------------|--|---|
| | | | | | 保全方式 | 今回計画 期間 | | |
| 原子炉格納設備 【圧力低減設備その他の安全設 備】その他弁 | 原子炉格納施設「圧力低減設備その他の安全設 備」その他弁 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | B | — | 24回 | 1次系安全検査 1次系安全弁検査 | |
| 原子炉格納設備 【圧力低減設備その他の安全設 備】その他弁運動部 | 原子炉格納施設「圧力低減設備その他の安全設 備」その他弁運動部 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験) | 高 | B | — | 25回 | 1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 | |
| 原子炉格納設備 【圧力低減設備その他の安全設 備】その他機器 | 原子炉格納施設「圧力低減設備その他の安全設 備」その他機器 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 | 高 | 65M~182M | ○ | 24回 | 1次系安全弁検査 | |
| その他AM(代替再循環、格納容器内注水)機器 | その他AM(代替再循環、格納容器内注水)機器 | 1. 分解点検他 | 低 | 65M~130M | ○ | 25回 | 1次系逆止弁検査 | |
| 原子方設備 【その他設備】 | 原子方設備(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象合 計) | 1. 非破壊試験 2. 繁えい試験 | 高 | 7V | ○ | 25回 | クラス1機器供用期間中検査 | ISIプログラムによる。 [別表-1] |
| | 原子方設備(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象合 計) | 1. 非破壊試験 2. 繁えい試験 | 高 | 1F | ○ | 25回 | クラス1機器供用期間中検査 | ISIプログラムによる。 [別表-2] |
| | 原子方設備(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象合 計) | 1. 非破壊試験 2. 繁えい試験 | 高 | 10Y | ○ | 24回 | クラス2機器供用期間中検査 | ISIプログラムによる。 [別表-3] |
| | 原子方設備(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象合 計) | 1. 非破壊試験 2. 繁えい試験 | 高 | 10Y | — | 25回 | クラス3機器供用期間中検査 | ISIプログラムによる。 [別表-4] |
| | 原子方設備(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象合 計) | 1. 非破壊検査 | 高 | 3V | — | 25回 | 供用期間中特別検査のうちクラス1機器N1基合計 使用部位別検査 | ISIプログラムによる。 [別表-5] |
| | 原子方設備(供用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器供用期間中検査対象合 計) | 1. 非破壊試験 | 高 | 10Y | ○ | 25回 | 供用期間中特別検査のうちクラス2管(原子炉格納 容器内)特別検査 | ISIプログラムによる。 [別表-6] |
| | 蒸気発生器管台(重大事故等クラス2機器供用期 間中検査対象含む) | 1. 非破壊試験 | 高 | 10Y | — | 24回 | 供用期間中特別検査のうち蒸気発生器管台溶接部の 健全性確認検査 | ISIプログラムによる。 [別表-7] |
| | 重大事故等クラス2機器 | 1. 非破壊試験 2. 繁えい試験 | 高 | 10Y | ○ | 25回 | 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 | ISIプログラムによる。 [別表-8] |
| | 重大事故等クラス3機器 | 1. 繁えい試験 | 高 | 65M~130M | ○ | 25回 | 重大事故等クラス2機器供用期間中検査 | ISIプログラムによる。 [別表-9] |
| | クラス1配管特別検査 | 1. 非破壊検査 | 高 | 1F | ○ | 25回 | 供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査 | ISIプログラムによる。 [別表-10] 25回定期事業者検査より設定 |
| RCPBのベント・ドレン弁の閉止栓 レストライント | 1. 1次冷却材管アダプタイト 2. 主蒸気配管アダプタイト 3. 主給水配管アダプタイト | 1. 繁えい試験 1. 外観点検 | 高 | 1F | ○ | 25回 | 構造健全性検査 | |
| 原子力設備【その他設備】その他弁 | 原子力設備【その他設備】その他弁 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 | 高・低 | 10F | ○ | 16回 | レストライント検査 | |
| 原子力設備【その他設備】その他機器 | 原子力設備【その他設備】その他機器 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 | 高 | 130M | ○ | 23回 | 1次系安全弁検査 | |
| | | | 低 | 13M~260M | ○ | 25回 | 1次系逆止弁検査 | |
| | | | 低 | 12M~156M | ○ | 26回 | 保全の有効性評価結果No.6の反映 一部BMb9 一部先行実施 保全の有効性評価結果No.6の反映 | |

| 機器又は部品名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実施計画 又は頻度 | 前回実施回数(定検回数) | 検査名 | 備考 (○内は適用する 設備診断技術) |
|--|--|--|--------|-----------------|--------------|--------------|---------------------------|
| 原子力設備・タービン設備 【その他設備】 | 耐震クラスS、Rに属する設備の支持構造物(クラス1、2、3供用期間中機会系機器を除く)式 | 1.外観点検 | 高・低 | 100%/10Y | ○ | 前回実施時 25回 | 前回実施時 25回 |
| 蒸気タービン 翼、車輪 | 高压タービン その他AM(格納容器内注水)機器 | 1.分解点検他 2.組立状況点検 3.簡易点検(輸送箱内部清掃他) | 高 | 52M~182M | — | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| 第1 低圧タービン | | 1.開放点検 2.外観点検 3.簡易点検(輸送箱内部清掃他) | 高 | 39M | — | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| 第2 低圧タービン | | 1.開放点検 2.外観点検 3.簡易点検(輸送箱内部清掃他) | 13M | ○ | 25回 | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| 第3 低圧タービン | | 1.開放点検 2.外観点検 3.簡易点検(輸送箱内部清掃他) | 13M | ○ | 24回 | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| ロータ | | 1.組立状況点検 2.外観点検 3.簡易点検(輸送箱内部清掃他) | 13M | ○ | 25回 | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| 蒸気タービン本体及び附属装置 | | 1.保安装置点検 2.負荷点検 | 高 | 1F | ○ | 蒸気タービン性能検査 | 一部定期事業者検査起動後 |
| 蒸気タービン 【調速装置及び非常調速装置並 びに調速装置で制御される主要 部】 | # 1 主蒸気止り弁 # 2 主蒸気止り弁 # 3 主蒸気止り弁 # 4 主蒸気止り弁 # 5 蒸気加減弁 # 6 蒸気加減弁 # 7 蒸気加減弁 # 8 蒸気加減弁 | 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 1.開放点検 2.組立状況点検 | 高 | 39M | — | 総合負荷性能検査 | 定期事業者検査起動後 |
| A 1 再熱蒸気止め弁 | | 1.開放点検 2.組立状況点検 | 高 | 39M | — | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| A 2 再熱蒸気止め弁 | | 1.開放点検 | 高 | 39M | — | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| A 3 再熱蒸気止め弁 | | 1.開放点検 | 高 | 39M | ○ | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| B 1 再熱蒸気止め弁 | | 1.開放点検 | 高 | 39M | ○ | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| B 2 再熱蒸気止め弁 | | 1.開放点検 | 高 | 39M | — | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |
| B 3 再熱蒸気止め弁 | | 1.開放点検 | 高 | 39M | — | 蒸気タービン開放検査 | 蒸気タービン開放検査 |

| 機器又は系統名 | 実施数 (機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回実施 施査計画 又は頻度 | 前回実施時 定査回数 | 検査名 | 備考 (〇内は適用する 設備診断技術) |
|--|--------------|------------------------------|--------------|-------------------|------------|----------------|---------------------------|
| 蒸気タービン 〔調速装置及び非常調速装置並 びに調速装置で制御される主要 部〕 | A.1 インターセプト弁 | 1. 開放点検 | 高 | 39M ○ | 23回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| | A.2 インターセプト弁 | 1. 開放点検 | 高 | 39M — | 24回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| | A.3 インターセプト弁 | 1. 開放点検 | 高 | 39M ○ | 23回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| | B.1 インターセプト弁 | 1. 開放点検 | 高 | 39M ○ | 23回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| | B.2 インターセプト弁 | 1. 開放点検 | 高 | 39M — | 24回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| | B.3 インターセプト弁 | 1. 開放点検 | 高 | 39M — | 24回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| 調速装置(非常調速装置) | | 1. 外観点検 | 高 | 1F ○ | 25回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| 蒸気タービン 〔復水器〕 | 復水、循環水系統 | 1. 機能・性能試験(ポンプ)、電動機合 計 | 高 | 1F ○ | 25回 | 蒸気タービン附属設備機能検査 | 定期事業者検査記録後 |
| | 復水器 | 1. 開放点検 | 高 | 13M ○ | 25回 | 蒸気タービン開放検査 | |
| | | 2. 防汚塗装 | 26M ○ | 25回 | | | |
| A.循環水ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 26M ○ | 24回 | | |
| | | 1. 分解点検(電動機) | 104M — | 22回 | | | |
| | | 2. 簡易点検(潤滑油ユニット作動油清潔度 管理) | 26M ○ | 24回 | | | |
| B.循環水ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 26M — | 25回 | | |
| | | 1. 分解点検(電動機) | 104M — | 23回 | | | |
| | | 2. 簡易点検(潤滑油ユニット作動油清潔度 管理) | 26M — | 25回 | | | |
| A.復水器真空ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 52M — | 24回 | | (振動診断：3M) |
| | | 2. 簡易点検(電動機) | CBM — | 19回 | | | 保全の有効性評価結果No.7の反映 |
| B.復水器真空ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 52M — | 23回 | | (振動診断：3M) |
| | | 1. 分解点検(電動機) | CBM — | 11回 | | | 保全の有効性評価結果No.8の反映 |
| C.復水器真空ポンプ・電動機 | | 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 13M ○ | 25回 | | | |
| | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 52M — | 25回 | | (振動診断：3M) |
| | | 1. 分解点検(電動機) | CBM — | 16回 | | | 保全の有効性評価結果No.9の反映 |
| | | 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 13M ○ | 25回 | | | |
| A.復水ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 65M — | 25回 | | (振動診断：6M (対象：電動機)) |
| | | 1. 分解点検(電動機) | X — | 25回 | | | 保全の有効性評価結果No.10の反映 |
| | | 2. 簡易点検(ストレーナ清掃) | 13M ○ | 25回 | | | |
| B.復水ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 65M — | 24回 | | (振動診断：6M (対象：電動機)) |
| | | 1. 分解点検(電動機) | X — | 20回 | | | 保全の有効性評価結果No.11の反映 |
| | | 2. 簡易点検(ストレーナ清掃) | 13M ○ | 25回 | | | |
| C.復水ポンプ・電動機 | | 1. 分解点検(ポンプ) | 高 | 65M — | 24回 | | (振動診断：6M (対象：電動機)) |
| | | 1. 分解点検(電動機) | X — | 22回 | | | 保全の有効性評価結果No.12の反映 |
| | | 2. 簡易点検(ストレーナ清掃) | 13M ○ | 25回 | | | |
| 蒸気タービン【復水器】その他の機器 | 式 | 1. 分解点検他 | 高 13M~260M ○ | 25回 | | | 一部 BMあり |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 前回実施時 前回定期検査回数) | | 検査名 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|----------------|--------------------|-----------------|--------------------------|
| | | | | ○ | ○ | |
| 蒸気タービン [蒸気タービンに附属する熱交換器] | 3 A温分分離加熱器 脚側 3 A温分分離加熱器 管側 (充電機側) | 1.開放点検 1.開放点検 2.非破壊試験 | 高 高 | 26M 130M | — — | 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 |
| 3 A温分分離加熱器 脚側 (調速機側) | | 1.開放点検 2.非破壊試験 | 高 高 | 130M 130M | — — | 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 |
| 3 B温分分離加熱器 脚側 3 B温分分離加熱器 管側 (充電機側) | | 1.開放点検 1.開放点検 2.非破壊試験 | 高 高 | 26M 130M | — — | 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 |
| 3 B温分分離加熱器 脚側 (調速機側) | | 1.開放点検 2.非破壊試験 | 高 高 | 130M 130M | — — | 蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査 |
| A脳気器 | | 1.開放点検 2.非破壊試験 | 高 高 | 39M 39M | — — | 2次系容器検査 2次系容器検査 |
| B脳気器 | | 1.開放点検 | 高 | 39M | — | 2次系容器検査 |
| 脳気器タンク | | 1.開放点検 | 高 | 39M | — | 2次系容器検査 |
| 第1 A低圧給水加熱器 | | 1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験 | 高 B B | 65M — — | — 22回 22回 | 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 |
| 第1 B低圧給水加熱器 | | 1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験 | 高 B B | 65M — — | — 23回 23回 | 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 |
| 第1 C低圧給水加熱器 | | 1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験 | 高 B B | 65M — — | — 24回 24回 | 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 |
| 第2 A低圧給水加熱器 | | 1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験 | 高 B B | 65M — — | — 19回 19回 | 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 |
| 第2 B低圧給水加熱器 | | 1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験 | 高 B B | 65M — — | — 23回 23回 | 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 |
| 第2 C低圧給水加熱器 | | 1.開放点検 2.漏えい試験 3.非破壊試験 | 高 B B | 65M — — | — 24回 24回 | 2次系熱交換器検査 2次系熱交換器検査 |

| 機器又は部品名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 前回実施時期(定期検査) | | 備考 (〇内は適用する 設備診断技術) |
|---|---|---------------------------------|--------|----------------|------------|---------------------------|
| | | | | 今回実施計画 又は願望 | 2次系熱交換器検査 | |
| 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する熱交換器〕 | 第3 A 低圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 6.5M | — | 23回 |
| | 第3 B 低圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 18回 |
| | 第3 C 低圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 6.5M | — | 24回 |
| 第4 A 低圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 24回 | 2次系熱交換器検査 |
| | 第4 B 低圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 6.5M | — | 19回 |
| | 第4 C 低圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 6.5M | — | 25回 |
| 第6 A 高圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 23回 | 2次系熱交換器検査 |
| | 第6 B 高圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 6.5M | — | 18回 |
| | 第6 C 高圧給水加熱器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 24回 |
| グラント蒸気復水器 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 20回 | 2次系熱交換器検査 |
| | 給水、復水系統 | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 130M | — | 19回 |
| | A タービン動主給水ポンプ | 1. 開放点検 2. 編えい試験 3. 非破壊試験 | 高 | 6.5M | — | 19回 |
| 蒸気タービン 〔蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕 | 1. 機能・性能試験(ポンプ)、電動機合 | 高 | 1F | ○ | 25回 | 蒸気タービン附属機械検査 |
| | 1. 機能・性能試験(ポンプ) | 高 | B | ○ | 24回 | 定期事業者検査起動後 |
| | 1. 機能・性能試験(ポンプ) 2. 分解点検(ポンプ) 3. 分解点検(電動タービン) | 高 | B | ○ | 24回 | 2次系ポンプ機能検査 |
| B タービン動主給水ポンプ | 3. 簡易点検(オイルフィルタ取替) | 13M | ○ | 25回 | 2次系ポンプ分解検査 | |
| | 1. 機能・性能試験(ポンプ) | 高 | — | 25回 | 2次系ポンプ機能検査 | |
| | 1. 機能・性能試験(電動タービン) 2. 分解点検(ポンプ) 2. 分解点検(電動タービン) 3. 簡易点検(オイルフィルタ取替) | 52M | ○ | 24回 | 2次系ポンプ分解検査 | |
| 電動主給水ポンプ・電動機 | 1. 分解点検(ポンプ) | 26M | ○ | 24回 | 2次系ポンプ分解検査 | |
| | 1. 分解点検(電動機) | 13M | ○ | 25回 | 2次系ポンプ機能検査 | |
| | 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 13M | ○ | 25回 | 2次系ポンプ機能検査 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 | 今回の実 施回 | 検査名 | | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|--|------------------|--|--------------------------|-----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------------|
| | | | | | 前回実施時 定期実施回 次) | 今回実 施回 | |
| A蒸気タービン 【蒸気タービンに附属する給水 ポンプ及び貯水設備並びに給水 処理設備】 | Aタービン動主給水ブースタポンプ | 1. 分解点検 2. 簡易点検(ストレーナ点検) | 高 | 52M | — | 24回 | |
| Bタービン動主給水ブースタポンプ | Bタービン動主給水ブースタポンプ | 1. 分解点検 2. 簡易点検(ストレーナ点検) | 高 | 52M | ○ | 23回 | |
| 電動主給水ブースタポンプ | 電動主給水ブースタポンプ | 1. 分解点検 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 | 13M | ○ | 25回 | |
| A復水ブースタポンプ・電動機 | A復水ブースタポンプ・電動機 | 1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(電動機) | 高 | 10M | — | 22回 | |
| B復水ブースタポンプ・電動機 | B復水ブースタポンプ・電動機 | 1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 | 10M | — | 21回 | |
| C復水ブースタポンプ・電動機 | C復水ブースタポンプ・電動機 | 1. 分解点検(ポンプ) 2. 簡易点検(電動機) | 高 | 10M | — | 24回 | |
| A復水貯蔵槽 | A復水貯蔵槽 | 1. 開放点検 2. 簡易点検(潤滑油入替他) | 高 | 13M | ○ | 25回 | |
| B復水貯蔵槽 | B復水貯蔵槽 | 1. 開放点検 2. 簡易点検(電動機) | 高 | 13M | — | 21回 | 2次系容器検査 |
| C復水貯蔵槽 | C復水貯蔵槽 | 1. 開放点検 2. 簡易点検 | 高 | 13M | — | 22回 | 2次系容器検査 |
| D復水貯蔵槽 | D復水貯蔵槽 | 1. 開放点検 2. 簡易点検 | 高 | 13M | — | 23回 | 2次系容器検査 |
| E復水貯蔵槽 | E復水貯蔵槽 | 1. 開放点検 2. 簡易点検(通気管金網清掃) | 高 | 13M | ○ | 24回 | 2次系容器検査 |
| 復水タンク | 復水タンク | 1. 開放点検 2. 簡易点検(通気管金網清掃) | 高 | 13M | — | 17回 | |
| 蒸気タービン 【蒸気タービンに附屬する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備】その他機器 主な配管(主蒸気系統・抽気系統) | 式 | 1. 分解点検 2. 非破壊試験 | 高 65M~260M | ○ | 25回 | | 一部先行実施 |
| 蒸気タービン 【蒸気タービンに附屬する管 等】 | | 1. 外観点検 2. 非破壊試験 | 高 13M~260M | ○ | 25回 | | 一部BMより 一部先行実施 |
| 2次系配管他(上記以外の主蒸気系統・給水系 統・抽気系統・ドレン系統・後水系統・その他系 統)※ ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む(外 観点検のみ) | 式 | 1. 機能・性能試験(駆動部含む) 2. 分解点検 3. 簡易点検(グラントロッキング取扱) | 高 1F | ○ | 25回 | 定期事業者検査起動後 2次系配管検査 | タービンハイパス弁機能検査 |
| 蒸気タービン 【その他設備】 | タービンハイパス弁 | 15個 | 高・低 内厚管理指 針による | ○ | 25回 | | |
| | タービンハイパス弁駆動部 | 15個 | 1. 分解点検 2. 簡易点検(特性試験) | 26M~52M 13M 13M | — ○ ○ | 25回 25回 25回 | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施時期 前回実施時 期(定検回 次) | 前回実施時 期(定検回 次) | 検査名 | 備考 (○内は適用する 設備診断技術) |
|--|--|--------------------------|---|--|------------------------------|---|--|
| 蒸気タービン 【その他設備】 | 蒸気タービン【その他設備】その他の弁 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(グランド入替) | 高・低 B 10AM~130M 130M | ○ ○ — | 25回 1次系安全弁検査 2次系弁検査 1次系逆止弁検査 2次系弁検査 | |
| 蒸気タービン【その他設備】 | 蒸気タービン【その他設備】その他の弁駆動部 | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 分解点検 3. 簡易点検(特性試験) | 高 B 182M 52M | — — ○ | 20回 2次系弁検査 25回 24回 | |
| 蒸気タービン【その他設備】 | 蒸気タービン【その他設備】その他の機器 | 1式 | 1. 分解点検他 1. 分解点検他 | 高 低 13H~260H 12H~260H | ○ ○ | 25回 26回 | |
| 補助ボイラー | 【補助ボイラー】 前段器 管セッティング 安全弁 ボイラーに付属する給水設備 ボイラーに付属する通風設備 ボイラーに付属する管等 油燃焼用機器 | 1式 | 1. 開放点検 1. 開放点検 1. 開放点検 2. 性能試験 2. 性能試験 3. 簡易点検(グランドハシキン取替他) | 低 120M※1 120M※1 117M~240M B※1 IV 12M~60M | — — ○ ○ ○ | 30回※2 30回※2 39回※ 39回※2 39回※ 39回※ 39回※ | 一部BM&9 一部先行実施 先行実施 ※1：前回点検後の運転時間が4,000時間、又は起動回数5120回に達すると見込まれる時頃までに実施する。 ※2：ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※1：補助ボイラー開放検査 ※2：補助ボイラー開放検査 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 先行実施 ※ボイラー定検回次、今回は40回定検 21回施設定検時に設置 |
| 【補助ボイラーに属する燃料設備】 燃料貯蔵設備 燃料貯蔵設備に係る潤滑装置 【補助ボイラーに属する油温処理設備】 ・補助ボイラー集じん機 | 1式 | 1. 分解点検 2. 簡易点検(内部清掃) | 低 低 120M~240M 12M | — — ○ ○ | 36回※ 38回※ 38回※ 39回※ | | |
| 補助ボイラー【その他設備】 | 補助ボイラー【その他設備】 | 1式 | 1. 分解点検他 1. 外観点検 | 低 高 12M~240M 1P | ○ ○ | 39回※ 25回 | |
| その他の電用原子炉の附属施設 【浸水防護施設】 | 浸水防止蓋 石棉防止壁 水密扉 | 1式 1式 1式 | 1. 外観点検 1. 外観点検 1. 外観点検 | 高 高 高 10Y 1Y | ○ — — ○ | 25回 25回 25回 | |
| 2次系計測制御装置 | 2台 | 1. 特性試験 1. 機能・性能試験 | 高 高 1P | ○ ○ ○ | 25回 25回 25回 | 計測制御系監視機能検査 | |
| 津波監視カメラ | 2台 | 1. 機能・性能試験 | 高 1P | ○ ○ | 25回 25回 | | |
| 蒸気漏えい検知システム | 1式 | 1. 機能・性能試験 2. 外観点検 | 低 1P | ○ ○ | 25回 25回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施回数 | 前回実施回数(定検回数) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備・診断技術) |
|--|---|--|----------------------------|--|----------------------------|--|--|
| その他発電用原子炉の附属施設 〔浸水防護施設〕 | 海水ヒット排海水系統 海水サンプルポンプ(吐出ラインを含む) | 1.機能・性能試験(ポンプ、電動機合2台) 1.分解点検(ポンプ) | 低 低 | IY ○ | 24回 22回 | 浸水防護設備検査 | *ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 (振動診断：1V(対象：電動機)) プラント運転中又は定期事業者検査停止中 |
| その他発電用原子炉の附属施設 〔他の弁の弁〕 | 1式 | 1.機能・性能試験 2.分解点検 | 低 低 | B B | — 23回 | 浸水防護設備検査 | |
| その他発電用原子炉の附属施設〔浸水防護施設〕その他他の弁の弁 | 1式 | 1.機能・性能試験 2.分解点検 | 低 低 | I3M I3M | — 25回 | 浸水防護設備検査 | |
| その他発電用原子炉の附属施設〔浸水防護施設〕その他弁の弁 | 1式 | 1.外観点検 1.分解点検他 | 高・低 高・低 | I8F～8F I3M～20SM | ○ ○ | 25回 25回 | 21回施設定期検査より追加 プラント運転中又は定期事業者検査停止中 |
| その他発電用原子炉の附属施設 〔常用電源設備〕 | 1式 | 1.分解点検他 | 高 | 39M～156M | ○ | 25回 | |
| しゃ断器 | 1式 | 1.分解点検他 | 高 | 52M～156M | ○ | 24回 | |
| その他発電用原子炉の附属施設〔常用電源設備〕その他機器 | 1式 | 1.分解点検他 | 高 | 26M～195M | ○ | 25回 | 保全の有効性評価結果No.15の反映 |
| その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護施設〕 | 2台 | 1.機能・性能試験 2.分解点検(ポンプ) | 低 低 | I3M I3M | — — | 火災防護設備検査 | *ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 21回施設定期検査時設置 21回施設定期検査より追加 |
| 煙等流入防止装置 | 1式 | 1.分解点検 | 低 | 260M | ○ | 25回 | 21回施設定期検査時設置 21回施設定期検査より追加 |
| その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護施設〕 | 1式 | 1.分解点検他 | 高・低 | 5M～10W | ○ | 24回 | 21回施設定期検査時設置 21回施設定期検査より追加 |
| その他発電用原子炉の附属施設 〔火災防護施設〕 | 2台 | 1.機能・性能試験 | 高 | IIF | ○ | 25回 | 1次系弁検査 |
| その他発電用原子炉の附属施設 〔非常用発電装置〕 | 45台 | 1.機能・性能試験 | 高 | IIF | ○ | 25回 | 21回施設定期検査時設置 21回施設定期検査より追加 |
| 安全注入信号及び格納容器スレーブ機器 Aディーゼル発電機に電源を求める機器 A連接棒、シリカカバー、クラシク輪) | No.1,8 No.2,3,9,10 No.4,5,11,12 No.6,13 No.7,14 | 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 | 高 高 高 高 高 高 | I3M I3M I3M I3M I3M I3M | — — — — — — | 21回 23回 24回 25回 20回 21回 | 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機) 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機) 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機) 非常用予備発電装置機能検査(ディーゼル発電機) 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 |
| Bディーゼル機関のシリンドラ(ヒストン、クラシク輪) B連接棒、シリカカバー、クラシク輪) | No.1,8 No.2,3,9,10 No.4,5,11,12 No.6,13 No.7,14 | 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 1.分解点検 | 高 高 高 高 高 | I3M I3M I3M I3M I3M | — — — — — | 22回 23回 24回 25回 21回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全の重要度 又は頻度 | 今回の実施計画 前回実施時回数) | 前回実施時回数) | 検査名 |
|-----------------------------|------------------------------------|--|--|--------------------------|--|----------------------|
| その他発電用原子炉の附属施設 【非常用発電装置】 | A.ディーゼル機関の吸気弁 B.ディーゼル機関の排気弁 | 1. 分解点検 | 26M ○ | 24回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 | () 内は適用する 設備診断技術 |
| | A.ディーゼル機関の排気弁 B.ディーゼル機関の排気弁 | 1. 分解点検 | 26M ○ | 25回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 | |
| | A.ディーゼル機関の燃料噴射弁 B.ディーゼル機関の燃料噴射弁 | 1. 分解点検 | 26M ○ | 24回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 | |
| | A.ディーゼル機関の燃料噴射弁 B.ディーゼル機関の燃料噴射弁 | 1. 分解点検 | 13M ○ | 25回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 | |
| ディーゼル機関の燃料噴射弁 | 1. 分解点検 | 13M ○ | 25回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 | | |
| 空冷式非常用発電装置 | 1式 | 1. 外観点検 2. 非破壊試験 3. 機能・性能試験 4. 特性試験 | 1F～10F ○ 13M～75M ○ 1F～10F ○ 13M ○ | 25回 25回 25回 25回 | 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 非常用ディーゼル発電機分解検査 | |
| 可搬式非常用発電装置 | 2台 | 1. 機能・性能試験 2. 取替他 | 1F ○ 130M ○ | 25回 — | その他常用発電装置の機能検査 その他常用発電装置の外層設備検査 | 21回施設定期検査に設置 |
| 緊急時対策所用電源車 | 3台 | 1. 機能・性能試験 | 1Y ○ | 25回 | 可搬型代用電源設備検査 | プラント運転中又は定期事業者検査停止中 |
| 電源車 | 3台 | 1. 機能・性能試験 | 1Y ○ | 25回 | 可搬型代用電源設備検査 | プラント運転中又は定期事業者検査停止中 |
| タンクローリー | 3台 | 1. 機能点検 | 1Y ○ | 25回 | 可搬型代用電源設備検査 | プラント運転中又は定期事業者検査停止中 |
| 非常用電源設備【非常用発電装置】その他機器 | 1式 | 1. 分解点検他 | 13M～208M ○ | 25回 | 可搬型代用電源設備検査 | プラント運転中又は定期事業者検査停止中 |
| | | 1. 分解点検他 | 13M～240M ○ | 25回 | 可搬型代用電源設備検査 | |
| | | 1. 機能・性能試験 | 1F ○ | 25回 | 一部BMあり 保全の効性評価結果No. 16, 17の反映 | |
| | | 1. 機能・性能試験 (作動機能) | 1F ○ | 25回 | 直流通電源系作動検査 | |
| | | 2. 簡易点検 (充電) | 2回/Y — | 25回 | プラント運転中 | |
| 直流電源装置蓄電池 | 2組 (60個／組) | 1. 機能・性能試験 | 1F ○ | 25回 | 直流通電源系機能検査 | |
| | | 1. 機能・性能試験 (作動機能) | 1F ○ | 25回 | 直流通電源系作動検査 | |
| 直流電源装置蓄電池 (3系統目) | 1組 (64個／組) | 1. 機能・性能試験 | 1F ○ | 25回 | 直流通電源系機能検査 | |
| 計器用電源 | 4台 | 1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (特性試験) | 1F ○ 13M ○ | 25回 25回 | 直流通電源系作動検査 | 24回定期事業者検査により追加 |
| 可搬型ハッパリ(加圧器過渡用) | 2組 | 1. 機能・性能試験 2. 外観点検 | 1F ○ 1F ○ | 25回 25回 | イシノーダ機能検査 | |
| 可搬式整流器 | 2組 | 1. 機能・性能試験 2. 外観点検 | 1F ○ 1F ○ | 25回 25回 | イシノーダ機能検査 | |
| 非常用電源設備【その他の電源装置】その他機器 | 1式 | 1. 分解点検他 | 6M～240M ○ | 25回 | プラント運転中又は定期事業者検査停止中 | |
| | | 1. 分解点検他 | 13M～1804 ○ | 25回 | | |

| 機器又は系統名 | 実施数(機器名) | 点検及び試験の項目 | 保全方式 又は頻度 | 今回の実施時期 前回実施時 期(定期実施回 次) | 検査名 | 備考 () 内は適用する 設備診断技術) |
|-------------------|---------------------------------------|-----------|--------------|-----------------------------------|----------|-----------------------------|
| 土木建築設備 | | | | | | |
| 原子炉建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高・低 IF | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 外周建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 中間建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 原子炉補助建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 燃料取扱建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 制御建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 燃料取扱用水タンク建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| ディーゼル発電機建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 1・2号機原子炉補助建屋 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 固体廃棄物貯蔵庫 | 1式 | 1.外観点検 | 低 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 取水口設備 | 1式 | 1.外観点検 | 高 IV~IF | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 敷地内土木構造物 | 1式 | 1.外観点検 | 低 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| 連続地中壁 扣止ぐい、 | 1式 | 1.外観点検 | 低 IV | ○ 25回 | | プラント運転中又は定期事業者検査時[中] |
| プラント結合 | 原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び非常用予備発電装置を除 く) | 1.総合性能試験 | 高 IF | ○ 25回 | 総合負荷性能検査 | 定期事業者検査起動後 |
| 非常用取水設備 [取水設備] | 海水取水システム | 1.外観点検 | 高 IV | ○ 23回 | | |

ク拉斯1機器供用期間中検査のうち蒸気発生器管台溶接部の健全性確認検査

供用期間中特別検査

1. 原子炉容器(1／2)
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1

| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 高浜発電所第3号機検査計画(7か年) | | | | | 備考 | |
|--------|-------|--|------------|-----------------|-----|--------------------------|-----------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|----|---------------|
| | | | | | | | | 2018年 第23保全 サイクル | 2019年 第24保全 サイクル | 2020年 第25保全 サイクル | 2021年 第26保全 サイクル | 2022年 第27保全 サイクル | | |
| B1.102 | B-A | 下部胴の長手溶接継手 | 体積 | 可能範囲各100% ※2 | 3 | 水中UT (内面) | 可能範囲各100% ※2 | - | - | 可能範囲各100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B2.111 | B-B | 上部胴と下部胴との周溶接継手 下部胴とトランジションボルトの 周溶接継手 | 体積 | 5% ※2 | 1 | 水中UT (内面) | 5% ※2 | - | - | 可能範囲100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.105 | B-C | トランジションボルトと下部鏡板との 周溶接継手 | 体積 | 5% ※2 | 1 | 水中UT (内面) | 5% ※2 | - | - | 可能範囲100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.10 | B-D | 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手 冷却材入口管台と胴との溶接継手 | 体積 | 可能範囲各100% ※2 | 3 | 水中UT (内面) | 可能範囲各100% ※2 | - | - | 可能範囲各100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.20 | B-D | 冷却材入口管台内面の丸みの部分 冷却材出口管台内面の丸みの部分 | 体積 | 可能範囲各100% ※2 | 3 | 水中UT (内面) | 可能範囲各100% ※2 | - | - | 可能範囲各100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B5.10 | B-F | 冷却材入口管台とセーフエンドの 溶接継手(呼び径100A以上) | 体積及び 表面 | 可能範囲各100% ※2 | 3 | 水中UT (内面) | 可能範囲各100% ※2 | A(P-T) 100% | - | C(P-T) 100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.10 | B-G-1 | 冷却材出口管台とセーフエンドの 溶接継手(呼び径100A以上) | 体積及び 表面 | 可能範囲各100% ※2 | 3 | 水中UT (内面) | 可能範囲各100% ※2 | - | - | B(P-T) 100% | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.30 | B-G-1 | ナット | VT-1 | 100% | 58 | VT-1 (漏えい時又は 取外し時) | 100% 58 | 13 | - | 17 | 10 | 18 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.40 | B-G-1 | スタッフボルト | 体積 | 100% | 58 | UT | 100% 58 | 13 | - | 17 | 10 | 18 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.50 | B-G-1 | 胴フランジネジ穴のネジ部 | 体積 | 100% | 58 | UT | 100% 58 | - | - | 20 | 19 | 19 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B7.10 | B-G-2 | ワーマンカッソーブリッジ | VT-1 | 25% | 3 | VT-1 (漏えい時又は 取外し時) | 25% 1 | 13 | - | 17 | 10 | 18 | - | (重大事故等クラス2機器) |

※1：NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす確率その他の次陥の辨証」(令和元年6月5日原規技基第190051号)の改正版(以下、電製解説NRA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験工程)」新規要件に関する事業者による講習会」(令和元年8月25日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。
※2：2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

| 1. 原子炉容器(2/2) 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(7か年) | | | | | | | 備考 | | | | | |
|--|-------|-------------------------|--------|-----------------|----------|-------------------|-------------------|----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| G1.10 | G-P-1 | 容器内部 | VT-3 | 全範囲の7.5%各検査時毎※2 | 1 | VT-3 | 可能範囲100%各検査時毎 | - | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - |
| G1.40 | G-P-1 | 上部炉心支持構造物の内部取付物 | VT-3 | 全範囲の7.5% | 1 | VT-3 | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | (重大事故等クラス2機器) |
| G1.50 | G-P-2 | 下部炉心支持構造物の内部取付物 | VT-3 | 全範囲の7.5% | 1 | VT-3 | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | (重大事故等クラス2機器) |
| B14.10 | B-P | 制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (上部) | 体積又は表面 | 最外周2.0 (全52) | P T | 最外周の2.5% (全55) | 最外周の2.5% (全55) | - | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | (重大事故等クラス2機器) |
| F1.41 | F-A | 制御棒駆動ハウジングの溶接継手 (下部) | 可燃性 | VT-2 | 可能範囲100% | - | VT-2 | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.10 | B-P | 圧力保持範囲 | VT-2 | 可能範囲100% | - | VT-2 | 可能範囲100% | - | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | (重大事故等クラス2機器) |
| ※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす電製その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、電製解釈NRA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程 | | | | | | | | | | | | | | |
| ※2: 2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用し、「全範囲の7.5%各検査時毎」は「全範囲の7.5%」と読み替える。 | | | | | | | | | | | | | | |

2. 加圧器(1-1)

| 高浜発電所第3号機検査計画(7カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|--------------------|-------|--|--------|--------------|-----|-----------------------|--------------|-------|--------------|----------|--------------------------|--------------------------|---------------|---------------|
| 項目番号 | 力テゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| B2.11 | B-B | 上部胴と上部鏡板との周縁手 下部胴と下部鏡板との周縁手 | 体積 | 5% | 1 | UT | 5% | - | 5% | - | 第23保全サイクル - 第24保全サイクル | 第25保全サイクル - 第26保全サイクル | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B2.12 | B-B | 上部胴の長手継手 下部胴の長手継手 | 体積 | 各10% | 2 | UT | 各10% | - | | | | 5% | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B2.13 | B-B | 上部胴と下部胴との周縁手 | 体積 | 5% | 1 | UT | 5% | - | A10% | - | B10% | | | (重大事故等クラス2機器) |
| B3.30 | B-D | 管台と容器との溶接継手 | 体積 | 25% | 6 | UT | 25% | 2 | - | 1(サージ管台) | 1(サージ管台) | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| B3.40 | B-D | 管台内面の丸みの部分 管台とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上) | 体積 | 25% | 6 | UT | 25% | 2 | - | 1(サージ管台) | 1(サージ管台) | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| B5.40 | B-F | 加圧器邊がし弁管台 加圧器安全弁管台 加圧器スプレイ管台 加圧器サージ管台 | 体積及び表面 | 25% | 3 | UTPT | 25% | 2 | - | | | | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B7.20 | B-G-2 | マンホールの取付けボルト | V-T-1 | 25% | 16 | V-T-1 (漏えい時又は取外し時) | 25% | 4 | 1 | - | 1 | 2 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B8.20 | B-H | 支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手) | 表面 | 7.5% | 1 | PT | 7.5% | - | 7.5% | | | | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.20 | B-P | 圧力保持範囲 | V-T-2 | 可能範囲 100% | - | V-T-2 | 可能範囲 100% | - | 可能範囲 100% | - | 可能範囲 100% | 可能範囲 100% | - | (重大事故等クラス2機器) |
| F1.41 | F-A | 支持構造物(スカート、基礎ボルト) | V-T-3 | 25% | 1 | V-T-3 | 25% | 1 | - | | | 1 | - | (重大事故等クラス2機器) |

※：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附屬施設における破壊を引き起こす電気その他の中性子の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規規NRA文書改訂という)の改正版(以下、「電気解釈NRA文書改訂」という)の施行及び公開会合「(原子炉)圧力容器の接着手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取(2019年度中の計画変更)」(令和元年8月5日)の結果(2020年7月1日より維持規格JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

3. 蒸気発生器(1／1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1

| 高浜発電所第3号機検査計画(7カ年) | | | | | | | 備考 | | | | | | | |
|--------------------|-------|--|--------|-----------|-----|----------------------|-----------|----------|-------|----------|----------------------------------|-----------|-----------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| B2.40 | B-B | 管板と水室鏡との溶接綫手 | 体積 | 1基の25% | 3 | UT | 1基の25% | - | - | - | 第21保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - |
| B3.60 | B-D | 冷却材入口管台の内面の丸みの部分、冷却材出口管台の内面の丸みの部分 | 体積 | 1基の25% | 6 | UT | 1基の25% | - | C 9% | C 8% | C 8% | C 8% | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B5.70 | B-F | 冷却材入口管台とサーフエンドの溶接綫手、冷却材出口管台とサーフエンドの溶接綫手(呼び径100A以上) | 体積及び表面 | 1基の25% | 6 | UT PT | 1基の25% | - | - | C入口 1 | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B7.30 | B-G-2 | 1次側マンホールの取付けボルト | VT-1 | 1基の25% | 96 | VT-1 (漏えい時又は取外し時) | 1基の25% | C入口 3 | - | - | A入口 1 (UT) (ECT) (*) | - | - | - |
| B15.30 | B-P | 圧力保持範囲 | VT-2 | 可能範囲100% | - | VT-2 | 可能範囲100% | - | - | - | 可能範囲100% | 可能範囲100% | 可能範囲100% | - |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボルト) | VT-3 | 1基の25% | 12 | VT-3 | 1基の25% | - | C 1 | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |

※1: NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起す壊滅その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技術第190605号)の改正版(以下、「解釈版NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接綫手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度(7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する)。

4. 配管(1/3)

| 高浜発電所第3号機検査計画(7か年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|--------------------|-------|--|-------|-----------|------|--------------------------|-----------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------------------------|------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査機数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 第23保全 サイクル | 2019年 第24保全 サイクル | 2020年 第25保全 サイクル | 2021年 第26保全 サイクル | 2022年 第27保全 サイクル | 2023年 第28保全 サイクル | 2024年 第29保全 サイクル |
| B7.50 | B-g-2 | 圧力保持用ボルト締付け部 (直径5.0mm以下) A. B. Cループ | V T-1 | 2.5% | 3 | V T-1 (漏い時又は 取外し時) | 2.5% | 1 | - | | C 1 | - | | |
| | | 配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上) | | | | | | | | | | | | |
| | | 1次冷却水管 (21.5INID, 836.0mm, 291NID, 31INID) A. B. Cループ | 体 積 | 2.5% | 4.6 | UT | 2.5% | A 3 1/2 | - | A 1 B 1 | A 1 B 1 C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) C/P内機器有 | |
| | | 加圧器サーチ管 (14B, 355, 60mm) | 体 積 | 2.5% | 7 | UT | 2.5% | 2 | - | 1 | 1 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器安全ガーライン (6B) A. B. Cライン | 体 積 | 2.5% | 3.0 | UT | 2.5% | A 1 B 1 | - | A 1 B 1 | A 1 C 3 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器過圧弁ライン (6B) | 体 積 | 2.5% | 1.2 | UT | 2.5% | 3 | - | 1 | 1 | 1 | - | |
| | | 加圧器スフレイライン (4B, 144, 30mm) A. Cループ | 体 積 | 2.5% | 5.0 | UT | 2.5% | A 2 1/3 | - | A 2 C 1 | A 2 C 2 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 加圧器補助スフレイライン (4B) | 体 積 | 2.5% | 1 | UT | 1 | | - | | 1 | - | | |
| | | 金熱除電ボンブアロライン B. Cループ | 体 積 | 2.5% | 4.1 | UT | 2.5% | B 1 C 1 | - | B 1 C 1 | B 1 C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | S I S蓄圧主ライン (12B, 318, 50mm) A. B. Cループ | 体 積 | 2.5% | 3.2 | UT | 2.5% | A 1 8 | - | A 1 B 1 | A 1 B 2 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | S I S蓄圧低圧注入ライン (6B, 165, 20mm) A. Bループ | 体 積 | 2.5% | 3.0 | UT | 2.5% | A 1 8 | - | A 1 B 1 | A 2 B 1 | - | | |
| | | S I S蓄圧低圧注入ライン (6B) A. B. Cループ | 体 積 | 2.5% | 4.4 | UT | 2.5% | A 1 1/1 | - | A 2 C 2 | B 1 | A 1 C 3 | - | |
| | | S I S高温側補助注入ライン (4B, 6B) Cループ | 体 積 | 2.5% | 6 | UT | 2.5% | 2 | - | 1 | 1 | - | | |
| | | 配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満) | | | | | | | | | | | | |
| | | 加圧器過圧弁ライン (3B) | 表 面 | 2.5% | 2.0 | PT | 2.5% | 5 | 1 | - | 2 | 1 | 1 | - |
| | | 加圧器過圧スフレイライン (2B, 60, 50mm) | 表 面 | 2.5% | 1.9 | PT | 2.5% | 5 | 1 | - | 1 | 1 | 2 | - |
| | | 余熱除電ボンブアロライン (1/14B) B. Cループ | 表 面 | 2.5% | 4 | PT | 2.5% | 1 | - | | | B 1 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | R T Dウェル及び閉止分歧管 (3B) A. B. Cループ | 表 面 | 2.5% | 7 | PT | 2.5% | 2 | - | B 1 | | A 1 | - | |
| | | 袖出し余熱抽出及びドレンライン (2B, 80, 50mm, 89, 10mm) A. B. Cループ | 表 面 | 2.5% | 3.1 | PT | 2.5% | 8 | B 1 C 1 | - | B 1 C 1 | C 3 | C 1 | - |
| | | C V C充填ライン (3B, 89, 10mm) Bループ | 表 面 | 2.5% | 8 | PT | 2.5% | 2 | - | B 1 | | B 1 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 1次冷却水ポンプ封水注入ライン (11/2B) A. B. Cループ | 表 面 | 2.5% | 3 | PT | 2.5% | 1 | - | A 1 | | | - | |

※「NRA文書「実用企画用予定及び新規要件」(令和元年6月5日原規技委第9000051号)の改正版(以下、電製解説RNA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の接続手の試験程度等)新規要件に附する試験手の試験程度等」新規要件に附する事業者電気の趣取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSGE S MA-2012/2013/2014を適用する。

4. 配管(2/3)

| 高浜発電所第3号機検査計画(7か年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|--------------------|------|--|------|-----------|------|------|------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査機器 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 第23保全 サイクル | 2019年 第24保全 サイクル | 2020年 第25保全 サイクル | 2021年 第26保全 サイクル | 2022年 第27保全 サイクル | 2023年 第28保全 サイクル | 2024年 第29保全 サイクル |
| 89.21 | B-J | 配管の同様金属溶接綫手 (呼び径100A未満) | | | | | | | | | | | | |
| | | S I S 高温潤滑助注入ライン (2B 60, 50mm) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 1.2 | P T | 2.5% 3 | - | B 1 | C 1 | B 1 | - | | |
| | | S I S 低温潤滑助注入ライン (2B 60, 50mm) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 7 | P T | 2.5% 2 | - | A 1 | | B 1 | - | | |
| | | S I S 低温ほうう酸注入ライン (2B 60, 50mm) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 1.3 | P T | 2.5% 4 | A 1 | - | B 1 | C 1 | B 1 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 母管と管台の溶接綫手 (呼び径100A以上) | | | | | | | | | | | | |
| 89.31 | B-J | 母管と管台の溶接綫手 (呼び径100A未満) (4B, 6B, 12B, 4B) A. B. Cループ | 体積 | 2.5% | 1.1 | U T | 2.5% 3 | - | A 1 | | B 1 | C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 母管と管台この溶接綫手 (呼び径100A未満) | | | | | | | | | | | | |
| | | 1次冷却水管 (2B, 63, 53mm) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 1.7 | P T | 2.5% 5 | A 1 | - | B 1 | C 1 | A 1 | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 金剛歯盤がブローバイライン (1/14B) B. Cループ | 表面 | 2.5% | 2 | P T | 10.0% ※2 2 | - | | B 1 | C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | S I S 高温潤滑圧注人ライン (2B) A. Bループ | 表面 | 2.5% | 2 | P T | 2.5% 1 | - | | | A 1 | - | | |
| | | S I S 低温潤滑圧注人ライン (2B) A. Bループ | 表面 | 2.5% | 6 | P T | 2.5% 2 | - | A 1 | | C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | ソケット溶接綫手 | | | | | | | | | | | | |
| | | 加工器具補助プレイライン (2B) | 表面 | 2.5% | 1 | P T | 2.5% 1 | - | 1 | | | | - | |
| | | R D D ウエル及び閉止分岐管 (2B) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 3 | P T | 2.5% 1 | - | A 1 | | | | - | |
| | | 抽出・余剰抽出及びドレンライン (2B) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 6 | P T | 2.5% 2 | - | A 1 | C 1 | | | - | |
| | | 1次冷却水がブローバイ水注入ライン (1/12B, 48, 60mm) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 4.6 | P T | 2.5% 1.2 | A 2 B 1 | - | B 2 C 1 | A 1 C 1 | A 1 C 2 | - | |
| | | S I S 高温潤滑助注入ライン (2B) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 1.5 | P T | 2.5% 4 | A 1 | - | B 1 | C 1 | A 1 | - | |
| | | S I S 低温潤滑助注入ライン (2B) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 3 | P T | 2.5% 1 | - | B 1 | | | | - | |
| | | S I S 低温ほうう酸注入ライン (2B) A. B. Cループ | 表面 | 2.5% | 3 | P T | 2.5% 1 | - | | | C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) | |

*1. NPA文書「実用設備規格・維持規格(2008年改訂版) JSGE S MA1-2008※1」の表正版(以下、「表正版」といいます。)の施行及び公開会合「(原子炉炉力発電施設NPA規制改正について)」を踏まえ、2020年7月1日より規制規格 JSGE S MA1-2017/2013/2014を適用する。
 ※2. 開拓りん譲「新規制基準」施工に伴うRCP B注入部周辺の検査方法の明確化について」に従い、100%とする。

4. 配管(3/3)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画(7か年) | | | | | | | | | | 備考 | |
|---|-------------------------------|--------|--------------------|--------------|-------|-------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査機器 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| B15.30 | B-P | 圧力保持範囲 | V T-2 | 可能範囲 100% | - | V T-2 | 可能範囲 100% | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 支持構造物 | | | | | | 第23保全 サイクル | 第24保全 サイクル | 第25保全 サイクル | 第26保全 サイクル | 第27保全 サイクル | 第28保全 サイクル | - |
| F-1.10 | 加圧器サーボ管 | V T-3 | 2.5% | 9 | V T-3 | 2.5% | 3 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | (重大事故等クラス2機器) |
| | 加圧器過剅弁ライン | V T-3 | 2.5% | 19 | V T-3 | 2.5% | 5 | 1 | - | 2 | 1 | 1 | 1 | (重大事故等クラス2機器) |
| | 加圧器スプリングライン A. Cループ | V T-3 | 2.5% | 62 | V T-3 | 2.5% | 16 | A2 C2 | - | A1 C1 | C2 C1 | A2 C2 | A2 C3 | - |
| | 余熱除汔ポンプ入ロライン B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 37 | V T-3 | 2.5% | 10 | B1 | - | B2 C2 | B1 C1 | B2 C1 | B2 C1 | (重大事故等クラス2機器) |
| | 加圧器補助スプレーライン | V T-3 | 2.5% | 22 | V T-3 | 2.5% | 6 | - | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | - |
| | CVCS充てんライン Bループ | V T-3 | 2.5% | 6 | V T-3 | 2.5% | - | - | B1 | B1 | B1 | B1 | B1 | (重大事故等クラス2機器) |
| | 抽出・余熱抽出及びドレンライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 32 | V T-3 | 2.5% | 8 | A1 B1 | - | A1 C2 | B1 C1 | A1 B1 | A1 C1 | - |
| | 1次冷却材ポンプ封水注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 19 | V T-3 | 2.5% | 5 | A1 | - | B1 | C1 | A1 B1 | A1 B1 | - |
| | S1S蓄圧注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 32 | V T-3 | 2.5% | 8 | A1 B1 | - | C1 | A1 B1 | A1 B1 | A1 B1 | (重大事故等クラス2機器) |
| | S1S高温側供給圧注入ライン A. Bループ | V T-3 | 2.5% | 21 | V T-3 | 2.5% | 6 | A1 B1 | - | A1 | A1 B1 | A1 B1 | A1 B1 | - |
| | S1S低温側供給圧注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 27 | V T-3 | 2.5% | 7 | A1 B1 | - | A1 C1 | B1 C1 | A1 B1 | A1 B1 | (重大事故等クラス2機器) |
| | S1S高温側補助注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 22 | V T-3 | 2.5% | 6 | A1 B1 | - | C1 | B1 C1 | C2 | C2 | - |
| | S1S低温側補助注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 13 | V T-3 | 2.5% | 4 | A1 | - | B1 | C1 | A1 | A1 | - |
| | S1S低温側う酸注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% | 24 | V T-3 | 2.5% | 6 | A1 B1 | - | C1 | A1 | A1 | B1 | (重大事故等クラス2機器) |

※1: NRA文書「実用発電用原子力設備等における破壊を引き起す想定その外属性施設における破壊を引き起す想定その外属性施設等」(令和元年6月5日原能規法第000001号)の改正版(以下、電気設備NRA文書と記す。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の接続手の試験程度等)新規制要件に附する事業者直属の施設にかかる余熱」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

5. 1次冷却材ポンプ(1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画(7カ年) | | | | | | | 備考 | | | |
|---|-------|--------------------------|------|--------------------|----------------------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|--------------------------|
| 項目番号 | 力テゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| B6.180 | B-G-1 | スタッドボルト | 体積 | 1台の25% 72 | UT (装着時又は取外し時) | 1台の25% 6 | - | 第2保全サイクル | - | 第2保全サイクル | 第2保全サイクル | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B6.190 | B-G-1 | フランジ表面 | VT-1 | 1台の25% 72 | VT-1 | 1台の25% 6 | - | | | | | C 6 | - | ポンプ分解点検時に実施(重大事故等クラス2機器) |
| B6.200 | B-G-1 | ナット | VT-1 | 1台の25% 72 | VT-1 (漏えい時又は取外し時) | 1台の25% 6 | - | | | | | C 6 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B12.20 | B-L-2 | ケーシングの内表面 | VT-3 | 1 3 | VT-3 | 1 | - | | | | | C 6 | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B15.60 | B-P | 圧力保持範囲 | VT-2 | 可能範囲 100% | - | VT-2 | 可能範囲 100% | - | ポンプ分解点検時に実施(重大事故等クラス2機器) |
| F1.41 | F-A | 支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト) | VT-3 | 1台の25% 9 | VT-3 | 1台の25% 1 | - | | | | | C 1 | - | (重大事故等クラス2機器) |

※1: NRA文書「発電用原子炉設備規格(第1900051号)の改正版(以下、「新規制規格」)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の接手の試験程度等)新規制要件に關する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

| 高浜発電所第3号機検査計画(7か年) | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|--------------------|-------|--|---------|------------------|-----|-----------------------------|---------------|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 第23保全 サイクル | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | [圧力保持用バルブ継付け部 (直径50mm以下)] | | | | | | | | | | | | |
| | | 加圧器安全弁ライン A. B. C ライン 3V-RG-055 3V-RG-056 3V-RG-057 | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | 2.4 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | 3V-RG- 057 8 | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 加圧器過がれ弁ライン 3V-RG-054A 3V-RG-054B 3PV-455A 3PV-455B 3PV-454C | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 3.0 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | 3V-RG- 054A 10 | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 加圧器スプレーライン A. C ブレーブ 3PV-454A 3PV-454B | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 1.8 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | 3PCV- 6 | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| | | 加圧器漏出ヘフレイライン 3V-GS-225 | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 1.6 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |
| | | C V C S 油循環ライン ブルーブ 3V-GS-233 3V-GS-234 | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 6 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |
| | | 抽出・余剰油出し及びドレーフライン A. B. C ブレーブ 3V-RG-019A 3V-RG-019B 3V-RG-019C | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 2.0 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |
| B7.70 | B-4-2 | 3V-RG-017 | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 2.4 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |
| | | 3LCI-451 3LCI-452 | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 1.0 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | 3V-RG- 017 10 | - | - | - | - | - | |
| | | 3V-RH-030A 3V-RH-030B 3V-RH-030 | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 1.2 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | 3LCI-451 6 | - | - | - | - | - | |
| | | 3V-RH-033A 3V-RH-033B | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 3.6 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |
| | | S I S 電圧注入口ライン A. B. C ブレーブ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 9.6 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |
| | | S I S 電圧低圧注入口ライン A. B. C ブレーブ 3V-SI-209A, 209B 3V-SI-209A, 209B | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 5.6 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |
| | | S I S 電圧低圧注入口ライン A. B. C ブレーブ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B | V T - 1 | 類似弁ごと に1台の25% | 8.4 | V T - 1 (漏えい時又は 取外し時) | 類似弁ごと に1台分 | - | - | - | - | - | - | |

※1-NRL文書「常用効率化子母管びその附屬施設における検査を担当する事業者に該当する会員」(令和元年6月5日原規法登録D00601号)の改正版(2019年度中の公開変更)を踏まえ、2020年1月1日より維持規格 ISME-S MA-2012/2013/2014を適用する。

| 高 湾 発 電 所 第 3 号 機 構 建 計 画 (7か年) | | | | | | | | | | | 備考 | | |
|---------------------------------|-------|--|--|--------------------|------------------------|----------------------------|----------------------|--------------------|----------------|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査実験所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| B7.70 | B-P-2 | 圧力保持用ボルト端付け部 (直径 50 mm 以下) | | | | | 第2保全サイクル | - | 第2保全サイクル | - | 第2保全サイクル | - | |
| | | S I S 高温制御助注入ランプ C ループ | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の 25% | 1.4 (漏えい時は 取外し時) | V T - 1 (漏えい時は 取外し時) | 類似弁ごとに 1台分 1/4 | - | - | - | 3V-SI- 1.4 | - | |
| | | 弁本体の内表面 | | | | | | | | | | | |
| | | 加圧器安全ガーライン A. B. C ループ | 3V-RH-055 3V-RH-056 3V-RH-057 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | 3 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | - | 3V-RG- 055 | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン B. C ループ | 3PV-C-420 3PV-C-430 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | 2 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | - | 3PCV-420 | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | S I S 高温圧注入口ライン A. B. C ループ | 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B 3V-SI-134C, 136C | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | 2 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | - | 3V-RH- 003B | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | S I S 高温制圧注入ランプ A. B. C ループ | 3V-SI-208A, 209A 3V-SI-208B, 209B | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | 6 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | - | 3V-SI- 135A | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | S I S 制御圧注入ランプ A. B. C ループ | 3V-SI-202A, 202B 3V-SI-202B, 202C 3V-SI-202C, 202C | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | 4 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | - | 3V-SI- 209A | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | S I S 制御助注入ランプ C ループ | 3V-SI-088 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | 1 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1 | - | 3V-SI- 088 | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | B15.70 | 圧力保持範囲 | V T - 2 | 可能範囲 1.00% | - | V T - 2 | 可能範囲 1.00% | - | 可能範囲 1.00% | - | 可能範囲 1.00% | - |
| | | 支持構造物 | | | | | | | | | | | |
| | | 加圧器安全ガーライン A. B. C ループ | 3V-RH-055 3V-RH-056 3V-RH-057 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 3 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 3V-RG- 057 | - | - | - | (重大事故等クラス 2 機器) |
| | | 加圧器逃がしガーライン A. B. C ループ | 3V-RH-054A 3V-RH-054B 3V-RH-054C | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 6 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | - | 3V-RG- 054A | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | 抽出ランプ C ループ | 3LCY-455A 3LCY-454C | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 6 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | - | 3PCV- 455B | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | F-A | 加圧器ズブレイライラン A. C ループ | 3LCY-454A 3LCY-454B | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 4 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | - | 3PCV- 454A | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | 加圧器備附スフレイライン 3V-RH-003A 3V-RH-003B | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 1 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | - | - | 3V-RG- 225 | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン B. C ループ | 3PV-C-420 3PV-C-430 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 4 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | - | 3LCY- 1 | - | (重大事故等クラス 2 機器) | |
| | | 3V-RH-003A 3V-RH-003B | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | 4 | V T - 3 | 類似弁ごとに 1台の 2.5% | - | 3V-RH- 003A | - | (重大事故等クラス 2 機器) | | |

※1. INR文書「発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす壊滅その他の災厄」(令和元年6月5日原規技第90055号)の改正版(以下、「電気設備RINA文書」という。)の適用する事業者危機の緩和(2019年度中止)の結果(2020年1月より維持規格JISME-S-NAI-2012/2013/2014に適用する)。

クラス2機器供用期間中検査

1. 余熱除去装置 (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2008※1 | | 高浜発電所 第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|------------------------------|--------|-----------|-----|----------|----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| C1.10 | C-A | 管副筒と管副筒フランジとの溶接継手 | 体積 | 1基の7.5% | 2 | UT | 1基の7.5% A 7.5% | | | | | | | | | 第26保全サイクル | - |
| C1.20 | C-A | 管副筒と管副筒との溶接継手 | 体積 | 1基の7.5% | 2 | UT | 1基の7.5% A 7.5% | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | - |
| C2.21 | C-B | 管副入口管台及び管副出口管台と管副筒 との溶接継手 | 体積及び表面 | 7.5% | 4 | UT PT | 7.5% 1 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | - |

※1：NRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす危険その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原爆改第1906051号)の改正版(以下、金銅錆取R(文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉炉容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取等における結果(2019年度中の計画変更)」を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (1/5)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|---|------|--------------|-----|------------|-----------|----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 配管の支持部材取付け溶接継手 | | | | | | 第2保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - | |
| | | 余熱除去ポンプ入ロライン (318.50mm, 355.60mm) A、Bライン | 表面 | 7. 5% 1.2 | PT | 7. 5% 1 | A1 | | | | | | | | | - | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン (267.40mm) A、Bライン | 表面 | 7. 5% 3 | PT | 7. 5% 1 | A1 | | | | | | | | - | - | |
| | | S I S高温側低圧注入ライン (267.40mm) Aライン | 表面 | 7. 5% 4 | PT | 7. 5% 1 | A1 | | | | | | | | - | - | |
| | | S I S低温側低圧注入ライン (165.20mm, 267.40mm) A、B、Cライン | 表面 | 7. 5% 1.1 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | A1 | - | - | |
| | | S I S高温側補助注入ライン (60.50mm, 89.10mm) A、B、C共通ライン | 表面 | 7. 5% 1.0 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | 共通1 | - | |
| | | S I S低温側補助注入ライン (89.10mm) 共通ライン | 表面 | 7. 5% 2 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | | - | |
| | | 補助注入ライン (89.10mm, 114.30mm) 共通ライン | 表面 | 7. 5% 4 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | | 1 | |
| | | S I S低温側ほうう酸注入ライン (89.10mm) 共通ライン | 表面 | 7. 5% 3 | PT | 7. 5% 1 | 共通1 | | | | | | | - | | - | |
| | | 光てん／高圧注入ポンプ入ロライン (216.30mm) | 表面 | 7. 5% 3 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | | - | |
| | | 光てん／高圧注入ポンプ出ロライン (89.10mm, 114.30mm) | 表面 | 7. 5% 3 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | | - | |
| | | 1次冷却材管高温側高压注入ライン (89.10mm) | 表面 | 7. 5% 2 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | 1 | - | |
| | | 1次冷却材管低温側高压注入ライン (89.10mm) | 表面 | 7. 5% 2 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | | - | |
| | | 1次冷却材管高温側高压注入ライン (89.10mm) ほう酸注入タンク入口側 | 表面 | 7. 5% 2 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | 1 | - | |
| | | 1次冷却材管低温側高压注入ライン (89.10mm) ほう酸注入タンク出口側 | 表面 | 7. 5% 2 | PT | 7. 5% 1 | | | | | | | | - | 1 | - | |
| 03.20 | C-C | 格納容器再循環サンブ出口ライン A、Bライン | 表面 | 7. 5% 8 | PT | 7. 5% 1 | A1 | | | | | | | - | | - | |

※1: NRA文書「発用原子力設備規格(2008年版)」(令和元年6月5日原規則新第1306051号)の改正版(以下、複製解説文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉压力容器の溶接接手の試験度等)新規制要件にかかる事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年1月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。)

2. 配管 (2/5)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|---|------|--|--------|--------------|------------|------------|-------------------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|------------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径100mmを超える公称肉厚9.5mmを超えるもの) | | | | | 第2保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - | |
| 05.11 | C-F | 余熱除去ポンプ入ロライン A. Bライン (GB 14B 318.50mm) | 体積又は表面 | 7. 5% 6.2 | P T | 7. 5% 5 | A 1 | | | | | | A 1 B 1 | | | |
| | | S 1 S高温側低圧注入ライン A. Bライン (GB 10B 267.40mm) | 体積及び表面 | 7. 5% 1.7 | U T P T | 7. 5% 2 | A 1 A 1 (P T) | | | | | | A 1 (U T) | | | |
| | | S 1 S低温側低圧注入ライン A. B. Cライン (GB 10B 165.20mm, 267.40mm) | 体積及び表面 | 7. 5% 6.0 | U T P T | 7. 5% 5 | A 1 B 1 A 1 (P T) | | | | | | B 1 C 1 | | | |
| | | 格納容器再循環サンプ出口ライン A. Bライン (GB 355.60mm) | 体積又は表面 | 7. 5% 2.5 | P T | 7. 5% 2 | A 1 | | | | | | B 1 | | | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技發第1906051号)の改正版(以下、重製解説NRA文書改訂という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接着の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

2. 配管 (3/5)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|--|---------------------|-----------|--|------|------------|------------|-------|------------|----------|------------|-------|-------------------|-----------|-----------|-------|---|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | |
| 05.21 | C-F | 配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50mmをA以上100mm以下で公称肉厚5mmを超えるもの) | 表面 | 7. 5% | 1 19 | PT | 7. 5% 9 | A 1 B 1 | C 1 | - | 第2保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | |
| | | SIS高温側補助注入ライン (2B, 38, 60, 50mm, 89, 10mm) A. B. C. 共通ライン | 表面 | 7. 5% | 6 0 | PT | 7. 5% | A 1 | - | B 1 共通2 | - | C 1 共通1 | - | B 1 C 1 共通1 | - | - | - | |
| | | SIS低温側補助注入ライン (2B, 38, 60, 50mm, 89, 10mm) A. B. C. 共通ライン | 表面 | 7. 5% | 3 2 | PT | 7. 5% 3 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | - | 未通2 | - | - | |
| | | 補助注入ライン (3B, 48, 89, 10mm) | 表面 | 7. 5% | 6 5 | PT | 7. 5% | A 1 | - | B 1 共通1 | - | - | 1 | - | - | - | - | |
| | | SIS低温側ほう酸注入ライン (2B, 38, 60, 50mm, 89, 10mm) A. B. C. 共通ライン | 表面 | 7. 5% | 3 5 | PT | 7. 5% 3 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | |
| | | 充てん／高压注入ポンプ出ロライン (3B, 48, 89, 10mm) | 表面 | 7. 5% | 充てん／高压注入ポンプ出ロライン (3B, 48, 89, 10mm) | 表面 | 7. 5% | A 1 | - | B 1 共通1 | - | - | 1 | - | - | - | - | |
| | | 配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手) | 表面 | 7. 5% | 3 5 | PT | 7. 5% 3 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | |
| | | SIS高温側補助注入ライン (2B) A. B. C. ライン | 表面 | 7. 5% | 1 8 | PT | 7. 5% 2 | A 1 | - | - | - | - | - | B 1 | - | - | - | |
| | | SIS低温側補助注入ライン (2B) A. B. C. ライン | 表面 | 7. 5% | 9 | PT | 7. 5% 1 | - | - | - | C 1 | - | - | - | - | - | - | |
| | | SIS低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. C. ライン | 表面 | 7. 5% | 9 | PT | 7. 5% 1 | - | - | - | - | - | - | A 1 | - | - | - | |
| 05.30 | C-F | 配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手) | 表面 | 7. 5% | 3 5 | PT | 7. 5% 3 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | - | - | - | - | |
| | | SIS高温側補助注入ライン (2B) A. B. C. ライン | 表面 | 7. 5% | 1 8 | PT | 7. 5% 2 | A 1 | - | - | - | - | - | B 1 | - | - | - | |
| | | SIS低温側補助注入ライン (2B) A. B. C. ライン | 表面 | 7. 5% | 9 | PT | 7. 5% 1 | - | - | - | C 1 | - | - | - | - | - | - | |
| 05.41 | C-F | SIS低温側ほう酸注入ライン (2B) A. B. C. ライン | 表面 | 7. 5% | 9 | PT | 7. 5% 1 | - | - | - | - | - | - | A 1 | - | - | - | |
| | | 配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50mmをAを超える、母管と管台及び母管と接管) | 表面 | 7. 5% | 充てん／高压注入ポンプ出ロライン (3B) | 表面 | 7. 5% | 1 | PT | 7. 5% 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 補助注入ライン (3B) | 表面 | 7. 5% | 充てん／高压注入ポンプ出ロライン (3B) | 表面 | 7. 5% | 1 | PT | 7. 5% 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - |

※1: JRA文書「発電用原子力設備規格(2008年版)」の改正版(令和元年6月5日原規第130605号)の改正版(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
②事業者意見の提出にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、「原子炉压力容器の文書改訂」という。別表-2(4/17)の施行及び公開会合「(原子炉压力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事項」に開示する。

2. 配管 (4/5)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|--|------|-----------|-----|------|-----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|---------------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| F1.21 | F-A | 支持構造物 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A、Bライン | VT-3 | 7.5% | 5.2 | VT-3 | 7.4 | A1 | | | | | | | | | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A、Bライン | VT-3 | 7.5% | 8.0 | VT-3 | 7.6 | A1 B1 | | | | | | | A1 B1 | - | |
| | | SIS高溫側低圧注入ライン Aライン | VT-3 | 7.5% | 2.0 | VT-3 | 7.2 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cライン | VT-3 | 7.5% | 4.6 | VT-3 | 7.4 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 補助注入ライン | VT-3 | 7.5% | 2.3 | VT-3 | 7.2 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 充てん／高圧注入ポンプ出ロライン | VT-3 | 7.5% | 2.7 | VT-3 | 7.3 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 充てん／高圧注入ポンプ出ロライン | VT-3 | 7.5% | 2.3 | VT-3 | 7.2 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 格納容器再循環サンプ出ロライン A、Bライン | VT-3 | 7.5% | 1.6 | VT-3 | 7.2 | | | | | | | | | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | ※1：JR文書「東京電力原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす危険その他の欠陥の解消」(令和元年6月5日原規技発第100605号)の改正版(以下、角型解説JR文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度中の計画変更を適用する。 | | | | | | | | | | | | | | | |

2. 配管 (5/5)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1 | | 高浜発電所 第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|--------------------------------|----------------------|------|-----------|------|------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|--------------------|-------|-----------|-----------|--------------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 |
| F1.21 | F-A | 支持構造物 | | | | | | 第23保全サイクル | — | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | — | 第27保全サイクル | 第28保全サイクル | 第29保全サイクル | |
| | S1S高温側補助注入管 A, B, C, 共通ライン | VT-3 | 7.5% | 8.3 | VT-3 | 7.5% | C1 | — | 共通1 | | | | | | | | |
| | S1S低温側補助注入管 A, B, C, 共通ライン | VT-3 | 7.5% | 5.6 | VT-3 | 7.5% | — | A1 | | | | 共通2 | — | C1 | 共通2 | | |
| | S1S低溫側主注入管 A, B, C, 共通ライン | VT-3 | 7.5% | 5.9 | VT-3 | 7.5% | — | A1 | | | | A ¹ 共通1 | — | 共通1 | A1 | | |
| | S1S低溫側主酸素注入管 A, B, C, 共通ライン | VT-3 | 7.5% | 5.9 | VT-3 | 7.5% | — | A1 | | | | A ¹ 共通1 | — | A1 | A1 | (重大事故クラス2機器) | |

※1: NPA文書「公用発電用原子炉及びその他の施設における破壊を引き起すと想定される場合」(令和元年6月5日原題改訂906051号)の改正版(以下、単純解説NPA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。)

| 3 金熱除去ポンプ(1/1) | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|----------------|-------|---------------------|---------|---------|------|-----------|--------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリー | 検査対象箇所 | 検査方法 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| G.10 | G-G | ケーシングの溶接継手 | 表面 | 1台の7.5% | 4 | P T | 1台の7.5% 1 | A 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| F1.43 | F-A | ポンプの台板脚 | V T - 3 | 1台の1.5% | 4 | V T - 3 | 1台の1.5% 1 | - | - | - | A 1 | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) |

※1：NPA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起すに至る会合」(令和元年6月5日原規改第190605号)の改正版(以下、電製解説R&A文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

4. 井(1-2)

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|-------|---|-------------------------|------|-------------------|-----|------|-------------------|-----------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|---------------|-------|
| 項目番号 | カテゴリー | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び精度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び精度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| F-A | 支持構造物 | 余熱除去ポンプアロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 3V-RH-041A 1 | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 2 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 2 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 2 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 2 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 2 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| | | 余熱除去ポンプ出ロライン A, Cライン | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 2 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |
| S-I-S | S-I-S高温側補助注入ライン 3V-SI-004 3V-SI-010 3V-SI-030 3V-SI-033 | 3V-SI-082 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 8 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 3V-SI-101 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 3V-SI-094 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 3V-SI-002 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| | | 3V-SI-042A | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | (重大事故等クラス2機器) | |

※1：NPA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす危険その他の危険の認定」(令和元年6月5日原題社奏第906051号)の改正版(以下、兼製解説NPA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験工程等)新規制要件に関する事業者意見の聴取(2019年度中の計画変更)」を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2017/2013/2014を適用する。

4. 井(2-2)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所 第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|-------|----------------------|--|-------------------|-----|------|-------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリー | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 |
| F1.43 | F-A | 支持構造物 | S I S 高温制低圧注入ライン Aライン 3V-SI-206 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 1 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | | 光てん／高压注入ポンプ出ロライン 3V-SI-023A 3V-SI-023B | 類似弁ごとに1台の 7.5% | 4 | VT-3 | 類似弁ごとに1台の 7.5% | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| ※1：NRA文書「商用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす壊取その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第90605号)の改正版(以下、電製解釈RNA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見その他の議題」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

5. クラス2機器漏えい検査 (1/8)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | |
|------------------------------|--------------------|---------------------|-------|---------------------|----------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|---------------|-------|-------|-------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライイン名稱 | 検査方法 | 運転圧力又は最高使用圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| C710 C730 C770 | 化学体積制御系統 | | | | 第2保全サイクル | - | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - | - | |
| C710 C730 C770 | A-先てん／高压注入ポンプ出ロライン | VT-2 | 0.11 | 0.11 | VT-2 | | | | | | | ○ | - | - | 一部又は全部を気圧により検査 (3-1) |
| C730 C750 C770 | B-先てん／高压注入ポンプ出ロライン | VT-2 | 17.6 | 17.6 | VT-2 | | | | - | ○ | | | - | - | (3-2) |
| C710 C730 C770 | 抽出ライン(1) | VT-2 | 15.41 | 15.41 | VT-2 | | | ○ | - | | | | - | - | (3-3) |
| C710 C730 C770 | 抽出ライン(2) | VT-2 | 2.16 | 2.16 | VT-2 | | | ○ | - | | | | - | - | (3-4) |
| C730 C770 | 抽出ライン(3) | VT-2 | 0.46 | 0.46 | VT-2 | | | - | | ○ | | | - | - | (3-5) |
| C710 C730 C770 | 封水渠ライン(PEN#2.17) | VT-2 | 0.20 | 0.20 | VT-2 | | ○ | - | | | | | - | - | (3-6) |
| C710 C730 C770 | 体積制御タンク入ロライン | VT-2 | 0.19 | 0.19 | VT-2 | | ○ | - | | | | | - | - | (3-7) |
| C730 C750 C770 | ほう酸タンク出入口ライン | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | ○ | | | | | | | - | - | (3-8) |
| C710 C730 C750 C770 | ほう酸ポンプ出ロライン | VT-2 | 0.71 | 0.71 | VT-2 | | | - | | | | ○ | - | - | (3-9) |

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす危険その他の欠陥の修復」(令和元年6月5日原規技第1906051号)の改正版(以下、亜裂解新NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年3月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(2/8)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | |
|---|------|----------------------------------|------|-------------------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名稱 | 検査方法 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 余熱除去系統 | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | G-H | A-余熱除去ポンプ入ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン | VT-2 | 2.75 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | G-H | A-余熱除去ポンプ出ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン | VT-2 | 3.56 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| | | 燃料取替用水系統 | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | G-H | 燃料取替用水タンク出ロライン | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | ○ | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | G-H | 燃料取替用水タンク原子炉キャビティ連絡ライン(FEN#222) | VT-2 | 0.14 | 0.14 | VT-2 | ○ | | | | | | | | |

※1 NRA文書「常用器用原子炉及びその附属施設における破損二寸割裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規委第19060501号)の改正版(以下、危険解説NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会議「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会議」(令和元年3月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。)

5. クラス2機器漏えい検査(3/8)

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | (漏えい区分) | | | | |
|-------------------------|------|--|------|-------------------------|-------------|--------------|--------------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|--------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 サイクル | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | | | | | | 第2保全 サイクル | 第23保全 サイクル | - | 第24保全 サイクル | - | 第25保全 サイクル | - | 第26保全 サイクル | - | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | O-H | 蓄圧タンク及び出入ロライン ほう酸注入タンク及び出入ロライン | VT-2 | 4.22 | 4.22 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | | 蓄圧タンク注入ライン(PEN#216) 蓄圧タンクテストライン(PEN#227) | VT-2 | 4.40 | 4.40 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-17) |
| C7.30 C7.70 | O-H | 充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2) 充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(3) | VT-2 | 8.00 | 8.00 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-16) |
| | | 充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4) 充てん／高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4) | VT-2 | 8.00 | 8.00 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-19) |
| | | 格納容器再循環サブ出口ライン(余熱除去ポンプ側) | VT-2 | 4.91kPa | 4.91kPa | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-20) |
| | | 格納容器スプレイ系系統 | | | | | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-21) |
| C7.10 C7.30 C7.70 | O-H | よう素除去タンク及び出入ロライン | VT-2 | 34.4kPa | 34.4kPa | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-23) |
| C7.30 C7.70 | O-H | よう素除去タンク出ロライン | VT-2 | 34.4kPa | 34.4kPa | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-23) |
| C7.30 C7.50 C7.70 | O-H | A-格納容器スプレイポンプ出ロライン | VT-2 | 0.36 | 0.36 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-24) |
| C7.10 C7.30 C7.70 | O-H | B-格納容器スプレイポンプ出ロライン | VT-2 | 0.36 | 0.36 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-25) |
| C7.10 C7.30 C7.70 | O-H | A-格納容器スプレイポンプ出ロライン | VT-2 | 1.97 | 1.97 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-26) |
| | | B-格納容器スプレイポンプ出ロライン | VT-2 | 1.97 | 1.97 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-27) |
| C7.30 C7.70 | O-H | 格納容器スプレイポンプ出ロライン | VT-2 | 1.64 | 1.64 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-28) |
| | | 格納容器再循環サブ出口ライン(格納容器スプレイポンプ側) | VT-2 | 4.91kPa | 4.91kPa | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-29) |

※1 NRA文書「運用発電用原子炉及びその附属施設における改修を引き起こす構造その他の欠陥の解消」(令和元年6月5日原規技第1906051号)の改正版(以下、『解消新NRA文書改訂』といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 ISME S M1-2012/2013/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(4/8)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSMIE S MAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | (漏えい区分) | | | | | |
|--|------|---|--------------|-------------------------|-------------------------|--------------|--------|-------|-------|-------|-------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|----------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | |
| | | 主給水系統 | | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C7.70 | C-H | A-蒸気発生器給水入口ライン B-蒸気発生器給水入口ライン | VT-2 VT-2 | 5.30 5.30 | 5.30 5.30 | VT-2 VT-2 | | | | | - | 第2保全 サイクル | 第23保全 サイクル | 第24保全 サイクル | 第25保全 サイクル | 第26保全 サイクル | - |
| | | 主蒸気系統 | | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | A-蒸気発生器出口ライン B-蒸気発生器出口ライン | VT-2 VT-2 | 5.30 5.30 | 5.30 5.30 | VT-2 VT-2 | | | | | - | ○ | ○ | ○ | ○ | - | (3-30) |
| | | 1次系補給水系統 | | | | | | | | | | | | | | | (3-31) |
| C7.30 C7.70 | C-H | 加圧器送がしタンクPWNW供給ライン(PEN#279) 1次系補給水ライン(PEN#268) | VT-2 VT-2 | 0.80 0.60 | 0.80 0.60 | VT-2 VT-2 | ○ ○ | | | | | | | | | | (3-34) |
| | | 廃棄物処理系統 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 蓄圧タンク窒素充てんライン(PEN#218) | VT-2 | 4.40 | 4.40 | VT-2 | ○ | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 格納容器冷却材ドレンポンプ出ロライン(PEN#225) 格納容器シップポンプ出ロライン(PEN#234) | VT-2 VT-2 | 0.70 0.15 | 0.70 0.15 | VT-2 VT-2 | ○ ○ | | | | | | | | | | (3-42) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 一部又は全部を気圧により検査 |
| C7.30 C7.70 | C-H | | | | | | | | | | | | | | | | (3-38) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | (3-86) |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※1-NRA文書「常用弁器具用原子炉及びその附属施設における確認その他の欠陥の解消」(令和元年6月5日原規技登第1906051号)の改正版(以下、魚鱗解新NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度より維持規格JSMIE S MAI-2012/2014を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(5/8)

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | (漏えい区分) | | | | |
|--|-----------------|--|------|-------------------------|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|----------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライセンス | 検査方法 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| C730 C770 C-H | 蒸気発生器プローダウンシステム | A-蒸気発生器プローダウンライン(PEN#319) | VT-2 | 4.80 | 4.80 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | (3-45-1) | |
| | | B-蒸気発生器プローダウンライン(PEN#318) | VT-2 | 4.80 | 4.80 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | (3-45-2) | |
| | | C-蒸気発生器プローダウンライン(PEN#317) | VT-2 | 4.80 | 4.80 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | (3-45-3) | |
| C730 C770 C-H | 試料採取系統 | A-蒸気発生器プローダウンサンブルライン(PEN#259L) | VT-2 | 4.80 | 4.80 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | (3-46-1) | |
| | | B-蒸気発生器プローダウンサンブルライン(PEN#259M) | VT-2 | 4.80 | 4.80 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-46-2) | |
| | | C-蒸気発生器プローダウンサンブルライン(PEN#259R) | VT-2 | 4.80 | 4.80 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-46-3) | |
| C730 C770 C-H | 加圧器部品 | 加圧器部品サンブルライン(PEN#231R) | VT-2 | 15.41 | 15.41 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-60) | |
| | | 加圧器部品サンブルライン(Bループ高温側サンブルライン)(PEN#231M) | VT-2 | 15.41 | 15.41 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-61) | |
| | | ALループ高温側サンブルライン(PEN#235) | VT-2 | 15.41 | 15.41 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-64) | |
| ※1-NRA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起す寸法の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規発第1906051号)の改正版(以下、電気炉NRA文書改正という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度中の計画変更を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013-2014を適用する。 | | 耐圧タンクサンブルライン(PEN#231L) | VT-2 | 4.40 | 4.40 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-15) | |

5. クラス2機器漏えい検査(6/8)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JISME S MAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | |
|--|-------|---------------------------------|------|-------------------------|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|--------|--------|
| 項目番号 | カテゴリー | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 原子炉補機冷却水系統 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン(PEN#313) | VT-2 | 0.60 | 0.60 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| | | CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン(PEN#314) | VT-2 | 0.07 | 0.07 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| | | RCP冷却水入ロライン(PEN#312) | VT-2 | 0.50 | 0.50 | VT-2 | ○ | - | - | - | ○ | - | - | - | (3-56) | (3-57) |
| | | RCP冷却水出ロライン(PEN#311) | VT-2 | 0.07 | 0.07 | VT-2 | ○ | - | - | - | ○ | - | - | - | (3-58) | (3-59) |
| | | A・B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#255) | VT-2 | 0.60 | 0.60 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-87) |
| | | A-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#256) | VT-2 | 0.50 | 0.50 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-88) |
| C730 G770 | G-H | B-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#257) | VT-2 | 0.50 | 0.50 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-89) |
| | | C-D-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#229) | VT-2 | 0.60 | 0.60 | VT-2 | | | | | | | | | | (3-90) |
| | | C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#230) | VT-2 | 0.50 | 0.50 | VT-2 | | | | | | | | | | (3-91) |
| | | D-C/H再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#232) | VT-2 | 0.50 | 0.50 | VT-2 | ○ | - | - | - | ○ | - | - | - | - | (3-92) |
| | | DRP1室冷却ユニット冷却水入ロライン(PEN#274) | VT-2 | 0.25 | 0.25 | VT-2 | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-93) |
| | | DRP1室冷却ユニット冷却水出ロライン(PEN#275) | VT-2 | 0.25 | 0.25 | VT-2 | | | | | | | ○ | - | - | (3-94) |

※1 NRA文書「運用管理用原子炉及びその附属施設における確認その他の取扱い(令和元年6月5日原規技第1906051号)」の改正版(以下、魚刺解説NRA文書改訂という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年6月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年1月1日より維持規格 JISME S MAI-2012/2013を適用する。

5. クラス2機器漏えい検査(7/8)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JISME S NAI-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | | |
|--|--------------------------------|------------------|---------------------|-------------------------|-------------|------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------|--|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | | |
| | | | | | | | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | | | |
| C730 C770 C-H | 空気系統 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 制御用空気ライン／(PEN#260) | | | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | ○ | | | - | | | | - | - | | |
| | 制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262) | | | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | ○ | | | - | | | | - | - | | |
| | 制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284) | | | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | ○ | | | - | | | | - | - | | |
| C730 C770 C-H | 所内用空気供給ライン(PEN#265) | | | VT-2 | 0.71 | 0.71 | VT-2 | ○ | | | - | | | | - | - | | |
| | 消火水系統 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 消火水管線(PEN#271) | | | VT-2 | 1.30 | 1.30 | VT-2 | ○ | | | - | | | | - | (3-78) | | |
| | 放散ガス系統 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| C730 C770 C-H | CO2消火ライン(PEN#316) | | | VT-2 | 4.40 | 4.40 | VT-2 | ○ | | | - | ○ | | | - | - | | |

※1 NRA文書「電力用原子炉及びその附属施設における確認記録の改訂」(令和元年6月5日原題)第1906051号の改正版(以下、魚刺解説NRA文書改訂といふ。)の施行及び公團会「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度中の計画変更)を適用する。

3. クラス2機器漏えい検査(8/8)

| 発電用原子力設備規格 植持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | | | (漏えい区分) 備考 | | |
|---|-------------|--------------------------|-------------------------|-------------|-----------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-----------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査方法 漏えい検査範囲 ライン名称 | 運転圧力又は 最高使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 第23保全 サイクル | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | |
| C7.30 C-H C7.70 | 化学体積制御系統 | VT-2 | 17.76 | 17.76 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 第27保全 サイクル サイクル |
| C7.30 C-H C7.70 | 安全注入系統 | VT-2 | 8.00 | 8.00 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-4) |
| C7.10 C7.30 C7.70 | 主給水系統 | VT-2 | 5.30 | 5.30 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-18) |
| C7.30 C-H C7.70 | 主蒸気系統 | VT-2 | 5.30 | 5.30 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | (3-32) |
| C7.30 C-H C7.70 | 主蒸気発生器出ロライン | VT-2 | 5.30 | 5.30 | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |

※1-NRA文書「運用経験用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす危険その他の欠陥の解消」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「亀裂解消NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に則する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2014を適用する。

クラス3機器供用期間中検査

1.余熱除去冷却器(胴側) (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|------------|------------|---------------------|-----|------------|-------------|-------|-------|---------------|---------------|-------|-------|---------------|-------|---------------|---------------|----|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 | 2031年 | 2032年 | 備考 | |
| D1.10 | D-A | 脛と当板との溶接継手 | VT-3 ※2 | 1基の 7.5% | 4 | VT-3 ※2 | 1基の 7.5% | - | - | 第27保全 サイクル | 第28保全 サイクル | - | - | 第29保全 サイクル | - | 第30保全 サイクル | 第31保全 サイクル | - | |
| F1.44 | F-A | 支持脚 | VT-3 | 1基の 7.5% | 4 | VT-3 1 | 1基の 7.5% | - | A1 | - | - | A1 | - | - | - | - | - | - | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の次階の解釈」(令和元年6月5日原規技秘第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉)压力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

2.格納容器スプレイ冷却器(胴側) (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|------------|------------|---------------------|-----|------------|-------------|-------|-------|---------------|---------------|-------|-------|---------------|-------|---------------|---------------|----|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 | 2031年 | 2032年 | 備考 | |
| D1.10 | D-A | 脛と当板との溶接継手 | VT-3 ※2 | 1基の 7.5% | 4 | VT-3 ※2 | 1基の 7.5% | - | - | 第26保全 サイクル | 第27保全 サイクル | - | - | 第28保全 サイクル | - | 第29保全 サイクル | 第30保全 サイクル | - | |
| F1.44 | F-A | 支持脚 | VT-3 | 1基の 7.5% | 4 | VT-3 | 1基の 7.5% | - | - | A1 | - | A1 | - | - | - | - | - | - | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の次階の解釈」(令和元年6月5日原規技秘第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉)压力容器の溶接継手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

3.原子炉補機台形水冷却器 (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | | | | | | | | |
|---|------|------------|------------|-----------------|-----|------------|--------------|-----|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 備考 |
| D1.10 | D-A | 脳と当板との溶接継手 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 7.5% | 8 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 1 | - | 第27保全 サイクル |
| F1.44 | F-A | 支持脚 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 7.5% | 8 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 1 | - | A1 |

※1：NRA文書「実用絶電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技秘第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の應取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

4.非常用ディーゼル発電機水冷却器 (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | | | | | | | | |
|---|------|-------------|------------|-----------------|-----|------------|--------------|-----|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 備考 |
| D1.10 | D-A | 脳と補強板との溶接継手 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 7.5% | 4 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 1 | - | 第27保全 サイクル |
| F1.44 | F-A | 取付脚 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 7.5% | 4 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 1 | - | A1 |

※1：NRA文書「実用絶電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技秘第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の應取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

5.非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | | | | | | | | |
|---|------|-------------|------------|-----------------|-----|------------|--------------|-----|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 備考 |
| D1.10 | D-A | 脳と補強板との溶接継手 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 7.5% | 4 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 1 | - | 第27保全 サイクル |
| F1.44 | F-A | 取付脚 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 7.5% | 4 | VT-3 ※2 | 1基の7.5% 1 | - | A1 |

※1：NRA文書「実用絶電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技秘第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の應取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

※2：2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、VT-3はVT-1と読み替える。

6. 配管 (1/1)

※※※：NRA文書「実用発明等における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」（令和元年6月5日原規技術第1906051号）の改正版（以下、「亀裂解説NRA文書改正」という。）の施行及び公開会合「（原子炉力容器等の施設における亀裂等の原因と対応策）」（令和元年6月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 TSME S-N-12-2012/2013、2014を適用する。

7.原子炉補機台柱水ポンプ (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画 (10ヵ年) | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|------|--------|----------------------|-------------|-----|------|-------------|---------------|-------|---------------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|---------------|---------------|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 | 2031年 | 2032年 | 備考 |
| F1.31 | F-A | ポンプ台板脚 | VT-3 | 1台の 7.5% | 20 | VT-3 | 1台の 7.5% | 第26保全 サイクル | — | 第27保全 サイクル | 第28保全 サイクル | — | 第29保全 サイクル | — | 第30保全 サイクル | 第31保全 サイクル | 第32保全 サイクル | — |

※1：NRA文書「実用送電用原子炉及びその附属施設における破裂引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」（令和元年6月5日原能技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解説NRA文書改正といふ。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

8.弁 (1/1)

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|--|--------------|-----------------------|-------------------|------------------|------------------|--------------------|-------|---------------|-------|---------------|-------|---------------|---------------------|---------------|-------|---------------|---|
| 項目番号 | カデゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 | 2031年 | 2032年 | 備考 | |
| | 支持構造物 | 原子炉補機冷却水系統 3TCV-2342A 3TCV-2342B 3TCV-2342C 3TCV-2342D | VT-3 7.5% | 4 1台の 7.5% 1 | VT-3 7.5% 1 | 1台の 7.5% 1 | 1台の 7.5% 1 | 第26保全 サイクル | － | 第27保全 サイクル | － | 第28保全 サイクル | － | 第29保全 サイクル | － | 第30保全 サイクル | － | 第31保全 サイクル | － |
| F1.31 | F-A | 原子炉補機冷却水系統 3V-CC-043 3V-CC-044 | VT-3 7.5% | 4 1台の 7.5% 1 | VT-3 7.5% 1 | 1台の 7.5% 1 | 1台の 7.5% 1 | 3V-CC -043 1 | － | － | － | － | － | － | 3TCV- 2342A 1 | － | － | | |

※1：NRA文書「常用電用原子炉及びその附属施設における破裂に対する対策その他の次回の解釈」(令和元年6月5日原燃技労第1906051号)の改正版(以下、重製幹部NRA文書改訂と表す。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

9クラス3機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008※1

高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年)

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | |
|-------|------|---------------------------|------|---------------------|-------------|----------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | 運転圧力又は最高使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方 法 | 2023年 第26保全 サイクル | 2024年 第27保全 サイクル | 2025年 第28保全 サイクル | 2026年 第29保全 サイクル | 2027年 第30保全 サイクル | 2028年 第31保全 サイクル | 2029年 第32保全 サイクル | 2030年 2031年 2032年 |
| | | 使用済燃料ビット冷却净化・燃料検査ビット水移送系統 | | | | | | | | | | | | |
| D2.30 | D-B | 使用済燃料ビットボンプ入ロライン | VT-2 | 0.10 | 0.10 | VT-2 | - | ○ | - | - | - | - | - | (4-1) |
| D2.10 | D-B | A-使用済燃料ビットボンプ出ロライン | VT-2 | 0.59 | 0.59 | VT-2 | - | ○ | - | - | - | - | - | (4-2) |
| D2.30 | D-B | B-使用済燃料ビットボンプ出ロライン | VT-2 | 0.59 | 0.59 | VT-2 | - | ○ | - | - | - | - | - | (4-3) |
| | | 原子炉補機冷却水系統 | | | | | | | | | | | | |
| | | A, B, C-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン | VT-2 | 0.31 | 0.31 | VT-2 | - | ○ | - | - | - | - | - | (4-4) |
| D2.10 | D-B | D, E-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン | VT-2 | 0.31 | 0.31 | VT-2 | - | ○ | - | - | - | - | - | (4-5) |
| D2.30 | D-B | 原子炉補機冷却水ポンプ出ロA供給ライン | VT-2 | 0.80 | 0.80 | VT-2 | - | | ○ | - | - | - | - | (4-6) |
| | | 原子炉補機冷却水ポンプ出ロB供給ライン | VT-2 | 0.80 | 0.80 | VT-2 | - | | ○ | - | - | - | - | (4-7) |
| | | 原子炉補機冷却海水系統 | | | | | | | | | | | | |
| | | A-海水ポンプ出ロライン | VT-2 | 0.18 | 0.18 | VT-2 | - | | ○ | - | - | - | - | (4-8) |
| D2.10 | D-B | B-海水ポンプ出ロライン | VT-2 | 0.18 | 0.18 | VT-2 | - | | ○ | - | - | - | - | (4-9) |
| D2.30 | D-B | C-海水ポンプ出ロライン | VT-2 | 0.18 | 0.18 | VT-2 | - | | ○ | - | - | - | - | (4-10) |

※1：NRA文書「実用發電用原子炉及びその附屬施設における破損を引き起す壊裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技第1906051号)の改正版(以下、「亀裂解説NRA文書改訂という。」)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の容接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

9クラス3機器漏えい検査 (2/2)

| 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | | | |
|---------------------|--------------------|------------------|------|---------------------|---------------------|------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名稱 | 検査方法 | 検査圧力又は最高使用圧力 MPa | 検査圧力又は最高使用圧力 MPa | 検査方法 | 2023年 第26保全 サイクル | 2024年 第27保全 サイクル | 2025年 第28保全 サイクル | 2026年 第29保全 サイクル | 2027年 第30保全 サイクル | 2028年 第31保全 サイクル | 2029年 第32保全 サイクル | 2030年 第33保全 サイクル | 2031年 第34保全 サイクル | 2032年 第35保全 サイクル |
| | | 制御用空気系統 | | | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | A-格納容器内制御用空気供給ライン | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | - | | | | | | | | | | |
| D2.30 | B-格納容器内制御用空気供給ライン | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | - | | | | | | | | | | |
| D-B | A-格納容器外制御用空気供給ライン | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | - | | | | | | | | | | |
| D-B | B-格納容器外制御用空気供給ライン | VT-2 | 0.66 | 0.66 | VT-2 | - | | | | | | | | | | |
| | ディーゼル発電機始動用空気系統 | | | | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | A-ディーゼル発電機始動用空気ライン | VT-2 | 2.65 | 2.65 | VT-2 | - | | | | | | | | | | |
| D2.30 | B-ディーゼル発電機始動用空気ライン | VT-2 | 2.65 | 2.65 | VT-2 | - | | | | | | | | | | |

※1：NRA文書「常用發電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす構造その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技術第1906051号)の改正版(以下「亀裂解説NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合(原子炉压力容器の容接接手の試験程度等)新規制要件に開する事業者意見の聴取にかかるる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス1機器Ni基合金使用部位特別検査

1. 原子炉容器(1／1)

| | | NRA文書※1,※2 | | | | | | | | | | 高浜発電所第3号機検査計画(7カ年) | | | | | | 備考 | |
|------|------|---|------|-----------|-----|------|------------|-------|-------|-------|-------|--------------------|-------|-------|--|--|---------------|----|--|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | | | | | |
| — | — | 600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。) | BMV | 100% | 50 | BMV | 100% 50 | 50 | — | | | | — | | | | | | |
| — | — | 底部表面(計測用管台) | BMV | 100% | 50 | BMV | 100% 50 | 50 | — | | | | — | | | | (重大事故等クラス2機器) | | |

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」(原規技第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))
 ※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技第1906051号)の改正版(以下、亀裂解説NRA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験手順等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より亀裂解説NRA文書改正を適用する。

供用期間中特別検査のうちクラス2管（原子炉格納容器内）特別検査

| NRA文書※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|---------|------|---------------|---------------------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 | 2029年 | 2030年 | 2031年 |
| | | 配管の耐圧部分の接続部手 | | | | | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | － | 第27保全サイクル | 第28保全サイクル | － | 第29保全サイクル | － | 第30保全サイクル | 第31保全サイクル |
| | | 抽出ライン(3B) | 体積 | 2.5% | 1.8 | UT | 2.5% | 5 | 1 | 1 | － | 1 | － | 1 | － | 2 |
| | | 充てんライン(3B) | 体積 | 2.5% | 6.5 | UT | 2.5% | 1.7 | 1 | 4 | － | 5 | － | 5 | － | 7 |
| | － | 再生熱交換器連絡管(3S) | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 抽出ライン連絡管 | 体積 | 2.5% | 1.2 | UT | 2.5% | 3 | 1 | － | 1 | － | 1 | － | 1 | |
| | | 充てんライン連絡管 | 体積 | 2.5% | 1.2 | UT | 2.5% | 3 | 1 | － | 1 | － | 1 | － | 1 | (重大事故等クラス2機器) |

※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第900051号)の改正版(以下、亀裂解説NRA文書改正といふ。)の施行を踏まえ、令和元年6月5日以降は、亀裂解説NRA文書改正を適用する。

原子炉格納容器供用期間中検査

1. 原子炉格納容器(1／2)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|---------------------|------|-----------|-----|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 |
| E8.10 | E-G | 機器搬入口圧力保持用ボルト締付け部 | VT-4 | 25% | 72 | VT-4 | 25% | 18 | 18 | - | - | - | - | - | - | - | - |

※1:NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の発生に起因する破裂の防止」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版以下、亀裂解説NRA文書改訂という。の施行及び公開会合(原子炉格納容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査範囲（クラス1機器供用期間中検査範囲）
1. 原子炉容器(1／2)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2009※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---|-------|--------------------------------|--------|---------------|------|-----|-----|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 体 積 | 体 積 | 体 積 | |
| B1.102 | B-A | 下部胴の長手溶接継手 | 体 積 | 可能範囲 各100% | | | | |
| | | 上部胴と下部胴との周溶接継手 | 体 積 | 5% ※2 | | | | |
| B2.111 | B-B | 下部胴とトランジションリングとの周溶接継手 | 体 積 | 5% ※2 | | | | |
| | | トランジションリングと下部鏡板との周溶接継手 | 体 積 | 5% ※2 | | | | |
| B3.105 | B-C | 上部胴と上部胴フランジとの溶接継手 | 体 積 | 可能範囲 各100% | | | | |
| B3.10 | B-D | 冷却材入口管台と胴との溶接継手 | 体 積 | 可能範囲 各100% | | | | |
| | | 冷却材出口管台と胴との溶接継手 | 体 積 | 可能範囲 各100% | | | | |
| B3.20 | B-D | 冷却材入口管台内面の丸みの部分 | 体 積 | 可能範囲 各100% | | | | |
| | | 冷却材出口管台内面の丸みの部分 | 体 積 | 可能範囲 各100% | | | | |
| B5.10 | B-E | 冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上) | 体積及び表面 | 可能範囲 各100% | | | | |
| | | 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100A以上) | 体積及び表面 | 可能範囲 各100% | | | | |
| B6.10 | B-G-1 | ナット | | VT-1 | 100% | | | |
| B6.30 | B-G-1 | スタッドボルト | | | 100% | | | |
| B6.40 | B-G-1 | 胴フランジネジ穴のネジ部 | 体 積 | 100% | | | | |
| B6.50 | B-G-1 | ワッシャ | | VT-1 | 100% | | | |
| B7.10 | B-G-2 | マーマンカッブリング | VT-1 | 25% | | | | |

※1：NRA文書「東用発電用原子炉及びその附屬施設における破損を引き起こす壊滅その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「電制解説NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接着の試験程度等)新規制要件に觸する事業者意見の聽取(令和元年8月5日)」の結果(2013年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。
※2：2020年1月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用し、「5%」は「可能範囲100%」と読み替える。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NAI-2009※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|--|-------|--|------------|------------------------------|--|--|--|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲 及び程度 | | | | |
| G1.10 | G-P-1 | 容器内部 | VT-3 | 全範囲の 7.5% 各検査周期毎 ※2 | | | | |
| G1.40 | G-P-1 | 上部炉心支持構造物の内部取付け物 | VT-3 | 全範囲の 7.5% | | | | |
| | | 下部炉心支持構造物の内部取付け物 | VT-3 | 全範囲の 7.5% | | | | |
| | | 炉心内部取付け物 | VT-3 | 全範囲の 7.5% | | | | |
| | | 上部炉心支持構造物 | VT-3 | 全範囲の 7.5% | | | | |
| G1.50 | G-P-2 | 下部炉心支持構造物 | VT-3 | 全範囲の 7.5% | | | | |
| B14.10 | B-0 | 制御機駆動ハウジングの溶接継手 (上部) 制御機駆動ハウジングの溶接継手 (下部) | 体積又は 表面 | 最外周の 2.5% | | | | |
| B15.10 | B-P | 圧力保持範囲 | VT-2 | 可能範囲 100% | | | | |
| F1.41 | F-A | 支持構造物 (サポートブレケット、 サポートシュー、 サポートボルト) | VT-3 | 2.5% | | | | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす重複その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原発技発第190605号)の改正版(以下、「破裂解説RIR文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験
精度等)新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。
※2：2020年1月1日より維持維持 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用し、「全検査周期毎」は「全範囲の7.5%」と読み替える。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器(1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NAI-2008※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---|-------|--------------------------------|------|---------------|----|------|--------------|------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 体積 | 体積 | 体積 | |
| B2.11 | B-B | 上部胴と上部鏡板との周縫手 | | | | 5% | | |
| | | 下部胴と下部鏡板との周縫手 | | | | 5% | | |
| B2.12 | B-B | 上部胴の長手縫手 | | | | 各10% | | |
| | | 下部胴の長手縫手 | | | | 各10% | | |
| B2.13 | B-B | 上部胴と下部胴との周縫手 | | | | 5% | | |
| B3.30 | B-D | 管合と容器との溶接継手 | | | | 25% | | |
| B3.40 | B-D | 管合内面の丸みの部分 | | | | 25% | | |
| | | 管合とセーフエンドの溶接継手 (呼び径100A以上) | | | | | | クラス1機器供用期間中検査で管理 |
| B5.40 | B-F | 加圧器逃がし弁管合 | | | | | | |
| | | 加圧器安全弁管合 | | | | | | |
| | | 加圧器スプレイ管合 | | | | | | |
| | | 加圧器サーチージ管合 | | | | | | |
| B7.20 | B-G-2 | マンホールの取付けボルト | | | | VT-1 | 25% | |
| B8.20 | B-H | 支持部材の容器への取付け溶接継手 (スカート溶接継手) | | | | 表面 | 7.5% | |
| B15.20 | B-P | 圧力保持範囲 | | | | VT-2 | 可能範囲 100% | |
| F1.41 | F-A | 支持構造物(スカート、基礎ボルト) | | | | VT-3 | 25% | |

※1: JMA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「破裂解説JMA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験
精度等)新規要件に関する事業者意見の聴取にかかる会議」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）
3. 蒸気発生器(1/1)

| 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---------------|-------|--|------------|--------------|
| 項目番号 | カテゴリー | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 |
| B2. 40 | B-B | 管板と水室鏡との溶接継手 | 体 積 | 1基の 25% |
| B3. 60 | B-D | 冷却材入口管台の内面の丸みの部分、 冷却材出口管台の内面の丸みの部分 | 体 積 | 1基の 25% |
| B5. 70 | B-F | 冷却材入口管台ヒサーフエンドの溶接継 手、冷却材出口管台ヒサーフエンドの溶接継 手(呼び径100A以上) | 体積及び 表面 | 1基の 25% |
| B7. 30 | B-G-2 | 1次側マンホールの取付けボルト | V T - 1 | 1基の 25% |
| B15. 30 | B-P | 圧力保持範囲 | V T - 2 | 可能範囲 100% |
| F1. 41 | F-A | 支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ボル ト) | V T - 3 | 1基の 25% |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす壊損その他の文書の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改訂版(以下、「壊損解説NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接着の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(1/3)

| 項目番号 | カテゴリー | 検査対象箇所 (呼び径100A以上) | 高浜発電所第3号機検査計画 | | 備考 |
|-------|-------|--|---------------|---------------|----|
| | | | 検査方法 | 検査の範囲 及び程度 | |
| B9.11 | E-J | 配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上) | | | |
| | | 1次冷却材管 (27.5INID, 836, 00mm, 29 INID, 31 INID) A. B. Cループ | 体 積 | 25% | |
| | | 加圧器サージ管 (14#, 355, 60mm) | 体 積 | 25% | |
| | | 加圧器安全弁ライン (6B) | 体 積 | 25% | |
| | | A. B. Cライン 加圧器逃がし弁ライン (6B) | 体 積 | 25% | |
| | | 余熱除去ポンプ入ロライン (12B) | 体 積 | 25% | |
| | | B. Cループ | | | |
| | | S1 S蓄圧主入ライン (12#, 318, 50mm) | 体 積 | 25% | |
| | | A. B. Cループ | | | |
| | | S1 S低温側低圧主入ライン (6B) | 体 積 | 25% | |
| B9.21 | E-J | 配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満) | | | |
| | | 加圧器逃がし弁ライン (3B) | 表 面 | 25% | |
| | | 余熱除去ポンプ入ロライン (1 1/4B) | 表 面 | 25% | |
| | | B. Cループ C.V.C.S.洗てんライン (3B, 89, 10mm) Bループ | 表 面 | 25% | |

※1: NRA文書「実用発電用原子炉規格・維持規格(2008年改訂版) JSME S NA1-2008※1」
 試験程度等 新規制要件に関する「その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、亀裂解釈R&W文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に關する事業者意見の公募(令和元年8月5日)」の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査範囲(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管(2/3)

| 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---------------|------|---|------|-----------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 |
| B9.21 | B-J | 配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A未満) | | |
| | | S1S低温刷毛酸注入ライン (2B, 60, 50mm) A. B. Cループ | 表面 | 25% |
| B9.31 | B-J | 母管と管台との溶接継手 (呼び径100A以上) | | |
| | | 1次冷却材管 (4B, 12B, 14B) A. B. Cループ | 体積 | 25% |
| | | 母管と管台との溶接継手 (呼び径100A未満) | | |
| | | 1次冷却材管 (2B, 3B, 63, 50mm) A. B. Cループ | 表面 | 25% |
| B9.32 | B-J | 余熱除去ポンプ入ロライン (1 1/4B) B. Cループ | | |
| | | S1S低温刷毛注入ライン (2B) A. B. Cループ | 表面 | 25% |
| | | ソケット溶接継手 | | |
| B9.40 | B-J | S1S低温刷毛酸注入ライン (2B) A. B. Cループ | 表面 | 25% |

※1：NRA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における取扱い規則の解説」(令和元年6月5日原発発第906051号)の改正版(以下、重製解説R文書改訂という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接継手の試験程度等、新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

4. 配管(3/3)

| 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---------------|------|------------------------------|-------|--------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 |
| B15.50 | B-P | 圧力保持範囲 | V T-2 | 可能範囲 100% |
| F1.10 | F-A | 支持構造物 | | |
| | | 加圧器サーボ管 | V T-3 | 2.5% |
| | | 加圧器逃がし弁ライン | V T-3 | 2.5% |
| | | 余熱除去ポンプ入ロライン B. Cループ | V T-3 | 2.5% |
| | | CVC-S充てんライン Bループ | V T-3 | 2.5% |
| | | S1S蓄圧注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% |
| | | S1S低温制低圧注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% |
| | | S1S低温制ほう酸注入ライン A. B. Cループ | V T-3 | 2.5% |
| | | | | |
| | | | | |

※1: NRA文書「実用発電用原子炉等における破裂その他の欠陥の解説」（令和元年6月5日原規技発第1906051号）の改正版（以下、亀裂解説RRA文書改訂という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接合の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

| 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---------------|-------|--------------------------|------|----------------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 |
| B6.180 | B-G-1 | スタッドボルト | 体積 | 1台の25% |
| B6.190 | B-G-1 | フランジ表面 | VT-1 | 1台の25% |
| B6.200 | B-G-1 | ナット ワッシャ | VT-1 | 1台の25% クラス1機器供用期間中検査で管理 |
| B12.20 | B-L-2 | ケーシングの内表面 | VT-3 | 1 ポンプ分解点検時に実施 |
| B15.60 | B-P | 圧力保持範囲 | VT-2 | 可能範囲 100% |
| F1.41 | F-A | 支持構造物（支持脚、ベースプレート、基礎ボルト） | VT-3 | 1台の25% |

※1：NRA文書「運用検査用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす壊滅的故障の改正版（令和元年6月5日原規技委第1906051号）の改正版（以下、「新規制要件」）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年度中の計画変更を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 弁(1/2)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NAI-2008※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | 備考 |
|---|------|--|---------|------------------|--|--|--|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | | | |
| B7.70 B-6-2 | | 圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下) | | | | | | |
| | | 加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RC-055 3V-RC-056 3V-RC-057 | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | 加圧器逃がし弁ライン 3V-RC-054A 3V-RC-054B 3V-RC-054C | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | 3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | C V C S 烈んちゃんライン ブルーブ 3V-CS-233 | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン B, Cループ 3PCV-420 3PVN-430 | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | 3V-RH-003A 3V-RH-003B | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | S I S 蓄圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | S I S 低温側低圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C | V T - 1 | 類似弁ごとに 1台の25% | | | | |
| | | | | | | | | |

※1: NRA文書「東用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の次陥の解説」(令和元年6月5日原規技委第1906051号)の改正版(以下、重裂解説NRA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の接接着手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度中の計画変更を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器供用期間中検査範囲）

6. 井(2/2) 美通用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S NA-2008-1

6. 井(2)/2

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MA1-2008※1

| 高浜発電所第3号機検査計画 | | | | | | 備考 |
|---------------|-------|---|------|------------------|--|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | |
| B12.50 | B-M-2 | 弁本体の内表面 | | | | |
| | | 加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RG-055 3V-RG-056 3V-RG-057 | VT-3 | 類似弁ごとに 1 | | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430 | VT-3 | 類似弁ごとに 1 | | |
| | | SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-134A, 136A 3V-SI-134B, 136B 3V-SI-134C, 136C | VT-3 | 類似弁ごとに 1 | | |
| | | SIS低温制低圧注入ライン A, B, Cループ 3V-SI-202A, 203A 3V-SI-202B, 203B 3V-SI-202C, 203C | VT-3 | 類似弁ごとに 1 | | |
| B15.70 | B-P | 圧力保持範囲 | VT-2 | 可能範囲 100% | | |
| | | 支持構造物 | | | | |
| F1.41 | F-A | 加圧器安全弁ライン A, B, Cライン 3V-RG-055 3V-RG-056 3V-RG-057 | VT-3 | 類似弁ごとに 1台の25% | | |
| | | 加圧器過がし弁ライン 3V-RG-054A 3V-RG-054B 3V-RG-054C 3PCV-455A 3PCV-455B 3PCV-454C | VT-3 | 類似弁ごとに 1台の25% | | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン B, Cループ 3PCV-420 3PCV-430 | VT-3 | 類似弁ごとに 1台の25% | | |
| | | 3V-RH-003A 3V-RH-003B | VT-3 | 類似弁ごとに 1台の25% | | |

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス1機器N；基合金使用部位特別検査範囲）

1. 原子炉容器 (1/1)

| NRA文書※1,※2 | | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | 備考 |
|------------|------|--|------|-----------|------------------------|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | |
| — | — | 600系Ni基合金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基合金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°。を含む。) | EMI | 100% | クラス1機器N；基合金使用部位特別検査で管理 | |

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす電気起電力の解説」（原規技発第1408063号（平成26年9月6日原子力規制委員会決定））
 ※2：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす電気起電力の解説」（原規技発第190605号）の改正版（令和元年6月5日より電気解説NRA文書改正を適用する。）
 度等、新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より電気解説NRA文書改正を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査範囲）

| NRA文書※1,※2 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | 備考 |
|------------|--|--|----------------|-------------------|------------------------|----|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | |
| — | 配管の耐圧部分の溶接継手 充てんライン（3B） 再生熱交換器連絡管（3B） 充てんライン連絡管 | 配管の耐圧部分の溶接継手 充てんライン（3B） 再生熱交換器連絡管（3B） 充てんライン連絡管 | 体積 体積 体積 | 25% 25% 25% | クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査で管理 | |
| | | | | | | |

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」（原規技発第1409063号（平成26年8月6日原力規制委員会決定））
 ※2：NRA文書
 程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会議」（令和元年8月5日の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より電気解説NRA文書改正を適用する。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1. 格納容器ブレイカ起動装置管制(1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1 | | 高浜発電所 第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|----------------------|------|-----------|-----|------|-----------|----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| C1.10 | C-A | 管側胴と管側フランジとの間溶接継手 | 体積 | 1基の7.5% | 2 | UT | 1基の7.5% | 第2保全サイクル | 第22保全サイクル | - | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - |
| C1.20 | C-A | 管側鏡と管側胴との間溶接継手 | 体積 | 1基の7.5% | 2 | UT | 1基の7.5% | - | - | - | - | - | - | A | A | - | - |

※1: IAEA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技術規則1906051号)の改正版(以下、「改訂規則」)の施行及び公開会合「(原子炉压力容器の溶接接手の試験程度等)新規要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

2. 余熱除去装置管路(1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1 | | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | 備考 |
|---|------|-------------------------|--------|---------------|---|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | |
| C1.10 | C-A | 管側頭と管側フランジとの周辺接続手 | 体積 | 1基の7.5% | クラス2機器供用期間中検査で管理 |
| C1.20 | C-A | 管側頭と管側胴との接続手 | 体積 | 1基の7.5% | |
| C2.21 | C-B | 管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との接続手 | 体積及び表面 | 7.5% | ※1：JRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす危険その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「破裂解説JRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の接接着手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。 |

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (1/3)

| 高 浜 発 電 所 第 3 号 機 檢 査 計 画 (10カ年) | | | | | | | | | | | | 備 考 | | | | | |
|----------------------------------|------|---|-------|-----------|-----|-------|-------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|---|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| C3.20 | C-C | 配管の支持部材取付け溶接継手 | | | | | | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | | | |
| | | 格納容器再循環サンプ出ロライン (355, 60mm) (格納容器ブレイ系系統) Aライン 主蒸気大気放出ライン (GB, 165, 20) Aライン | 裏面 | 7. 5% | 2 | P T | 7. 5% 1 | A 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| C5.11 | C-F | 配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径100mmを除く公称肉厚9. 5mmを超えるもの) | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 格納容器再循環サンプ出ロライン (14B, 355, 60mm) (格納容器ブレイ系系統) Aライン 格納容器ブレイボンブ出ロライン A, Bライン 主蒸気大気放出ライン (GB, 165, 20) Aライン | 裏面 | 7. 5% | 6 | P T | 7. 5% 0 | | | | - | | | - | - | 金屬所ガードハイフ内の溶接継手であり、維持規格(42300(接近性))の規定を適用し、検査を免除する。 | |
| | | 格納容器再循環サンプ出ロライン (14B, 355, 60mm) (格納容器ブレイ系系統) A, Bライン 主蒸気大気放出ライン (GB, 165, 20) Aライン | 裏面 | 7. 5% | 24 | P T | 7. 5% 2 | | | | - | A 1 | | B 1 | - | | |
| | | 支持構造物 | | | | | | | | | | | | | A 1 | - | |
| | | S I S 寒温制低圧注入ライン Aライン | V T-3 | 7. 5% | 3 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | - | | | A 1 | - | | |
| | | 充てん／高压注入ポンプ入口ライン | V T-3 | 7. 5% | 22 | V T-3 | 7. 5% 2 | | | | - | 1 | | 1 | - | | |
| | | 原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライ ン | V T-3 | 7. 5% | 129 | V T-3 | 7. 5% 10 | | 4 | | - | 3 | | 3 | - | | |
| | | 格納容器再循環サンプ出ロライン Aライン | V T-3 | 7. 5% | 1 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | | | | A 1 | - | | |
| | | 格納容器ブレイボンブ出ロライン Aライン | V T-3 | 7. 5% | 7 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | | | | A 1 | - | | |
| | | 格納容器ブレイボンブ出ロライン A, Bライン | V T-3 | 7. 5% | 10 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | | | | A 1 | - | | |
| | | 格納容器ブレイボンブ出ロライン A, Bライン | V T-3 | 7. 5% | 19 | V T-3 | 7. 5% 2 | | | | - | A 1 | | B 1 | - | | |
| | | 格納容器ブレイ系系統余熱除去系統 連絡ライン | V T-3 | 7. 5% | 13 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | - | 1 | | - | - | | |
| F1.21 | F-A | 恒設代替低圧注入ポンプ出ロライン | V T-3 | 7. 5% | 20 | V T-3 | 7. 5% 2 | | | | - | 1 | | 1 | - | | |
| | | 可燃代替低圧注入ポンプ出ロライ ン | V T-3 | 7. 5% | 2 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | - | 1 | | 1 | - | | |
| | | アニュラス空気淨化ライン | V T-3 | 7. 5% | 59 | V T-3 | 7. 5% 5 | | | B 1 | - | | B 2 | A 2 | - | | |
| | | 主蒸気大気放出ライン | V T-3 | 7. 5% | 3 | V T-3 | 7. 5% 1 | | | | - | | | A 1 | - | | |

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3. 配管 (2/3)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | 備考 |
|---|------|---|-----------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | |
| C3.20 | C-C | 配管の支持部材取付け溶接継手 | 検査の範囲及び程度 | |
| | | 余熱除去ポンプ入口ライン (318.50mm, 355.60mm) A、Bライン | 表面 | 7. 5% |
| | | 余熱除去ポンプ出口ライン (267.40mm) A、Bライン | 表面 | 7. 5% |
| | | SIS低温側低圧注入ライン (165.20mm, 267.40mm) A、B、Cライン | 表面 | 7. 5% |
| | | SIS低温側まゝ酸注入ライン (39.10mm) 共通ライン | 表面 | 7. 5% |
| | | 充てん／高压注入ポンプ入口ライン (216.30mm) | 表面 | 7. 5% |
| | | 充てん／高压注入ポンプ出口ライン (89.10mm, 14.30mm) | 表面 | 7. 5% |
| | | 1次冷却材管低温側高压注入ライン (89.10mm) | 表面 | 7. 5% |
| | | 〔ほう〕酸注入タンク出口側 格納容器再循環サンプ出口ライン (355.60mm) A、Bライン 余熱除去系統 | 表面 | 7. 5% |
| | | 配管の前圧部分の溶接継手(呼び径100Aを越え公称肉厚9.5mmを超えるもの) | | |
| C5.11 | C-F | 余熱除去ポンプ入口ライン (125.48, 318.50mm, 355.60mm) A、Bライン | 体積又は表面 | 7. 5% |
| | | SIS低温側低圧注入ライン (68.10B, 165.20mm, 267.40mm) A、B、Cライン | 体積及び表面 | 7. 5% |
| | | 格納容器再循環サンプ出口ライン (148.355, 50mm) A、Bライン 余熱除去系統 | 体積又は表面 | 7. 5% |

※1: NPA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における被爆を引き起こす危険その他の次の條の解釈」(令和元年6月5日原規技発第190605-1号)の改正版(以下、「電気設備NPA文書改訂」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見及びその他の意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

3.配管(3/3)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | | 備考 |
|---|------|--|---------------|-----------|--|------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | |
| G5.21 | C-F | 配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50A以上で公称肉厚5mmを超えるもの) SIS低温側ほう酸注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 69, 10mm) A, B, C, 共通ライン 充てん／高压注入ポンプ出口ロライン (3B, 4B, 69, 10mm) | 表面 | 7. 5% | | |
| G5.30 | C-F | 配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手) | 表面 | 7. 5% | | |
| G5.41 | C-F | SIS低温側ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cライン 配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50Aを超える、母管と管台及び母管と枝管) 充てん／高压注入ポンプ出口ロライン (3B) | 表面 | 7. 5% | | クラス2機器供用期間中検査で管理 |
| F1.21 | F-A | 支持構造物 余熱除去ポンプ入口ロライン A, Bライン 余熱除去ポンプ出口ロライン A, Bライン SIS低温側低圧注入ライン A, B, Cライン SIS低温側ほう酸注入ライン A, B, C, 共通ライン 充てん／高压注入ポンプ出口ロライン 格納容器再循環サンプ出口ロライン A, Bライン 余熱除去系統 | VT-3 | 7. 5% | | |

※：NPA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第190605号)の改正版(以下、亀裂解説NPA文書改訂という。)の施行及び公開会合「(原子炉炉心容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

4. 構造容器スプレイポンプ^① (1/1)

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|-------|------|---------------------|-------|-----------|-----|-------|--------------|----------|----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| 06.10 | C-6 | ケーシングの溶接綫手 | 表面 | 1台の7.5% | 4 | P.T | 1台の7.5% 1 | 第2保全サイクル | 第2保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - | |
| F1.43 | F-A | ポンプの台板脚 | V-T-3 | 1台の7.5% | 4 | V-T-3 | 1台の7.5% 1 | 第2保全サイクル | 第2保全サイクル | 第23保全サイクル | - | A.1 | - | - | - | - | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における検査を引き起こす割合その他の欠陥の解説」（令和元年6月5日原規技発第180605号）の改正版（以下、『電気設備NRA文書改正』という。）の施行及び公開会合「原子炉力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
5. 余熱除去ポンプ(1／1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2003年版) JSME S NAI-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画 | | | 備考 |
|---|------|------------|---------------|-----------|--|------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | |
| C6.10 | C-6 | ケーシングの溶接継手 | 表面 | 1台の7.5% | | クラス2機器供用期間中検査で管理 |
| F1.43 | F-A | ポンプの台板脚 | VT-3 | 1台の1.5% | | |

※1：JRKA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす電離その他のお隣の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「電離解説JRKA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の評議会)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. 原子炉構造物冷却水ポンプ（1／1）

| | | 高浜発電所第3号機検査計画(10ヵ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|-------|------|---------------------|------|-----------|-----|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|----------------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| F1.43 | F-A | ポンプの台板脚 | VT-3 | 1台の7.5% | 1.2 | VT-3 | 1台の7.5% | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | - | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | 対象はA、B、C原子炉構造物冷却水ポンプ |

※1：NRA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技術規格1906051号)の改正版(以下、「常用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかるる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
7. 恒設代替低圧注水ポンプ(1-1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|---------------------|------|-----------|-----|------|-----------|-------|----------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| F1.43 | F-A | ポンプの台板脚 | VT-3 | 1台の7.5% | 2 | VT-3 | 1台の7.5% | 1 | 第2保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - |

※1: NPA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原能技発第190605-1号)の改正版(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

8.并(1/2)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | | |
|---|------|--|-------|-----------------------------|-----|-------|-----------------------------|-----------------------|---------------|---------------|-------|---------------|---------------|---------------|----------------------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| F1.43 | F-A | 支持構造物 原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライ ン 3V-TGV-2342A 3V-TGV-2342B | V-T-3 | 類似弁ごと に1台の 7. 5% 1 | 2 | V-T-3 | 類似弁ごと に1台の 7. 5% 1 | 第21保全 サイクル | 第22保全 サイクル | 第23保全 サイクル | - | 第24保全 サイクル | 第25保全 サイクル | 第26保全 サイクル | - | - | |
| | | 格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン 3V-RH-100 3V-RH-101 | V-T-3 | 類似弁ごと に1台の 7. 5% 1 | 2 | V-T-3 | 類似弁ごと に1台の 7. 5% 1 | 3V-TGV- 2342A 1 | - | - | - | - | - | - | 3V-RH- 100 1 | - | |
| | | 主蒸気大気放出ライ ン 3V-PCV-3610 3V-PCV-3620 3V-PCV-3630 | V-T-3 | 類似弁ごと に1台の 7. 5% 1 | 6 | V-T-3 | 類似弁ごと に1台の 7. 5% 1 | 3V-PCV- 3610 1 | - | - | - | - | - | - | 3V-PCV- 3610 1 | - | |

※1「RRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす複数その他の欠陥の解釈」(令和元年6月5日原規技労第190605号)の改正版(以下、「RRA文書改正」という。)の施行及び公開会合(「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等」新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格JSME S NA1-2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

8. 井(2/2)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S WA1-2008※1 | | | | 高浜発電所 第3号機検査計画 | 備考 | | |
|---|------|--------|---|--|--|--|---|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | | | |
| F1.43 | F-A | 支持構造物 | 余熱除去ポンプ入ロライン A, Bライン 3V-RH-041A 3V-RH-041B 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3V-RH-024A 3V-RH-024B 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3PCV-601 3PCV-611 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3HCV-603 3HCV-613 余熱除去ポンプ出ロライン A, Bライン 3FCV-604 3FCV-614 SIS低温側注入ライン A, Cライン 3V-SI-197A 3V-SI-197B SIS低温側まゝ酸注入ライン 3V-SI-042A 3V-SI-042B 充てん／高压注入ポンプ出ロライン 3V-SI-023A 3V-SI-023B | 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% | V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 V-T-3 | 検査方法 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% | 検査の範囲及び程度 検査方法 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% 類似弁ごとに 1台の 7. 5% |

※1：IRDA文書「常用電用原子炉及びその附属施設における故障を引き起こす危険その他の欠陥の解説」（令和元年6月5日原規格第906051号）の改正版（以下、「危険解説IRDA文書改正」という。）の施行及び公開会合「（原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等）新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」（令和元年8月5日）の結果（2019年度中の計画変更）を踏まえ、2020年7月より維持規格JSME S WA1-2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
9. クラス2機器漏えい検査 (L/4)

| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | S A 使用時圧力 MPa | 漏えい検査圧力 MPa | 検査方法 第21保全サイクル | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | (漏えい区分) 備考 | |
|----------------|------|--------------------------------------|------|------------------|----------------|-------------------|---------------------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|---------------|--------|
| | | | | | | | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 化学液体制御系統 | | | | 第22保全サイクル | - | - | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - |
| C7.30 C7.70 | C-H | A一充てん／高圧注入ポンプ出入口ライン | VT-2 | 1.4 | 0.11 | VT-2 | | | | | | O | - | (SA-1) |
| C7.50 C7.70 | C-H | B一充てん／高圧注入ポンプ出入口ライン | VT-2 | 17.16/18.8 | 17.76 | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-2) |
| C7.30 C7.70 | C-H | C一充てん／高圧注入ポンプ出入口ライン | VT-2 | 18.8 | 17.76 | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-3) |
| C7.30 C7.70 | C-H | ほう酸タンク出入口ライン | VT-2 | 18.8 | 17.76 | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-4) |
| C7.30 C7.70 | C-H | ほう酸ポンプ出入口ライン | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-5) |
| C7.30 C7.70 | C-H | B一充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん／高圧注入ポンプ出入口) | VT-2 | 0.98 | 0.71 | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-6) |
| C7.30 C7.70 | C-H | B一充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん／高圧注入ポンプ出入口) | VT-2 | 18.8 | 18.8 | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-7) |
| C7.30 C7.70 | C-H | B一充てん／高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん／高圧注入ポンプ出入口) | VT-2 | 1.4 | 1.4 | VT-2 | | | | | - | O | - | (SA-8) |

※1：NRA文書「常用金剛用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起す事例その他の危険の認定」(令和元年6月5日原能規第1906051号)の改正版(以下、金剛規則文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等」新規制要件に關する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年3月5日の結果)(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月より維持規格 JISME S M1-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査(2/4)

| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | S A 使用時圧力 MPa | 漏えい検査圧力 MPa | 検査方法 | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | 備考 (漏えい区分) | |
|-----------------------------------|------|------------------|------|------------------|----------------|------|---------------------|-----------|-----------|-------|-----------|-----------|---------------|---------|
| | | | | | | | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | 余熱除去系統 | | | | | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - |
| A-余熱除去ポンプ入ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン | VT-2 | 4.1 | 2.75 | VT-2 | | | | | | | O | - | | (SA-9) |
| A-余熱除去ポンプ出ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン | VT-2 | 4.1 | 2.75 | VT-2 | | | | | | O | - | | | (SA-10) |
| A-余熱除去ポンプ出ロライン B-余熱除去ポンプ出ロライン | VT-2 | 4.1/17.16 | 3.56 | VT-2 | | | | | | O | - | | | (SA-11) |
| 燃料取替用水系統 | | | | | | | | | | | O | - | | (SA-12) |
| C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | 燃料取替用水タンク出ロライン | VT-2 | 4.1/17.16 | 3.56 | VT-2 | | | | | | | | |
| 安全注入系統 | | | | | | | | | | | | | | (SA-13) |
| 蓄圧タンク及び出入口ライン もう駄注入タップ及び出入口ライン | VT-2 | 4.9/17.16 | 4.22 | VT-2 | | | | | | O | - | | | (SA-14) |
| 充てん／高圧注入ポンプ出ロ安全注入ライン(2) | VT-2 | 18.3 | 8.20 | VT-2 | | | | | | O | - | | | (SA-15) |
| 格納容器再循環サンプ出ロライン(余熱除去ポンプ側) | VT-2 | 17.16 | 8.00 | VT-2 | | | | | | O | - | | | (SA-16) |
| | | | | | | | | | | | O | - | | (SA-17) |

※：IRIA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起す龟裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技術基準1906051号)の改正版(以下、重製解説IRIA文書改正という。)の施行及び公開会合、「原子炉圧力容器の容接接手の試験程度等」新規制要件に開する事業者意見の聽取にかかるる会合(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する)。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

9. クラス2機器漏えい検査 (3/4)

| 項目番号 | カテゴリー | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | (漏えい区分) 備考 | | | | | |
|----------------------------------|-------|--|--------------------------------|------------------|----------------|------------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|---------------|-----------|---------|---------|---------|--|
| | | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2009※1 | S A 使用時圧力 MPa | 漏えい検査方法 MPa | 検査方法 SA | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 格納容器スプレイボンブロライン | | | | | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | - | - | | |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | A-格納容器スプレイボンブロライン B-格納容器スプレイボンブロライン | VT-2 | 0.283/2.7 | 0.36 | VT-2 | | | | - | O | | | - | (SA-18) | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | A-格納容器スプレイボンブロライン B-格納容器スプレイボンブロライン | VT-2 | 0.283/2.7 | 0.36 | VT-2 | | | | - | | | O | - | (SA-19) | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 格納容器スプレイボンブロライン | VT-2 | 2.7 | 1.97 | VT-2 | | | | - | | O | - | (SA-20) | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 格納容器再循環タンブル出ロライン(格納容器スプレイボンブン)側) | VT-2 | 2.7 | 1.64 | VT-2 | | | | - | O | | O | - | (SA-21) | | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | 恒設代替低圧注水ボンブロライン | VT-2 | 0.283 | 4.91kPa | VT-2 | | | | - | O | | - | - | (SA-22) | | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | 恒設代替低圧注水ボンブ出ロライン | VT-2 | 大気圧/1.4 | 1.4 | VT-2 | | | O | - | | | - | - | (SA-23) | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 可搬式代替低圧注水ボンブ出ロライン | VT-2 | 2.7 | 2.7 | VT-2 | | | O | - | | | - | - | (SA-24) | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 換気空調装置系統 | | | | | | | | O | - | | | - | - | (SA-25) | |
| C7.30 C7.70 | C-H | アニユラス空気淨化ライン | VT-2 | 0.01 | (*) | | | | - | | | O | - | - | (SA-27) | | |
| C7.30 | C-H | 中央制御室換気空調設備出ロライン | VT-2 | -0.00392 | (*) | | | | - | O | (*) | O | - | (SA-56) | | | |
| C7.30 | C-H | 中央制御室換気空調設備出ロライン | VT-2 | 0.00392 | (*) | | | | - | O | (*) | O | - | (SA-57) | | | |

※1: JMA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥」の改訂版(以下、「新規制要件に適用する事業者意見の趣取における会合」(令和元年6月5日原規技発第1006051号)の改訂版)、(2020年1月より維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。
 (*)技術基準第38条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施
 (**)分別して外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
9. クラス2機器漏えい検査(4/4)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2008※1 | | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | |
|---|------|---|---------------------|-----------------|----------------|------|-------|-------|-------|-------|-----------------------|------------------------|------------------------|-------|-------|---------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | S/A使用時圧力 MPa | 漏えい検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 試料採取系統 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 C7.70 | C-H | 格納容器ガスサンプリング入口ライン 格納容器ガスサンプリング展りライン | VT-2 | 0.350 | 0.255 | VT-2 | | | | - | 第2保全サイクル 第23保全サイクル | 第24保全サイクル 第25保全サイクル | 第26保全サイクル 第27保全サイクル | - | - | |
| | | 原子炉補機冷却水系統 | | | | | | | | | | | | O | - | (SA-58) |
| | | A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入ロライン | VT-2 | 0.34/0.98/1.2 | 0.30 | VT-2 | | | | | | | | O | - | (SA-59) |
| C7.10 C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | 原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン 原子炉補機冷却水ポンプ出口D供給ライン | VT-2 | 0.98/1.2 | 0.80 | VT-2 | | | | - | | | | O | - | (SA-42) |
| C7.30 C7.70 | C-H | B-充てん／高压注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却 水側) | VT-2 | 0.98/1.2 | 0.80 | VT-2 | | | | - | | | | O | - | (SA-43) |
| | | 空気系統 | | | | | | | | | | | | O | - | (SA-44) |
| | | 制御用空気加圧器送がし弁用供給ライン(1) | VT-2 | 0.98 | 0.66 | VT-2 | | | | - | | | | O | - | (SA-45) |
| C7.30 C7.70 | C-H | 制御用空気加圧器送がし弁用供給ライン(2) アニラスタンバ作動用窒素供給ライン | VT-2 | 0.98 | 0.66 | VT-2 | | | | - | | | | O | - | |
| | | 補助給水系統 | | | | | | | | | | | | | - | |
| C7.30 C7.50 C7.70 | C-H | 燃料取替用燃料タンク補給用移送ポンプ出ロライン ※：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす龟裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「龟裂解説」)の施行及び公開会合に開する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果)(2019年度中の計画変更)の結果、2020年7月1日より維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。 | VT-2 | 0.98 | 0.98 | 0.83 | VT-2 | | | | O | | | O | - | |
| | | | | | | | | | | | | | | | - | |

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
1.0.原子炉補機冷却水冷却装置回路（1／1）

| 発電用原子力設備規格・維持規格(2003年版) JSME S NA-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
|--|------|-------------------------|---------|-----------|-----|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| C1.10 | C-A | 脇側胴と胴側フランジとの周溶接継手 体積 | 1基の7.5% | 4 | UT | 1基の7.5% | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | A | 7.5% | 7.5% | 7.5% | 7.5% | |
| C3.10 | C-C | 脇側胴の周溶接継手 表と当板との溶接継手 | 1基の7.5% | 4 | UT | 1基の7.5% | — | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |
| F1.43 | F-A | 支持脚 | VT-3 | 1基の7.5% | 4 | PT | 1基の7.5% | — | — | — | — | — | — | — | — | — | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす危険その他次の該当する規制要件に関する事業者意見の賛成」(令和元年6月5日原規技発第190605号)の改正版(以下、電気解説RWA文書改正といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の密接接合の試験程度等)新規制要件における破裂を引き起こす危険その他(2019年度中の計画変更)」(令和元年8月5日)の結果、(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NA-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器漏えい検査(1-2)

発電用原子力設備規格 総則規格(2008年版) JSME S NAI-2008-1

| 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | | | |
|---------------------|------|------------------------------------|------|----------------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------|
| 項目番号 | 力テゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | S A使用圧力 MPa | 漏えい検 査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| | | 主給水系統 | | | | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | 第2保全 サイクル | |
| C7.10 | C-H | A-蒸気発生器給水入口ライン | VT-2 | 8 | 5.30 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | |
| C7.30 | | B-蒸気発生器給水入口ライン | VT-2 | 8 | 5.30 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-24) |
| C7.70 | | C-蒸気発生器給水入口ライン | VT-2 | 8 | 5.30 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-30) |
| | | 主蒸気系統 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C-H | A-蒸気発生器出ロライン | VT-2 | 8 | 5.30 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-31) |
| C7.70 | | B-蒸気発生器出ロライン | VT-2 | 8 | 5.30 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-32) |
| | | C-蒸気発生器出ロライン | VT-2 | 8 | 5.30 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-33) |
| | | 補助給水系統 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C-H | タービン動捕助給水ポンプ蒸気ライン | VT-2 | 8 | 2.25 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-34) |
| C7.70 | | タービン動捕助給水ポンプ燃料取扱用水タンク補給用移送ボンブ入口ライン | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-35) |
| C7.30 | C-H | タービン動捕助給水ポンブ出口ライン | VT-2 | 12.3 | 8.6 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-36) |
| C7.70 | | 電動補助給水ポンブ入口ライン | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-37) |
| C7.30 | C-H | 電動補助給水ポンブ出口ライン | VT-2 | 12.3 | 8.6 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-38) |
| C7.70 | | 補助給水ポンブ出口ライン | VT-2 | 8.6 | 8.6 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-39) |
| | | 2次系補助給水系統 | | | | | | | | | | | | | | |
| C7.30 | C-H | 復水タンク給水ライン | VT-2 | 1.55 | 1.55 | VT-2 | | | - | ○ | ○ | | | - | | (SA-41) |
| C7.70 | | | | | | | | | | | | | | | | |

*: JRA文書「発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起す場合の対応」(令和元年6月5日原規技術第900605号)の改正版(以下、電製解説NRA文書改訂といふ。)を踏まえ、2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画
1.1. クラス2機器漏えい検査(2/2)

| 項目番号 | 力テコリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | S A使用時圧力 MPa | 漏えい検査圧力 MPa | 検査方法 | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | 備考 (漏えい区分) | |
|--------------------------------|--|------------------|---------|-----------------|----------------|------|---------------------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|---------|
| | | | | | | | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | 原子炉補機冷却海水系統 | | | | | | | | | | | | | |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレーナ入口) A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却海水冷却器海水出入 口ライン) | VT-2 | 0.7 | 0.18 | VT-2 | | - | | | | O | - | | (SA-46) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | B-海水ポンプ出口ライン C-海水ポンプ出口ライン | VT-2 | 0.7/1.2 | 0.18 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-47) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | C-海水ポンプ出口ライン | VT-2 | 0.7 | 0.18 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-48) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出ロライン | VT-2 | 0.7 | 0.18 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-49) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出ロライン | VT-2 | 0.7 | 0.18 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-50) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | ディーゼル発電機始動用空気系統 | VT-2 | 0.7 | 0.18 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-51) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | A-ディーゼル発電機始動用空気ライン | VT-2 | 3.2 | 2.65 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-60) |
| C7.10 C7.30 C-H C7.70 | B-ディーゼル発電機始動用空気ライン | VT-2 | 3.2 | 2.65 | VT-2 | | - | | | O | - | | | (SA-61) |

※1：NRA文書「事業者用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす危険その他の次臓の解説」(令和元年6月5日原規技登第1916051号)の改正版(以下、争議規制NRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等、新規制要件に関する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画（原子炉格納容器供用期間中検査範囲）

1. 原子炉格納容器（1／1）

| 発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S NAI-2008※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画 (10万年) | | | | | | | | | | 備考 | | | | |
|--|------------------|----------------------|------|-----------|---------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| E8.10 E-G 部 | 機器艤入口圧力保持用ボルト締付け | VI-4 | 25% | 72 | VI-4 | 25% 18 | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | — | — | 第24保全サイクル | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | — | — |

※1: NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電製その他の欠陥の解消」(令和元年6月5日原規技発第1900051号)の改正版(以下、「電製解消NRA文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格 JSME S NAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査（✓/1）

| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名稱 | 検査方法 | S A 使用圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | |
|-------|------|---------------------------------------|------------------|-----------------|-------------|---------------------|---------------|---------------|-------|---------------|---------------|---------------|-------|-------|-------|---------|
| | | | | | | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | |
| D2.30 | D-B | 原子炉機冷却水系統 | 漏えい検査範囲 ライン名稱 | S A 使用圧力 MPa | 検査方法 | 第21保全 サイクル | 第22保全 サイクル | 第23保全 サイクル | - | 第24保全 サイクル | 第25保全 サイクル | 第26保全 サイクル | - | - | - | |
| D2.10 | D-B | 可搬型原子炉機冷却水循環ポンプ出入口ライン | VT-2 | 0.33 | 0.33 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-1) |
| D2.30 | D-B | 原子炉機冷却水サーチタンク加压用窒素ポンベ | VT-2 | 14.7 | 14.7 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-2) |
| D2.30 | D-B | 原子炉機冷却水サーチタンク加压用窒素供給ライン | VT-2 | 17.16 | 17.16 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-3) |
| D2.30 | D-B | Aガassサンブン冷却水屋外排水ライン | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-4) |
| | | 制御用空氣系統 | | | | | | | | | | | | | | (SA3-5) |
| D2.10 | D-B | アニユラスタンバ作動用窒素ボンベ | VT-2 | 14.7 | 14.7 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-5) |
| D2.30 | D-B | アニユラスタンバ作動用窒素供給ライン | VT-2 | 0.83 | 0.83 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-6) |
| | | 試料採取系統 | | | | | | | | | | | | | | (SA3-7) |
| D2.30 | D-B | 可搬型格納容器カス試料圧縮装置及び可搬型格納容器水素濃度計測装置供給ライン | VT-2 | 0.5 | 0.5 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | VT-2 | (SA3-7) |

※1：JRA文書「常用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「解説」)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の溶接接手の試験程度等)新規制要件に該する事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年3月5日の結果、2020年度中の計画変更)を踏まえ、2020年7月1日より維持規格(JISME S NAI-2012/2013/2014)を適用する。

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008 | | 高浜発電所 第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | |
|---|-------|--|------|------------------|-------------|------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|
| 項目番号 | カテゴリー | 漏えい検査範囲 ライン名稱 | 検査方法 | S A 使用時圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 第21保全 サイクル | 2016年 第22保全 サイクル | 2017年 第23保全 サイクル | 2018年 第24保全 サイクル | 2019年 第25保全 サイクル | 2020年 第26保全 サイクル | 2021年 第27保全 サイクル | 2022年 第28保全 サイクル | 2023年 第29保全 サイクル | 2024年 第30保全 サイクル |
| D2. 30 | D-B | 大容量ポンプ(放水施用)(3・4号機共用)(2台) | VT-2 | 1.05 | 1.05 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 10 | D-B | 大容量ポンプ(放水施用)燃料タック(3・4号機共用)(2基) | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 30 | D-B | 大容量ポンプ(3・4号機共用)(3台) | VT-2 | 1.00 | 1.00 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 10 | D-B | 大容量ポンプ燃料タック(3・4号機共用)(3基) | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 30 | D-B | 放水施用(3・4号機共用)(3台) | VT-2 | 1.0 | 1.0 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 30 | D-B | 大容量ポンプ出ロライン放水施用20m、10m、5mホース(3・4号機共用) (11本) | VT-2 | 0.25 | 0.25 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 30 | D-B | 大容量ポンプ出ロライン放水施用50m、10m、5mホース(3・4号機共用) (23本) | VT-2 | 1.05 | 1.05 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 30 | D-B | 大容量ポンプ出ロライン送水用20m、10m、5mホース(3・4号機共用)(19 本) | VT-2 | 0.25 | 0.25 | VT-2 | | | | | | | | | | |
| D2. 30 | D-B | 大容量ポンプ出ロライン送水用50m、10m、8m、5m、3m、2m、1mホース(6 7本) | VT-2 | 1.00 | 1.00 | VT-2 | | | | | | | | | | |

※1：JR人材「発電用原子炉及びその附属装置における破裂を引き起こす電線その他の欠陥の改正」という)の改正版(令和元年6月5日)の施行及び公開会合「原子炉安全規格 JSME S MA1-2012/2013/2014を適用する。」

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2008 ※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | |
|--|----------------------------------|---------------------|--------------|----------|------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|---------------|-------|-----------|----------------|
| 項目番号 | カテゴリー | 検査方法 | S/A使用時圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | 2026年 | 2027年 | 2028年 |
| 02_30 | D-B 送水車(3台) 漏えい検査範囲 ライイン名稱 | VT-2 | 1.22 | 1.22 | VT-2 | - | 第24保全サイクル | - | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | 第27保全サイクル | 第28保全サイクル | - | 第29保全サイクル | 第30保全サイクル |
| 02_10 | D-B 送水車燃料タンク(3基) | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ※当該設備の燃料油にて実施。 |
| 02_30 | D-B 送水車送水用50mホース(65本) | VT-2 | 1.22 | 1.22 | VT-2 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 02_30 | D-B 送水車送水用20mホース(7本) | VT-2 | 1.22 | 1.22 | VT-2 | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

※1：JR文書「発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす電気その他の欠陥の発見」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、垂直解説RRA文書改訂といふ。)の施行及び公開会合(原子炉圧力容器の密接接手の試験手の試験程度等)新規制要件に關する事業者意見の取扱いにかかるる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、垂直解説RRA文書改訂(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器漏えい検査 (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MAI-2008 ※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10カ年) | | | | | | | | | | (備考)(漏えい区分) | | | | |
|--|------|--|------|-----------------|-------------|------|---------------|---------------|---------------|-------|---------------|-------------|---------------|-------|---------------|---------------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライイン名称 | 検査方法 | S A使用時圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| D2.30 | D-B | 可搬式代替低圧注水ポンプ(3台) | VT-2 | 1.47 | 1.47 | VT-2 | 第21保全 サイクル | 第22保全 サイクル | 第23保全 サイクル | - | 第24保全 サイクル | - | 第25保全 サイクル | - | 第26保全 サイクル | 第27保全 サイクル |
| D2.30 | D-B | 可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧注水ポンプ出入口接続口(3本) | VT-2 | 1.47 | 1.47 | VT-2 | | | | | | | ● | 3台 | | |
| D2.30 | D-B | 可搬式代替低圧注水ポンプ～可搬式代替低圧ホース(3本) | VT-2 | 1.47 | 1.47 | VT-2 | | | | | | | ● | 3本 | | |
| D2.10 | D-B | 伝送組立式水槽(3基) | VT-2 | 大気圧 | 水張り | VT-2 | | | | | | | ● | 3本 | | |
| D2.30 | D-B | 可搬式代替低圧注水ポンプ送水用10mホース(フランジ継手付、フランジ継手なし)(12本) | VT-2 | 1.47 | 1.47 | VT-2 | | | | | | | ● | 3基 | | |
| | | | | | | | | | | | | | ● | 4本 | ○ | 4本 |

※1：JR4文書「発電用原子炉及びその他の設備の検査」(令和元年6月5日原規技基第190305)第)の改正版(以下、「検査規則JR4文書改正」という。)の施行及び公開会合「(原子炉圧力容器の検査接手の試験程度等)新規制要件に関する事業者意見の聴取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、電製解説NRA文書改訂(令和元年6月5日)後は、維持規格JSME S MAI-2012/2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画
1. クラス3機器漏えい検査 (1/1)

| 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NAI-2008 ※1 | | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | |
|--|------|---|------|------------------|-------------|------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|---------------|-----------|-----------|-----------|-------|
| 項目番号 | カテゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査方法 | S A 使用時圧力 MPa | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 |
| D2.10 | D-B | タンクローリー(3・4号機共用)(3台) | VT-2 | 20kPa | 20kPa | VT-2 | 第21保全サイクル | 第22保全サイクル | 第23保全サイクル | - | 第24保全サイクル | - | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | 第27保全サイクル | |
| D2.30 | D-B | タンクローリー給油ライン接続用30m、20mホース(3・4号機共用)(3本) | VT-2 | 1.0 | 1.0 | VT-2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| D2.30 | D-B | タンクローリー給油ライン接続用20mホース(燃料油貯油そう用) (3・4号機共用)(4本) | VT-2 | 0.78 | 0.78 | VT-2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| D2.30 | D-B | タンクローリー給油ライン接続用5mホース(空冷式非常用送電装置用) (迅速流体継手、ねじ込み継手)(3・4号機共用)(6本) | VT-2 | 0.39 | 0.39 | VT-2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

※1 : NRA文書「常用差電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他(次回の解説)」(令和元年6月5日原規技委第190605号)の改正版(以下、単称「新規制要件」)の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NAI-2012/2014を適用する。
事業者意見の聽取にかかる会合」(令和元年8月5日)の結果(2019年度中の計画変更)を踏まえ、電気解説NRA文書改訂の施行(令和元年6月5日)後は、維持規格 JSME S NAI-2013/2014を適用する。

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査

| 項目番号 | カテゴリ | 発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S WA-1-2008 | 漏えい検査範囲 ライン名稱 | 高浜発電所第3号機検査計画(10か年) | | | | | | | | | | 備考 (漏えい区分) | | | | |
|-------|------|--|------------------|---------------------|------|-------------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|-------|---|
| | | | | S A 使用時圧力 MPa | 検査方法 | 検査圧力 MPa | 検査方法 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年 | 2021年 | 2022年 | 2023年 | 2024年 | |
| D2.10 | D-B | 非常用電源 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3A電源車) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(3A電源車) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3B電源車) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(3B電源車) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(電源車(1・2・3・4号機共用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3A電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(3B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(3D電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3D電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(3B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3B電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 冷却水ポンプ(3D電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 燃料タンク(3D電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |
| D2.10 | D-B | 燃料タンク(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | - | - | VT-2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ |
| D2.30 | D-B | 冷却水ポンプ(電源車(可搬式代替低圧注水ポンプ用)) | VT-2 | 大気圧 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | VT-2 | 大気圧 | ○ |

*SAクラス3機器の漏えい試験については、「高圧ガス保安法や消防法等の要求により実施しているSA使用時の圧力の漏えい試験」と等の旨を規定する「訓練による実施」によるSA使用時の漏えい試験と同等とみなす。また、維持規格に基づく漏えい試験の対象外とするところとする。(「重大事故等対処設備における供用期間中検査の考え方について」(原機設第43号))

重大事故等クラス3機器供用期間中検査計画

1. クラス3機器漏えい検査(1/1)

| 発電用原子力設備規格・維持規格(2008年版) JSME S NA1-2003 (ID-2500) ※1 | | | 高浜発電所第3号機 検査計画(10万年)(第1検査サイクル) | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|------|--|--------------------------------|-----------------------|---------------|-----------------------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------------|---------------|
| 項目番号 | カタゴリ | 漏えい検査範囲 ライン名称 | 検査内容 | | | SA使用時の 圧力 (MPa) | 検査方法 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 備考 (漏えい区分) |
| | | | 検査方法 | SA使用時の 圧力 (MPa) | 検査圧力 (MPa) | | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | D-B | 制御用空気系統 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | D-B | 3窒素ポンベ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用) | VT-2 | 14.7 | 14.7 | VT-2 | | | | | | | | | | | | |
| D2.10 | D-B | 3窒素ポンベ(加圧器逃がし弁作動用)(A系用予備) | VT-2 | 14.7 | 14.7 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-1) | |
| D2.10 | D-B | 3窒素ポンベ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用) | VT-2 | 14.7 | 14.7 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-2) | |
| D2.10 | D-B | 3窒素ポンベ(加圧器逃がし弁作動用)(B系用予備) | VT-2 | 14.7 | 14.7 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-3) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-4) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-5) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁A系用窒素マニホールド(予備) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-6) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁B系用窒素マニホールド(予備) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-7) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁窒素マニホールド | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-8) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁窒素マニホールド(予備) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-9) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(A系用30m) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-10) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(B系用8m) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-11) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 30m、8mホース(30m予備) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-12) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン窒素供給用 20m、15mホース(A系用15m) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-13) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(B系用20m) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-14) | |
| D2.30 | D-B | 3加圧器逃がし弁用制御用空気ライン空気供給用 20m、15mホース(20m予備) | VT-2 | 0.98 | 0.98 | VT-2 | | | | | | | | | | | O (SA3-15) | |

※1 NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破壊を引き起こす亀裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第1906051号)の改正版(以下、「亀裂解説NRA文書改訂」という。)の施行(令和元年6月5日以後は、維持規格JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する)。

重大事故等カラス3機器供用期間中検査計画

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査

供用期間中特別検査のうちクラス1配管特別検査（大飯発電所3号機加工器スプレイライン配管溶接部の有意な欠陥指示に対する対応）

| 項目番号 | カテゴリ | 検査対象箇所 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 設備数 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 検査方法 | 検査の範囲及び程度 | 計画 | | | 備考 | |
|------|------|--|------|-----------|-----|------|-----------|------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|--|
| | | | | | | | | | | 2022年 | 2023年 | 2024年 | 2025年 | |
| | | 配管の同種金属溶接継手 (呼び径100A以上) | | | | | | | | 第25保全サイクル | 第26保全サイクル | － | 第27保全サイクル | |
| | | 加圧器サーボジ管 (14B, 355, 60mm) | 体積 | 100% 1 | 1 | UT | 100% 1 | 1 | 1 | － | － | 1 | | |
| | | 加圧器スプレイライン (4B, 144, 30mm) Aループ | 体積 | 100% 1 | 1 | UT | 100% 1 | A1 | A1 | － | － | A1 | | |
| | | 余熱除去ポンプ入ロライン (12B) Cループ | 体積 | 100% 2 | 2 | UT | 100% 2 | C2 | C2 | － | － | C2 | | |
| | | SIS蓄圧注入ライン (12B, 318, 50mm) A, B, Cループ | 体積 | 100% 4 | 4 | UT | 100% 4 | A1 | A1 | － | － | A1 | | |
| | | SIS高温側低圧注入ライン (6B, 165, 20mm) A, Bループ | 体積 | 100% 2 | 2 | UT | 100% 2 | B1 | B2 | － | － | B2 | | |
| | | SIS低温側低圧注入ライン (6B) A, Bループ | 体積 | 100% 3 | 3 | UT | 100% 3 | A1 | A1 | － | － | A1 | | |
| | | SIS高温側補助注入ライン (4B, 6B) Cループ | 体積 | 100% 1 | 1 | UT | 100% 1 | C1 | C1 | － | － | C1 | | |

※1：NRA文書「実用発電用原子炉及びその附属施設における破裂を引き起す亀裂その他の欠陥の解説」(令和元年6月5日原規技発第190605-1号)の改正版(以下、電気解説NRA文書改正といふ。)及び維持規格 JSME S NA1-2012/2013/2014を適用する。